

国内レース

1954(昭和29)年度

第1回全国模型モーターボート競技会

29年8月29日 東京豊島園で行われ団体優勝は静岡であった。

B級マグネットモーター 単1×2本以下 長40cm以下 20才以下 20mコース

1位 秋山寿夫 静岡12秒5

C級マグネットモーター 長60cm以下 20才以下 20mコース

1位 相原賢司 徳島 8秒8

D級ガスエンジン ストローク3.3cm3 長80cm 20才以下 50mコース

1位 栗山茂晴 佐賀 6秒6

1955(昭和30)年度

第1回全日本水上スキー選手権大会

30年8月28日 東京府中市多摩川競艇場で女子8名、男子38名が参加して行われ最優秀選手は大川篤茂選手(芦ノ湖クラブ)であった。

1956(昭和31)年度

模型モーターボート

第2回全国模型モーターボート競技大会

31年8月26日 東京洗足池で行われた。

B級マグネットモーター 長40cm以下 距離20m 20才以下

1位 秋山寿夫 静岡 10秒0

C級マグネットモーター 長60cm以下 距離20m 20才以下

1位 船城博宣 徳島 3秒6

D級ガスエンジン 長80cm以下 距離50m 年令無制限

1位 高原秀部 広島 4秒7

水上スキー

第1回全日本選抜水上スキー競技大会

31年8月21日 神奈川県箱根芦ノ湖 元箱根で女子5名男子45名が参加して行われ、男子は大川篤茂選手(芦ノ湖クラブ)、女子は白井きみ子選手(浜名湖)がそれぞれ総合優勝した。

第2回全日本水上スキー選手権大会

31年8月19日 滋賀県琵琶湖競艇場で女子10名、男子35名が参加して行われ男子は坂田時人選手(東京)、女子は武本貞子選手(滋賀)が選手権者の栄誉を獲得した。

第1回学生水上スキー耐久レース

31年9月18日 東京隅田川浜町~小台間で早稲田、慶応の48名が参加して行われ早稲田大学が往路18分10秒、復路20分52秒で優勝した。

1957(昭和32)年度

モーターボート

第1回関東大学対抗モーターボートレース

32年3月21日 東京大森平和島競艇場で早稲田、法政、慶応の3校24名が参加して行われ団体優勝は早稲田大学が2,907点、個人1位は慶応大学の石井利幸選手の800点であった。

第1回大学東西対抗モーターボートレース

32年6月16日 福岡県福岡市 福岡競艇場で1周700m4点マーク3周レースが行われ東軍代表校早稲田大学、西軍代表校九州大学から22名が参加し、団体優勝は東軍、個人優勝は東軍の宮原路彦選手、優秀選手は西軍の吉田実選手であった。

水上スキー

第2回全日本選抜水上スキー競技大会

32年8月2日 神奈川県箱根 芦ノ湖で少年13名、女子10名、男子33名が参加して行われ、男子は坂田時人選手(坂田パール)、女子は柴喜美子選手(坂田パール)が総合優勝した。

第3回全日本水上スキー選手権大会

32年8月18日 東京大森平和島競艇場で少年10名、女子10名、男子26名が参加して行われ、男子は大川篤茂選手(芦ノ湖)、女子は中田敦子選手(琵琶湖)が選手権者となった。

1958(昭和33)年度

模型モーターボート

第3回全日本模型モーターボート競技大会

33年8月16日(東京大会)~17日(全国大会)東京石神井公園で開催。

B級40cm以下・20mコース・18才以下、C級60cm以下・20mコース・18才以下、D級80cm以下・50mコース・年齢無制限。

全国大会(A級なし)

B級1位	中西利之	東京	日本モーターボート連盟杯
C級1位	山口和夫	徳島	日本モーターボート連盟杯
D級1位	高原秀郎	広島	運輸大臣杯

東京大会

A級1位	中山敏昭	日本モーターボート連盟杯
B級1位	中西利之	日本モーターボート連盟杯
C級1位	加藤明雄	日本モーターボート連盟杯
D級1位	戎正一	東京都模型教材杯



モーターボート

第1回学生モーターボートマイルトライアル

33年3月8日 埼玉県戸田ボートレースコースで行われ選手は早稲田、慶応、法政、明治学院、国学院の5校から3名ずつ参加、HP第1位は小林由純選手(国学院大学)時速76.723km、R第1位は朝比奈勝選手(明治学院大学)時速66.6kmであった。

第2回関東大学対抗モーターボートレース

33年4月20日 東京大森平和島競艇場において700m4点マーク3周で行われ早稲田、法政、明治学院、国学院、慶応の5校38名が参加、個人では宮原路彦選手(早稲田)2分39秒2、団体は早稲田大学が26点で優勝。

第1回モーターボート東京マラソン

33年7月6日 東京都荒川放水路コースの墨田公園杭橋で開催、アウトボードで級別制限はなく、1位小林由純選手(国学院大学クラブ)が日本モーターボート連盟賞、早川造船所賞を受賞。



第2回大学東西対抗モーターボートレース

33年7月27日 東京府中市多摩川競艇場で東軍法政、早稲田、慶応の11名、西軍福岡大、九州大11名が参加して行われ団体優勝では東軍が、個人優勝は東軍増山政雄選手(法政大学)2分31秒7であった。

水上スキー

第1回伊東・初島間海洋水上スキー大会

33年6月29日 静岡県伊東市松原海岸で12チーム25名が参加して行われ、1位は飯田虎安選手、飯田忠明選手(芦ノ湖クラブ) 30分58秒であった。

第4回全日本水上スキー選手権大会

33年7月20日 大阪府桜ノ宮公園前で女子5名、男子18名が参加して開催、男子選手権者は枝広宇人選手(東京)が全国モーターボート連合会会長賞を、女子選手権者は吉田康子選手(東京)が日本水上スキー連盟杯を獲得した。

第3回全日本選抜水上スキー競技大会

33年8月2日 神奈川県箱根 芦ノ湖で少年8名、女子8名を含め37名が参加して行われ男子は坂田光男選手(坂田パール)、女子は安藤澄子選手(芦ノ湖)が総合優勝した。



第2回大学対抗水上スキー競技大会

33年9月7日 東京大森平和島海岸で早稲田、慶応、法政、明治学院、国学院大、学習院大が参加して開催、スラローム1位は慶応大学 枝広宇人選手、長距離1位は早稲田大学の花井選手(25分45秒)、団体スラローム1位は法政大学(45点)、長距離1位は早稲田大学(6点)。

1959(昭和34)年度

模型モーターボート

第4回全日本模型モーターボート大会

34年8月15日（東京大会）～16日（全国大会）東京石神井公園で開催。

A級30、50cm・ゴム・15m・15才以下、B級40cm以下・マグネット・20m・18才以下、C級60cm以下・マグネット・20m・18才以下、D級80cm以下・ガス・50m・年令無制限。

東京大会



A級1位	横山 滝也	日本モーターボート連盟杯	1秒0
B級1位	葛西 昭	連合会杯	10秒0
C級1位	中倉 健雄	埼玉県モーターボート競走会長杯	5秒0
D級1位	荘野 清	東京都モーターボート競走会長杯	1秒4

全国大会

B級1位	秋山 寿夫	滋賀県	日本モーターボート連盟杯	7秒5
C級1位	鏡 吉雄	徳島県	埼玉県モーターボート競走会長杯	3秒6
D級1位	安井 保	京都府	東京都モーターボート競走会長杯	3秒8

モーターボート

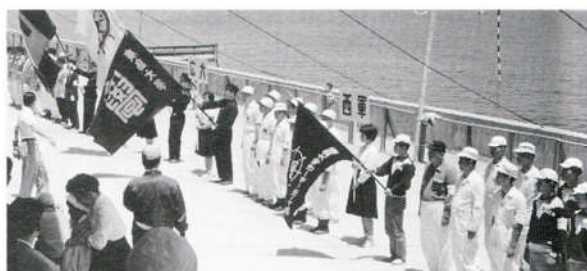
第3回関東大学対抗モーターボートレース

34年5月24日 東京大森平和島競艇場1周700m 4点マーク3周コースで早稲田、慶応、法政、明治学院、国学院大、学習院大が参加して開催。個人優勝は法政大学の久保田征治選手2分24秒1、団体優勝は法政大学26点。



第3回大学東西対抗モーターボートレース

34年6月14日 広島県宮島競艇場1周700m4点マーク3周で東軍代表法政、西軍代表福岡大が参加して開催、西軍62点で団体優勝、個人優勝は、福岡大学の林慧一選手で全国モーターボート競走会連合会長杯受賞、三地区対抗戦の団体優勝は福岡大学が東京都モーターボート競走会長杯受賞。



モーターボート第2回東京マラソン

34年6月28日 東京江戸川で42隻参加し80kmのコースで行われBRは73分26秒で関田宏選手(ヤマト)、BHは宮松日出夫選手(キヌタ)が71分18秒で1位となった。

第1回関東学生モーターボート新人戦

34年11月23日 東京府中市多摩川競艇場1周700m 4点マーク3周で法政、明治学院、学習院、国学院、早稲田、慶応が参加し開催、個人優勝は慶応大学の吉沢宏和選手(2分34秒6)、団体優勝は慶応大学。



水上スキー

第5回全日本水上スキー選手権大会

34年8月2日 神奈川県箱根 芦ノ湖で各県代表44名が参加して行われ男子 岡田昭二選手(神奈川)、女子は柴喜美子選手(東京)が選手権保持者となった。



第3回大学対抗水上スキー競技大会

34年8月8日 神奈川県箱根芦ノ湖で早稲田、法政、明治学院大、国学院大、学習院大、慶応が参加して行われスラローム団体は早稲田が47点で1位、長距離団体は早稲田が11点で1位となった。

1960(昭和35)年度

模型モーターボート

第5回全日本模型モーターボート競技大会

35年8月21日(東京大会)~22日(全国大会) 東京練馬区石神井公園で開催。
D1級80cm以下・ガス・50m・大学生以下、D2級80cm以下・ガス・50m・社会人。

東京大会

A級1位	高安 豊	群馬県モーターボート競走会長杯	0秒9
B級1位	原田秀男	埼玉県モーターボート競走会長杯	7秒1
C級1位	葛西正二	東京都モーターボート競走会長杯	5秒5
D- 1級1位	渡辺 誠	全国モーターボート競走会連合会長杯	5秒5
D- 2級1位	柳田一男	日本モーターボート連盟杯	4秒4

全国大会

A級1位	横山勝三郎	東京	笹川産業杯連盟楯	11秒5
B級1位	原田秀雄	東京	広島県競走会楯、連盟楯	7秒7
C級1位	市中一行	徳島	東京都競走会賞、連盟楯	3秒9
D- 1級1位	松本行夫	静岡	連合会杯、選連杯、連盟楯	3秒1
D- 2級1位	松本行夫	静岡	日本モーターボート連盟杯、選連杯、連盟楯	3秒4

モーターボート

第2回モーターボートマイルトライアル

35年3月27日 埼玉県戸田ボートコースで参加29 隻で行われBHは学生の部の土方茂選手(国学院大学)、一般が安宅洋二郎選手(キヌタ)であった。

第4回関東大学対抗 モーターボートレース

35年5月8日 東京府中市多摩川競艇場で法政、明治学院、学習院、国学院、早稲田、慶応が参加して行われ団体では早稲田大学(31点)、個人1位は野上正一選手(早稲田)の2分21秒5であった。



第4回大学東西対抗モーターボートレース

35年6月18日 滋賀県琵琶湖競艇場で行われ東軍早稲田が優勝、個人は野上正一選手(早稲田大学)2分20秒1、地区戦は近畿地区が14点で1位、1万m長距離は野上正一選手(早稲田大学)が6分48秒6で1位であった。

第3回モーターボート東京マラソン

35年9月25日 東京江戸川で行われCRは藤田俊孝選手(マーキュリー)1分19秒47、BRは神山一樹選手(キヌタ)1分16秒37、BHは平沢兼吉選手(キヌタ)1分21秒37がそれぞれ1位となった。



第2回大学対抗モーターボート新人戦

35年12月4日 東京府中市多摩川競艇場で慶応、早稲田、法政、国学院、明治学院、学習院、武蔵が参加して行われ1位は慶応大学(1,325点)、個人は慶応の佐伯哲郎選手(2分28秒2)であった。

水上スキー

日本海学生モーターボート選手権大会 学生水上スキー選手権大会

35年7月23、24日 新潟県柏崎中央海岸で行われモーターボート競技の団体優勝は慶応大学、個人優勝は2分41秒4で島恵太選手(慶応大学)、水上スキーは団体優勝が慶応大学、スラローム優勝が慶応大学50点、長距離優勝が早稲田大学であった。



第4回全日本選抜水上スキー大会

35年8月2日 神奈川県箱根芦ノ湖で女子10名、男子34名が参加して行われ、総合1位は男子岡田昭二選手163.333点(芦ノ湖クラブ)、女子は柴喜美子選手120点(坂田パール)であった。



第5回大学対抗水上スキー競技大会

35年8月7日 神奈川県箱根芦ノ湖で早稲田、慶応、法政、明治学院、学習院、国学院、武蔵が参加し行われ団体優勝は早稲田大学(14点)、個人優勝は安藤道宣選手(法政大学)であった。



第6回全日本水上スキー選手権大会

35年8月14日 滋賀県琵琶湖競艇場で女子4名、男子27名、米国招待選手2名が参加して行われ男子は岡田昭二選手(芦ノ湖クラブ)171点、女子は柴喜美子選手(坂田パール)82.50点がそれぞれ1位であった。

第1回全日本長距離耐久水上スキー選手権大会

35年8月17日 千葉県勝山海岸から神奈川県横須賀市久里浜間のコースで14組が参加して行われ小森宮正恵選手が23分20秒(ヨコズキアクア)で1位となった。

1961(昭和36)年度

模型モーターボート

第1回ラジオコントロール模型モーターボート大会

36年5月21日 埼玉県戸田競艇場で開催、速度競技の部1位は工藤東選手(1分45秒9)、精密操縦競技の部1位は和田正広選手(41秒)。

第6回全日本模型モーターボート大会

36年8月12日(東京大会)~13日(全国大会) 東京練馬区石神井公園で開催。

A級30~50cm・ゴム・15m・15才以下、B級40cm以下・マグネット・20m・18才以下、C級60cm以下・マグネット・20m18才以下、D180cm以下・ガス・50m・大学生以下、D280cm以下・ガス・50m・社会人。

東京大会

A級1位	菊地道夫	連盟賞	1秒
B級1位	葛西 昭	連盟賞・福井MB賞	8秒4
C級1位	吉田政敏	群馬MB賞・連盟賞	3秒9
D- 1級1位	阿部恵吾	連盟賞・伊藤模型製作所賞	4秒6
D- 2級1位	柳田一男	連盟賞	3秒7



全国大会

A級1位	中路和男	徳島	連盟賞・戸田競艇組合賞	1秒5
B級1位	田畑 勝	徳島	連盟賞・滋賀県MB賞	6秒4
C級1位	国友 進	香川	連盟賞・東京都MB賞	4秒0
D- 1級1位	中田雅雄		連盟賞・連合会賞	4秒2
D- 2級1位	森川泰三		連盟賞・連合会賞	2秒9

モーターボート

1961年モーターボートスピード記録会

36年3月29日 埼玉県戸田ボートコースで行われ学生の部はBHで田原豊 法政大学76.681Km/h、一般の部はBHで富岡政男 S4クラブが91.15Km/h(日本新記録)、BRで柳田一男 東京パワーボートクラブが82.65Km/h(日本新記録)でそれぞれ1位となった。

第5回関東大学対抗モーターボートレース

36年5月14日 東京府中市多摩川競艇場で明治学院、学習院、早稲田、慶応、国学院、武蔵、法政が参加して開催、団体優勝は37点の早稲田大学、個人優勝は早稲田大学の岸直彦選手(2分18秒8)。

第5回大学東西対抗モーターボートレース

36年6月11日 広島県宮島競艇場で早稲田、慶応、法政、滋賀大、広島大、九州大、福岡大が参加、東軍早稲田・西軍福岡大、地区代表滋賀大・広島大で開催、団体は東軍が76点で優勝、個人は東軍の慶応の川又宏選手(2分26秒6)、4地区対抗戦は西軍九州地区(11点)、長距離レースの重ランでは福岡大学の堺千代万選手(24分00)、軽ラン1位は早稲田大学の石坂清選手(25分59秒4)。

東京・大阪間太平洋1000キロマラソン

36年7月7~9日 第1日東京~御前崎350km、第2日御前崎~串本350km、第3日串本~大阪300km コースを参加艇14隻で行われ堀内浩太郎選手、松本吉夫選手、金原晃選手(ヤマハクラブ)が20時間03分で第1位 となった。なお、完走は5艇であった。

第4回モーターボート東京マラソン

36年9月24日 東京江戸川競艇場でM級は競艇場~船堀橋水門~小松川大橋往復(8km)、B級以上は競艇場~吾嬬町~上平井町~競艇場3往復(80km)のコースで行われた。



クラス	選手名	チーム	記録
M-1位	加藤康弘	京品モーターボートクラブ	17分14秒0
CR-1位	高野雅夫	JMBC	1時間55分01秒2

BH-1位	本間擁宣	江戸川モーターボートクラブ	1時間50分45秒2
X-1位	ウイリアムRイルマン	バッケニアボートクラブ	2時間13分26秒2
BR-1位	平野重三	ヤマトモーターボートクラブ	1時間33分17秒4
D-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	1時間34分17秒0
E-1位	杉浦 誠	バッケニアボートクラブ	1時間28分25秒0
I-1位	安宅洋二郎	東京パワーボートクラブ	1時間28分25秒0

第1回琵琶湖一周150kmマラソン（モーターボート）

36年10月22日 滋賀県琵琶湖で行われた。

A-1位	関田 宏	ヤマトクラブ	56分00秒
B-1位	榊原弘之・村山哲夫	JMBC	2時間34分28秒
C-1位	加藤 守・加藤英紀	びわこマリーナ	2時間08分49秒

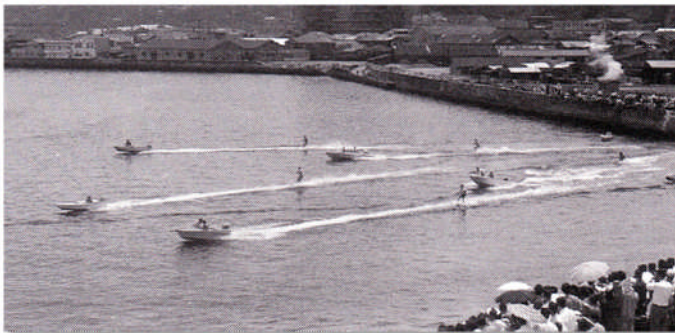
第3回大学対抗モーターボート新人戦

36年11月3日 東京府中市多摩川競艇場で法政、明治学院、早稲田、慶応、武蔵、国学院が参加して開催、個人優勝は明治学院大学の利根沢秀一選手(2分28秒2)、団体優勝は慶応大学。

水上スキー

三笠復元記念水上スキー大会

36年6月4日 神奈川県横須賀市三笠記念艦三笠沖で開催、学生1位は明治学院大学の楨弘選手(4分27秒1)、男女混合1位は松村恵・片山マリ選手(8分44秒)、一般男子1位は大塚重忠選手(4分22秒)。



2回全日本長距離水上スキー大会

36年7月15日 静岡県熱海~東京伊豆大島間で行われ高梨弥八選手(芦ノ湖)が54分10秒で優勝した。

第7回全日本水上スキー選手権大会

36年8月5、6日 神奈川県箱根芦ノ湖で行われ男子は鈴木猛選手(滋賀)155.58点、女子は中田敦子選手(滋賀)120点がそれぞれ総合優勝した。

第6回学生水上スキー選手権大会

36年8月20日 神奈川県箱根芦ノ湖で早稲田、法政、慶応、国学院、明治学院、学習院、武蔵が参加して行われ国学院大学が88.5点で優勝した。

1962(昭和37)年度

模型モーターボート

第7回全日本模型モーターボート競技大会

37年8月18(東京大会)~19日(全国大会)東京練馬区石神井公園で開催。

東京大会

全国大会

クラス	選手名	記録	クラス	選手名	地域	記録
A級 1位	高見澤一男	1秒3	A級 1位	高見澤一男	東京	
B級 1位	森山直人	20秒4	B級 1位	大賀邦雄	福岡	6秒2
C級 1位	吉田文彦	3秒2	C級 1位	田沢 勝	徳島	3秒4
D-1級 1位	加藤明雄	4秒0	D-1級 1位	鏡 博文	徳島	3秒4
D-2級 1位	柳田 泰	3秒4	D-2級 1位	森川泰三	広島	2秒8
RC級 1位	和田正広		RC級 1位	後藤恵造	静岡	1分37秒5

モーターボート

1962年モーターボートスピード記録会

37年3月23日 埼玉県戸田ボートコース

学生の部

クラス	選手名	チーム	記録
BH- 1位	安松稜太郎	国学院大学	82.38km/h
BR- 1位	池浦輝明	法政大学	73.0km/h

社会人の部

M~1-1位	鵜沢雄介	千葉モーターボート協会	54.38km/h
M~3-1位	中山茂平	千葉モーターボート協会	50.56km/h
M~4-1位	山谷弘二	トーハツボートクラブ	42.55Km/h
B- 1位	梅原義則	ヤマトクラブ	97.57km/h
B~2-1位	市田照一	平和島モーターボートクラブ	96.26km/h
B~3-1位	関田 宏	ヤマトクラブ	86.96km/h
B~4-1位	菊地光治	ミヤマボートクラブ	70.18km/h
C~1-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	95.7Km/h
C~4-1位	国井広行	平和島モーターボートクラブ	141.66km/h
F~1-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	101.41km/h
F~3-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	99.17bm/h
F~4-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	79.82km/h
X~1-1位	ウイリアムRイルマン	バッケニアクラブ	112.50km/h
X~2-1位	杉浦 誠	バッケニアボートクラブ	64.11km/h
X~4-1位	井末 勇	バッケニアボートクラブ	80.18km/h

第2回モーターボート琵琶湖マラソン

37年5月19日 滋賀県琵琶湖で行われた。(A級60kmkm・B級以上150km)

クラス	選手名	チーム	エンジン	ボート	記録
A-1位	関田 宏	ヤマトクラブ	ヤマト60	R	56分44秒
B-1位	榊原弘之・村山哲夫	ウインザーボートクラブ	マーキュリー	R	2時間02分38秒

レーシング艇

C-1位	三上節郎・織戸虎雄	クラウンボートクラブ	マーキュリー	R	1時間43分45秒
------	-----------	------------	--------	---	-----------

プレジャー艇

C-1位	井上民夫	芦ノ湖クラブ	マーキュリー	CAT	1時間56分08秒
X-1位	天野義彦・毛利八束	S4クラブ	マーキュリー (2基)	CAT	1時間43分16秒

第6回大学対抗モーターボートレース

37年5月20日 東京府中市多摩川競艇場で早稲田、慶応、法政、学習院、武蔵、明治学院、国学院が参加して行われ国学院大学が34点で団体優勝、法政大学の船越守選手が2分12秒9で個人優勝した。

第6回大学東西対抗モーターボートレース

37年6月3日 滋賀県琵琶湖競艇場で東軍国学院、法政、慶応、早稲田、西軍福岡大、九州大、西南学院、広島大、滋賀大が参加して開催。団体優勝は67点で東軍、個人優勝は国学院大学の木邨充男選手、4地区対抗戦は15点で西軍、10kmレースは福岡大の堺千代万選手が優勝。

第2回大阪・東京モーターボート1000キロマラソン

37年7月7~9日 第1日大阪~串本300km、第2日串本~御前崎350km、第3日御前崎~東京350kmコースを参加16艇(完走2隻)で行われ総合タイム22時間43分で飯田忠明・高橋篤茂・堀内浩太郎選手(芦ノ湖クラブ)が優勝した。



第4回大学対抗モーターボート新人戦

37年9月21日 埼玉県戸田競艇場で法政、武蔵、国学院、学習院、明治学院が参加して開催、団体1位は15点で法政大学、個人1位は法政大学の坂井武選手。

第5回モーターボート東京マラソン

37年9月23日 東京荒川放水路でB、C、DR級は75.2km、DS、FS、ES、FR、XS級は84.6kmコースで行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
B-1位	大塚重忠	クラウンクラブ	1時間
C-1位	中村 章	湘南パークボート	56分20秒
DR-1位	辻 祥治	JMBC	1時間03分30秒
DS-1位	トーマス伊芸 ・ 織戸虎雄	クラウンクラブ	1時間23分20秒
FS-1位	井上民夫 ・ 金子和雄	平塚ボートクラブ	1時間18分06秒
ES-1位	熊沢 藩 ・ 内田四郎	鶴見クラブ	1時間33分16秒
FR-1位	ウイリアム・R・イルマン	バツケニアクラブ	46分42秒
XS-1位	榊原 茂 ・ 片山仟二	東栄マリン	1時間11分57秒

第1回芦ノ湖モーターボートレース

37年12月9日 神奈川県箱根芦ノ湖で行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
M-1位	畠山穂作	トーハツ	24分10秒
B-1位	小谷野秀雄	東栄マリン	1時間24分5秒

C-1位	中村 章	湘南パワー	1時間05分20秒
DS-1位	松井金造・笹川延夫	伊豆箱根クラブ	2時間18分20秒1
DR-1位	生垣照雄・生垣従雄	湘南パワー	1時間59分20秒
ES-1位	毛利八束・友野龍一	S4クラブ	1時間57分20秒
ER-1位	大塚博一	バツケニア	2時間23分55秒
XS-1位	高橋篤茂・野崎茂則	芦ノ湖クラブ	1時間39分05秒
XR-1位	ウィリアム・R・イルマン	JMBC	2時間03分40秒

水上スキー

第3回全日本長距離水上スキー選手権大会

37年6月24日 静岡県熱海~東京伊豆大島間往復レースを開催し、ヨコヅキアクアの小森宮正恵選手が1 時間53分で優勝した。



第1回日光招待全日本選抜水上スキー選手権大会

37年7月29日 栃木県日光中禅寺湖で行われ男子はK・ウエード選手が2,256.6点、女子はビッキー・バンブック選手が2,000点で総合優勝した。

第7回学生水上スキー選手権大会

37年8月21日 神奈川県箱根芦ノ湖で明治学院、学習院、早稲田、慶応、国学院、武蔵、法政、武蔵工大、立教、慶応高校が参加して行われ慶応大学が124.50点で団体優勝した。

第8回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

37年9月1~2日 滋賀県琵琶湖競艇場で行われ男子は2,996点で野上正一、女子は2,744点で柴喜美子選手が総合優勝した。

第1回アタカ水上スキージャンプ大会

37年11月11日 江戸川本流東京パワーボート前で開催、坂田パールの野上正一選手が35.50mを飛び優勝。

1963(昭和38)年度

モーターボート

1963年モーターボートスピード記録会

男年3月23日 東京江戸川本流 直線1kmで行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
MH-1位	別府正博	京品モーターボートクラブ	75.47Km/h
MR-1位	山谷 弘二	トーハツモーターボートクラブ	59.31km/h
AH-1位	梶川弘一	湘南パワーボートクラブ	64.06km/h
BH-1位	市田照一	S4クラブ	98.36km/h
BR-1位	富岡政男	S4クラブ	88.45Km/h
CH-1位	中村 章	湘南パワーボートクラブ	114.29Km/h
CR-1位	生垣照雄	湘南パワーボートクラブ	81.6km/h
DH-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	93.02Km/h
DR-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	93.02km/h
FR-1位	古茂田保之	スキッパーモーターボートクラブ	80.54km/h
XH-1位	榊原 繁	東栄マリンクラブ	88.64km/h
XR-1位	井末 勇	バッケニアボートクラブ	87.17Km/h

学生

BH-1位	木邨 充男	国学院大学	80.36km/h
BR-1位	金子 光夫	慶応義塾大学	64.75km/h

第3回琵琶湖一周モーターボートマラソン大会

38年5月19日 滋賀県琵琶湖で行われた。

距離150km

A-1位	梅原 義則	ヤマトクラブ	55分03秒9
B-1位	毛利八束 ・ 伊藤延明	S4クラブ	1時間59分40秒
C-1位	杉本政久 ・ 白木秀雄	BMC	2時間03分20秒
E-1位	楠木周作 ・ 田村一之	S4クラブ	1時間45分30秒
X-1位	末 昇 ・ 藤井清利	湘南パワーボートクラブ	1時間45分38秒

第7回関東大学対抗モーターボートレース

38年6月6日 東京府中市多摩川競艇場で法政、慶応、国学院、早稲田、武蔵、明治学院、武蔵工大が参加して開催、団体優勝は33点で法政大学、個人戦優勝は慶応大学の緒方晃選手(2分20秒6)。

第7回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

38年6月26日 滋賀県琵琶湖競艇場で法政、慶応、国学院、福岡大、九州大、広島大が参加して行われ、団体は22点で福岡大学が、個人は福岡大学の堺千代万選手が2分21秒9で優勝した。

第6回モーターボート東京マラソン

38年9月29日 東京江戸川競艇場を本部に川コース(M級 40km。C級以上 80km)と海コース(C級以上 90km)で行われた。

海コース(船堀橋~養老川河口~袖ヶ浦町)

クラス	選手名	チーム	記録
D-1位	大井 修 ・ 広瀬和満	OMBC	3時間51分31秒
E-1位	滝本隆夫 ・ 村尾輝明	チャンピオン	2時間27分51秒
G-1位	戸田孝昭 ・ 上田市三	防衛庁クラブ	3時間25分19秒
X-1位	篠田誠司 ・ 本多将人	湘南パワーボートクラブ	1時間42分47秒

河川コース(船堀橋~新荒川橋)

M-1位	大場俊之	トーハツ	45分59秒
B-1位	梅原義則	ヤマトクラブ	57分52秒
C-1位	中村 章	湘南パワーボートクラブ	56分07秒
E-1位	トーマス伊芸	クラウンボートクラブ	43分46秒
X-1位	ウイリアム・R・イルマン	バツケニアクラブ	48分29秒

第1回琵琶湖モーターボート500キロ耐久レース

38年10月20日 滋賀県琵琶湖競艇場~膳所-堅田~競艇場コース1周34kmを15周(500km)で行われ友野龍一、村田次郎選手(S4クラブ)が6時間12分28秒で優勝した。

第5回大学対抗モーターボート新人戦

38年10月27日 群馬県桐生競艇場で明治学院、学習院、早稲田、慶応、武蔵、法政、武蔵工大、立教が参加して開催。団体戦優勝は23点で早稲田大学、個人優勝は慶応大学の宮田利夫選手。

水上スキー

第4回全日本長距離水上スキー選手権大会

38年6月30日 静岡県熱海~神奈川県江ノ島間Aコース100kmで行われ宮沢安雄選手(芦ノ湖クラブ)が2時間14分15秒、湾内1周10kmBコース2周20kmで少年の部は山崎良一選手(芦ノ湖クラブ)が7分00、Bコース5周50kmで女子の部は小林悦子選手(新宮商行)が8分41秒、Bコース5周50kmで一般の部は小島正勝選手(法政大)が7分57秒でそれぞれ優勝した。

第9回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

38年7月31~8月1日 栃木県日光中禅寺湖で行われ男子は2,535点で高梨弥八選手(芦ノ湖クラブ)、女子は2,937点で柴喜美子選手(坂田パール)が優勝した。

第6回全日本選抜水上スキー選手権大会

38年8月4日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催され男子トリックは2,880点で岡田昭二選手(芦ノ湖クラブ)、ジャンプは24.8点で鈴木猛選手(ハマクラブ)、女子トリックは405点で小栗園子選手(多摩川)、女子ジャンプは11.1点で柴喜美子選手(坂田パール)が優勝した。

第8回全日本学生水上スキー選手権大会

38年8月10~11日 栃木県日光市中禅寺湖で慶応、立教、法政、早稲田、国学院、学習院、武蔵工大、明治学院、武蔵が参加して開催、男子団体総合優勝は207.0点で慶応大学、女子は44.0点で早稲田大学。

1964(昭和39)年度

モーターボート

1964年モーターボートスピード記録会

39年3月22日 東京江戸川直線1000mコースで行われ11の日本新記録を樹立した。

日本新記録

クラス	選手名	チーム	記録
MR	別府正博	京品モーターボートクラブ	65.07km/h
BH	梅原義則	ヤマトクラブ	101.17km/h
CR	藤倉輝夫	スキッパークラブ	88.76Km/h
	田崎昭次	チャンピオン	84.08km/h
	生垣忠雄	湘南パワーボート	83.79km/h
DH	安宅洋二郎	東京パワーボートクラブ	113.28km/h
FH	鵜沢雄介	千葉モーターボートクラブ	114.30Km/h
XH	ウイリアム・R・イルマン	JMBC	136.24km/h
XR	井末 勇	バツケニア	103.59km/h
	小平正文	スキッパークラブ	101.19km/h
	清水 延吾 ・ 三沢弥三郎	スキッパークラブ	91.16km/h

第4回琵琶湖一周（150km）モーターボートマラソン

39年5月31日 滋賀県琵琶湖の大津~彦根~長浜~竹生島~今津~大津(B級以上)、大津~沖の島~大津間60km(A級)で行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
A1位	梅原 義則	ヤマトクラブ	45分44秒
B1位	藤川 裕 ・ 鳥羽治人		1時間45分11秒
C1位	石田 隆次 ・ 山本潤二	カジノマリン	1時間37分02秒
D1位	服部 実 ・ 野州三郎	BMC	2時間04分34秒
X1位	天野義彦 ・ 毛利八束	S4クラブ	1時間32分21秒

第8回関東大学対抗モーターボートレース

39年6月12日 東京府中市多摩川競艇場で慶応、明治学院、立教、法政、国学院、早稲田、学習院、武蔵工大、武蔵が参加して開催、団体優勝は35点で慶応大学、個人優勝は慶応大学の高橋景行選手(2分14秒7)。

第8回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

39年6月24日 滋賀県琵琶湖競艇場で福岡大、九州大、慶応、明治学院、立教が参加して開催、団体優勝は21点で福岡大学、個人優勝は福岡大学の中島健選手の2分18秒4。

第7回モーターボート東京マラソン

39年7月19日 東京江戸川競艇場で開催。

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
B級-1位	梅原義訓	ヤマトクラブ	ヤマト60	53分00秒
C級-1位	福松 進	スキッパークラブ	クレセント30	45分43秒
D・E級-1位	渋谷正義	クラウン	マーキュリー70	47分56秒
F・G級-1位	大塚俊雄	バッケニア	マーキュリー70	54分17秒
H・X級-1位	三上節男	クラウン	マーキュリー100	45分22秒

第6回関東大学対抗モーターボート新人戦

39年11月1日 東京府中市多摩川競艇場で開催、個人戦2部1位は武蔵工業大学の進士義夫選手、1部は慶応大学の野沢次郎選手、団体1部1位は慶応義塾大学、2部は武蔵工業大学。

第2回びわこモーターボート500km耐久レース大会

39年11月3日 滋賀県琵琶湖競艇場でA級1周34km を10周(340km)、B級は15周(500km)で行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
A1位	関田 宏	ヤマトクラブ	5時間15分11秒
B1位	笹川 堯 ・ 遠藤喜代子	ヤマト・白水会	6時間18分58秒



水上スキー

第5回全日本長距離水上スキー選手権大会

39年6月29日 熱海~伊豆大島 往復直線90km で行なわれ村木昭司選手(ヤマハクラブ)が1時間55分23秒、B級湾内10kmコースの少年少女の部では中島誠人選手(芦ノ湖)が18分00で優勝した。

第10回全日本水上スキー選手権大会株父宮妃賜杯

39年8月1~2日 滋賀県琵琶湖競艇場で行われ男子は新井捷治選手(国学院大学)、女子は四宮照子選手(びわこマリーナ)が総合優勝した。

第9回全日本学生水上スキー選手権大会

39年8月22~23日 栃木県日光市中禅寺湖で早稲田、慶応、立教、法政、日大、学習院、武蔵、武蔵工大、国学院、明治学院が参加して開催、団体総合優勝男子は188.5点で慶応大学、女子は47.5点で早稲田大学。

1965(昭和40)年度

モーターボート

第5回びわこ一周(150km)モーターボートマラソン大会

40年5月16日 滋賀県琵琶湖で行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
A-1位	トーマス伊芸	クラウンクラブ	39分38秒7
B-1位	山本博・加藤信次	びわこマリーナ	1時間49分43秒5
C-1位	前川 裕・北島 義国	びわこマリーナ	1時間38分07秒3
D-1位	笹川 堯・神谷神兵衛	ヤマト・バッケニア	1時間41分55秒7
X-1位	井末 勇・杉浦伊豆美	バッケニア	1時間37分53秒3

第9回関東大学対抗モーターボートレース

40年6月13日 東京府中市多摩川競艇場で1部 慶応、明治学院、立教、法政、国学院が、2部 早稲田、学習院、武蔵工大、武蔵、日大が参加して開催、HP個人戦2部優勝は武蔵工業大学の田端徹雄選手2分12秒5、1部は慶応義塾大学の宮田利夫選手2分11秒4、団体1部優勝は18点で慶応義塾大学、2部は23点で武蔵工業大学。

第8回モーターボート 東京マラソン

40年7月4日 東京江戸川競艇場から船堀橋~新荒川橋でM、A級は1往復40km、B級以上は2往復80kmで行われた。



クラス	選手名	チーム	記録
B-1位	増田達哉	ヤマトクラブ	1時間02分30秒
C-1位	生垣照雄	湘南パワーボートクラブ	54分09秒
D-1位	内藤鉄也・川名邦夫	スパイラル	1時間25分50秒
EF-1位	中山清二	クラウンボートクラブ	1時間04分42秒
GH-1位	田部 進	JMBC	56分59秒
X-1位	大沼作治	JMBC	2時間00分38秒

第9回全日本学生モーターボート選手権大会

40年7月16日 滋賀県琵琶湖競艇場で福岡大、九州大、下関水産大、慶応、法政、明治学院、広島大が参加して開催、団体優勝は21点で九州大学、個人優勝は福岡大学の松島康夫選手(2分19秒8)。

1965年モーターボートスピード記録会

40年10月22日 東京江戸川本流で行われ5つの日本新記録を樹立した。

クラス	選手名	チーム	記録
AH	渡辺 研	千葉モーターボートクラブ	65.81km/h
BH	梅原義則	ヤマトクラブ	104.98Km/h
BH	渋谷正義	クラウンモーターボートクラブ	104.23Km/h
BR	関田 宏	ヤマトクラブ	89.43Km/h
CH	巻島健吾	あざみクラブ	120.43km/h

第7回関東大学対抗モーターボート新人戦

40年11月7日 東京府中市多摩川競艇場で慶応、明治学院、法政、立教、武蔵工大、国学院、学習院、日大、早稲田が参加して開催、個人2部優勝は早稲田大学の坂井清選手(2分16秒2)、1部は慶応大学の梶山好夫選手(2分08秒2)、団体優勝は1部明治学院大学(15点)、2部は早稲田大学(16点)。

水上スキー

第6回長距離水上スキー選手権大会

40年6月28日 静岡県熱海~東京伊豆大島間往復90kmで行われ2時間43分25秒で水上照夫選手(ヤマハクラブ)が優勝した。

第8回全日本選抜水上スキー選手権大会

40年8月3~4日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催、男子総合1位は2.364点でヨコヅキアクアの児玉博隆選手、女子は2.352点で早稲田大学の田中幸枝選手。

第10回全日本学生水上スキー選手権大会

40年8月14~15日 栃木県日光中禅寺湖で行われ男子は183点で立教大学、女子は50点で国学院大学が総合優勝した。



第11回全日本水上スキー選手権大会 株父宮妃賜杯

40年8月21~22日 栃木県日光中禅寺湖で行われ男子は2.569点で新井捷治選手(国学院大学)、女子は2.000点で山本純子選手(滋賀)が総合優勝した。

1966(昭和41)年度

モーターボート

第6回琵琶湖1周(150km)モーターボートマラソン大会

41年5月15日 滋賀県琵琶湖競艇場でAコース(C、D級)は大津~沖の島~大津、Bコース(E、X級)は大津~彦根~長浜~竹生島~今津~大津で開催。

C級 500cc以下

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
1位	関田 宏	ヤマトクラブ	ヤマトMT25	50分05秒

F級 700~1000cc

1位	長谷川 清	びわこマリーナ	マーキュリー65	2時間06分14秒2
----	-------	---------	----------	------------

X級アウトボード1000cc以上

1位	田部 進	JMBC	マーキュリー110	1時間51分02秒1
----	------	------	-----------	------------

X級 インボード1000cc以上

1位	南野利之	大阪バイキング	マーキュリー150	1時間51分10秒4
----	------	---------	-----------	------------

第10回関東大学対抗モーターボートレース

41年5月29日 東京府中市多摩川競艇場で国学院、学習院、日大、早稲田、武蔵大、慶応、明治学院、法政、立教、武蔵工大が参加して開催、個人戦1部優勝は武蔵工業大学の田端徹雄選手(2分05秒3)、2部は国学院大学の萩原勇選手(2分11秒7)、団体優勝は1部立教大学(18点)、2部は学習院大学(24点)。

第10回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

41年6月18日 滋賀県琵琶湖競艇場で福岡大、九州大、下関水産大、慶応、立教、武蔵工大、広島商大が参加して開催、団体優勝は28点で九州大学、個人では慶応大学の鶴沢精一選手が2分17秒1で優勝。

第9回モーターボート東京マラソン

41年7月10日 東京江戸川競艇場で船堀橋~新荒川間80km2往復のコースで開催。

B級 350cc以下 59隻参加

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
1位	野木亮助	ヤマトクラブ	ヤマトMT25	55分38秒

C級 500cc以下 13隻参加

1位	福松 進	スキッパークラブ	クレセント55	46分20秒
----	------	----------	---------	--------

D級 700cc以下 5隻参加

1位	湯田昌伸	ヤマトクラブ	ヤマト60 2基	1時間03分17秒
----	------	--------	----------	-----------

F級

1位	中山青司	クラウン	マーキュリー65	1時間03分35秒
----	------	------	----------	-----------

E・X級 1500cc以下・1500cc以上 6隻参加

1位	ウイリアム・R・イルマン	JMBC	マーキュリー100	46分05秒
----	--------------	------	-----------	--------

1966年日本モーターボートスピード記録会

41年11月5日 千葉県市川市江戸川本流の東京パワーボートセンター前で直線1000mコースで実施、13の日本新記録を樹立した。

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
AH	渡辺 研	千葉県モーターボート	マーキュリーKG4	66.25km/h
BH	野木亮助	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	108.22km/h
	小林勝雄	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	107km/h
	田村有生	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	106.51km/h
	笹川 堯	日本ケーニッヒ	ケーニッヒFB	105.86Km/h
BR	永山正男	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	98.45km/h
	関田 宏	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	96.84km/h
	渋谷正義	クラウンクラブ	ケーニッヒ	91.38km/h
CH	梅原義訓	日本ケーニッヒ	ケーニッヒVC	137.94km/h

CR	トーマス伊芸	クラウン	ケーニツヒ	96.76Km/h
DH	笹川 堯	日本ケーニツヒ	ケーニツヒVD	124.72km/h
IH	W・R・イルマン	JMBC	マーキュリー	139.76km/h
NR	古茂田保之	NRC	マーキュリー	111.32km/h



第8回関東大学対抗モーターボート新人戦

41年11月26日 東京府中市多摩川競艇場で法政、日大、国学院、武蔵、早稲田、立教、慶応、武蔵工大、明治学院、学習院が参加して開催。個人戦2部優勝は国学院大学の田久保健美選手(2分15秒2)、1部は慶応大学の赤松栄夫選手(2分16秒6)。団体1部は25点で慶応、2部は16点で日大が優勝した。

水上スキー

第7回全日本長距離水上スキー選手権大会

41年7月5日 神奈川県箱根芦ノ湖10周160kmのコースで開催、一般は1時間56分35秒で山本政行選手(相模工大)、女子は29分2秒5で小林千恵子選手(新宮商工)、少年は27分15秒で山崎良一選手(芦ノ湖)がそれぞれ1位だった。

第11回全日学生水上スキー選手権大会

41年8月5~6日 栃木県日光市中禅寺湖で立教、慶応、法政、早稲田、武蔵工大、明治学院、武蔵、学習院、国学院、日大が参加して開催、男子は188.5点で立教大学、女子は40.5点で明治学院大学が総合優勝した。

第12回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

41年8月20~21日 滋賀県琵琶湖競艇場で開催、男子は1.931点で新井捷治選手、女子は3.000点で広瀬陽子選手が総合優勝した。

1967(昭和42)年度

モーターボート

第7回琵琶湖1周(150km)モーターボートマラソン大会

42年5月14日 滋賀県琵琶湖競艇場で開催。Aコースは(C級)大津~沖の島~大津、Bコースは(F、H、X級)大津~彦根~長浜~竹生島~大津。

Aコース

クラス	選手名	チーム	記録
C級-1位	笹川 堯	日本ケーニッヒ	46分13秒6

Bコース

F級-1位	中山清司・秋澤三千夫	バツケニア	2時間00分48秒
H級-1位	前川 裕・川村治三郎	びわこマリーナ	1時間38分19秒
X級-1位	出竿吉一・谷口 寛	永大産業	1時間35分17秒4

第11回関東大学対抗モーターボートレース

42年6月4日 東京府中市多摩川競艇場で立教、明治学院、慶応、武蔵工大、学習院、法政、国学院、日大、武蔵、早稲田が参加して開催、団体1部優勝は17点で立教大学、2部は24点で法政大学、個人戦1部優勝は武蔵工業大学の山本誠信選手(2分04秒0)、2部は法政大学の渡辺一正選手(2分07秒1)。

第11回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

42年6月11日 滋賀県琵琶湖競艇場で九州大、福岡大、下関水産、広島商大、立教、明治学院、慶応が参加して開催、団体では23点で福岡大学、個人では広島商大の広岡欣治選手が2分20秒8で優勝。



第10回モーターボート東京マラソン

42年7月30日 東京荒川放水路で実施。

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
B級 1位	笹川 堯	フジクラブ	フジKB - 1	59分03秒
CD級 1位	森田 繁	スパイラル	マーキュリー 30	1時間16分14秒
FX級 1位	平井正敏	スキッパー	マーキュリー 65	1時間18分02秒

1967年モーターボートスピード記録会

42年11月10日 東京都江戸川本流の東京パワーボートセンター前の直線1000mコースで実施。

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
BH-1位	野木亮助	ヤマトクラブ	ヤマトMT3	118.74Km/h
BR-1位	関田 宏	ヤマトクラブ		96.61km/h
CR-1位	トーマス伊芸	サイクロン	ケーニツヒFB	103.55km/h
FH-1位	渋谷正義	サイクロン	マーキュリー	84.84km/h
FR-1位	トーマス伊芸	サイクロン	マーキュリー	86.08km/h
NR-1位	古茂田保之	スキッパー	マーキュリー1000H	110.71km/h

第9回関東大学対抗モーターボート新人戦

42年11月26日 東京府中市多摩川競艇場で1部明治学院、法政、慶応、立教、武蔵工大、2部は早稲田、学習院、日大、国学院、武蔵が参加して開催、個人1部優勝は明治学院大学の窪田淳夫選手(2分08秒2)、2部は学習院大学の上条恵一選手(2分10秒0)、団体1部優勝は明治学院大学(23点)、2部は学習院大学(24点)。

水上スキー

第8回全日本長距離水上スキー選手権大会

42年7月5日 神奈川県箱根芦ノ湖でA組5周(850CC以下)、B組12周(850ccをこえ1,500cc以下)、C組12周(1,500ccをこえるもの)で開催、A組優勝は増田三郎選手(名古屋水上スキー)1時間10分32秒、B組優勝は中村建選手(芦ノ湖)2時間22分11秒、C組優勝は山本真樹選手(相模工大)2時間12分17秒。

第12回全日本学生水上スキー選手権大会

42年8月18~19日 栃木県日光市中禅寺湖で立教、慶応、法政、早稲田、武蔵工大、武蔵、学習院、明治学院、日大、国学院が参加して開催、団体総合では男子が日本大学(7.097点)、女子は立教大学(2.544点)、個人総合男子は関俊彦選手(2.761点)、女子は窪田信子選手(1.000点)の各選手がそれぞれ優勝した。



第13回全日本水上スキー選手権大会

秩父宮妃賜杯

42年9月9~10日 静岡県浜名湖で開催、男子総合はJTSCの鈴木康之選手(2.744点)、女子総合はオール関西の島田照子選手(2.467点)が優勝した。



1968(昭和43)年度

モーターボート

第12回関東大学対抗モーターボートレース 高松宮賜杯

43年6月2日 東京府中市多摩川競艇場で1部明治学院、立教、慶応、法政、武蔵工大、2部は学習院、日大、国学院、早稲田、武蔵が参加して開催、個人戦1部優勝は慶応大学の永井幸三選手(2分13秒2)、2部は学習院大学の安西雄二郎選手(2分10秒4)、団体戦1部優勝は明治学院大学(18点)、2部は学習院大学(20点)。

第12回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

43年6月9日 滋賀県琵琶湖競艇場で福岡大、九州大、広島商大、下関水産大、明治学院、立教、慶応が参加して開催、団体優勝は19点で慶応大学、個人優勝は下関大学の山本英夫選手(2分23秒90)であった。

第1回熱海オーシャンカップモーターボートレース

43年7月14日 静岡県熱海市で参加艇68隻、選手100名が参加して開催されAコース熱海~初島10往復200kmで大塚博一、大塚俊雄選手(ハッケニア)が2時間35分30秒で優勝、Bコース熱海湾5周10kmはCクラスの中村章(湘南パワーボート)が11分00秒で優勝した。

参加艇は、Bコースの艇は殆んど10フィート台のランナバウトで、エンジンは国産船外機のヤマト、フジが大勢を占めていた。

第1回モーターボート利根川マラソン

43年8月4日 千葉県佐原市利根川水郷、佐原市水郷~小見川町間80kmを3往復するコースで実施。

クラス	選手名	チーム	記録
B級1位	野木亮助	ヤマトクラブ	46分20秒
C級1位	柄窪滋夫・津田豊彰	ヤマトクラブ	1時間13分02秒
F・H・X級	古茂田保之	スキッパークラブ	56分05秒

1968年モーターボートスピード記録会

43年10月29日 千葉県佐原市利根川本流で直線1.000m コースで開催され、次の日本記録が生まれた。

BH-1位	小林勝雄	ヤマトクラブ	121.52km/h
BR-1位	永山正男	ヤマトクラブ	101.52Km/h
FR-1位	平井正敏	千葉モーターボート協会	93.90km/h

第10回関東大学対抗モーターボート新人戦

42年11月17日 東京府中市多摩川競艇場で1部法政、慶応、明治学院、立教、学習院、2部武蔵工大、武蔵、国学院、日大、早稲田が1周650m3周レースで開催、団体1部優勝は21点で法政、2部は19点で武蔵工大、個人1部優勝は法政の伊藤幾夫選手、2部優勝は武蔵工大の中島亨選手。

水上スキー

第9回全日本長距離水上スキー選手権大会

43年7月5日 神奈川県箱根芦ノ湖でA級5周、B、C級は15周で開催。B組1位は芦ノ湖クラブの長島雅之選手(3時間6分22秒)、C組1位は立教大学の池上裕和選手(2時間47分50秒)。

第13回全日本学生水上スキー選手権大会

43年8月9~10日 栃木県日光市中禅寺湖で立教、早稲田、慶応、明治学院、日大、国学院、武蔵、武蔵工大、学習院、法政が参加して開催、男子(6.877点)、女子(3.265点)とも総合優勝は立教大学。



第14回全日本水上スキー選手権大会

秩父宮妃賜杯

43年8月22~23日 滋賀県琵琶湖競艇場で開催、総合1位は慶応の梶山好夫選手(2.307点)、女子総合1位はオール関西の中村栄子選手(2.809点)。

第1回全日本水上スキー ジャンプ選手権大会

43年9月1日 三重県長島町尾張大橋上流で開催され日大の星野省也選手が31.40mを飛び優勝した。



1969(昭和44)年度

モーターボート

第13回関東大学対抗モーターボートレース

44年6月22日、東京府中市多摩川競艇場で1部明治学院、法政、慶応、立教、学習院、2部武蔵大、国学院、日大、武蔵工大、早稲田で開催、個人戦1部優勝は法政の恒吉康夫選手(2分03秒5)、2部は武蔵工大の村田正康選手(2分10秒6)、団体1部優勝は明治学院(19点)、2部優勝は武蔵工大(23点)。



第2回熱海オーシャンカップモーターボートレース

44年7月13日 静岡県熱海市でBコース67隻、Aコース25隻、選手118名が参加して開催。

Bコース総合でCクラスの小峯宏選手(サイクロンクラブ)が9分35秒の好成績で優勝。

AコースSクラスは、出竿吉一、谷口 寛選手組(永大産業)が2時間36分30秒で優勝した。このときの規定周回数を完走したのは出場25隻中6隻であった。

Bコース湾内4点マーク1周2km5周(10km)

クラス	選手名	チーム
J-1位	高井玲子	東京プロペラ
B-1位	秋元 誠	武蔵クラブ
C-1位	小峯 宏	サイクロン

Aコース1周10km20周(200km)

D-1位	野口真次郎・森 千城	ヤマトクラブ
F-1位	鈴木 茂・福谷 昇	多摩川ドルフィン
GE-1位	鈴木 薫・杉浦紀夫	バッケニア
X-1位	原田安啓・星加 定・星加 武	DID
S-1位	出竿吉一・谷口 寛	永大産業



第2回モーターボート利根川マラソン

44年8月3日 千葉県佐原市利根川往復10km8往復(80km)コースで開催。

クラス	選手名	チーム	エンジン	記録
B級-1位	小林勝雄	ヤマトクラブ	ヤマト1MT- 5	1時間01分36秒
C級-1位	奥継 界	スパイラル	マーキュリー30H	1時間12分29秒
D・F・X級-1位	古茂田保之		マーキュリー1000	59分09秒

第13回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

44年9月7日 滋賀県琵琶湖競艇場で福岡大、九州大、広島商大、下関水産大、法政、慶応、明治学院が参加して開催、団体優勝は九州大(21点)、個人優勝は福岡大の高山浩 選手(2分14秒0)。

1969年モーターボートスピード記録会

44年11月1日 千葉県佐原市利根川で開催、野木亮助(ヤマト)は時速143.20km、古茂田保之選手(スキッパー)は120.82km、梅原義則選手(富士モーター)は115.35kmをそれぞれ記録。

第11回関東大学対抗モーターボート新人戦

44年11月11日 東京府中市多摩川競艇場で1部慶応、武蔵、法政、明治学院、立教、2部日大、国学院、早稲田、学習院、武蔵工大が参加して開催、団体優勝1部は慶応大学(18点)、2部は日本大学(18点)、個人戦1部優勝は法政大学の園田優選手(2分5秒6)、2部は国学院大学の小関俊夫選手(2分7秒0)。

水上スキー

第10回全日本長距離水上スキー選手権大会

44年7月5日 神奈川県芦ノ湖でB、Cコースは芦ノ湖10周で開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
B1位	杉原良茂・飯田忠明・原田 信	芦ノ湖クラブ	2時間08分36秒
C1位	島津芳夫・瀬沼清人・熊木与治	立教大	2時間06分14秒

第14回全日本学生水上スキー選手権大会

44年8日7-8日 栃木県日光市中禅寺湖で慶応、立教、明治学院、日大、早稲田、国学院、武蔵、法政、武蔵工大が参加して開催、団体優勝は男子慶応(6.711点)、女子は立教大(3.641点)、個人男子では日大の須藤明男選手(2.000点)、女子個人は立教大の甘粕美弥子選手(1.642点)。



第2回全日本水上スキージャンプ選手権大会

44年8月24日 三重県長島町(長島リバーサイドスクール)で開催、中京大の三坂寛選手が35.00mを飛び優勝。

第15回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

44年8月30-31日 群馬県桐生競艇場で開催、男子は JTSCの新井捷治選手(2.400点)、女子はオール関西の中村栄子選手が(1.240点)で優勝した。

1970(昭和45)年度

モーターボート

第14回関東大学対抗モーターボートレース

45年5月24日 東京府中市多摩川競艇場で1部慶応、明治学院、法政、立教、武蔵、2部武蔵工大、国学院、日大、学習院、早稲田が参加して開催、団体戦1部優勝は明治学院大学(22点)、2部は武蔵工業大学(20点)、個人戦1部優勝は慶応大学の永田茂選手、2部は学習院大学の笠木茂選手。

第14回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

45年5月31日 滋賀県琵琶湖競艇場で慶応、明治学院、九州大、広島商大、水産大、福岡大、法政が参加して開催、団体戦優勝は慶応義塾大学(21点)、個人戦優勝は九州大学の佐々木恵選手(2分31秒2)。

第3回熱海オーシャンカップモーターボートレース

45年7月19日 静岡県熱海市で136隻182名(女性選手2名含む)の参加で開催された。

レース艇らしいボート、エンジンが登場するのがこの大会からで、Aコースにはホルマンムーディー搭載エンジンが6隻出場したのをはじめ、インターセプター、YK-L6スペシャルなどぞくぞく出場した。

クラス	選手名	チーム	記録
総合優勝	吉川勝人・鷺尾貢	東海マリン	2時間55分05秒

湾内2km

J-1位	小谷野誠一	スパイラル	2分24秒
------	-------	-------	-------

10km

R-1位	佐藤勝夫	スパイラル	7分10秒
H-1位	福松進	古茂田レーシング	7分30秒

Aコース熱海湾沖5km20周(200km)

F-1位	黒田賀久・長谷川満	東京プロペラ	15周
GX-1位	松谷啓二・西村燦二	関西淀川	17周
S-1位	吉川勝人・鷺尾貢	東海マリン	2時間55分05秒

モーターボート利根川マラソン

45年8月9日 千葉県佐原市利根川大橋で1周10km8往復(80km)コースで開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
BR 40km1位	鈴木幸雄	日本ダッシュ	40分10秒
H1 80km1位	大田竹三	ポニーキング	1時間27分15秒



H3P 80km1位	中村賢次郎	日本ダッシュ	1時間17分44秒
C 40km1位	森田保雄	サイクロン	38分05秒
D以上40Km1位	小林英雄	スパイラル	50分25秒

1970年モーターボートスピード記録会

45年11月7日 千葉県佐原市利根川、直線1.000mで開催されB級ハイドロで世界新記録を樹立。

クラス	選手名	チーム	記録
ZR	安宅洋二郎	東京パワーボート	105.54km/h 日本新記録
BH	田村有生	富士モーター	150.24km/h 世界新記録



水上スキー

第11回全日本長距離水上スキー選手権大会

45年7月4日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催、優勝は穂高クラブの塩沢伝選手(35分28秒)、スキーヤーレース優勝は慶応大学クラブの秋野秀夫選手(40分40秒)、女子の優勝は学習院大学クラブの岡谷礼子選手(42分17秒)。



第15回全日本学生水上スキー選手権大会

45年8月4~5日 群馬県桐生競艇場で日大、早稲田、立教、慶応、明治学院、国学院、武蔵工大、武蔵、学習院が参加して開催。男子団体は日本大学(6.036点)、女子は立教大学(2.52点)が総合優勝した。



第16回全日本水上スキー選手権大会

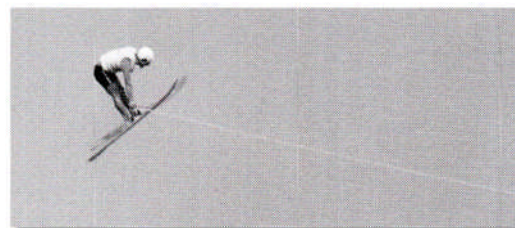
秩父宮妃賜杯

45年8月20~21日 滋賀県琵琶湖競艇場で開催され、男子は新井捷治選手(JTSC)2.397点、女子は水谷百合子選手(アクアベレー)2.036点が総合優勝した。



第3回全日本水上スキージャンプ選手権大会

45年9月6日 三重県長島町リバーサイドスクールで開催されJTSCの広西俊二選手が38.10mを飛び優勝した。



1971(昭和46)年度

モーターボート

1971年モーターボートスピード記録会

46年2月20日 千葉県佐原市利根川で行われたモーターボートスピード記録会で安宅洋二郎選手は、S5級で133.93kmの世界新記録を樹立。(旧記録114.68km)

第1回勝山モーターボートグランプリレース

46年5月16日 千葉県勝山海岸で開催され、Aコースは勝山~八王子鼻~亀ヶ崎~浮島10周50km、ストック級は5周25km、Bコース4点マーク3周6kmで争われた。



クラス	選手名	チーム	記録
BR-1位	小林英雄	スパイラル	3分45秒
HIP-1位	大竹敏治	ヤマトクラブ	3分55秒
H3P-1位	永山正夫	ヤマトクラブ	3分45秒
CR-1位	秋元 誠	ムサシ	3分33秒

ストック

360cc以下-1位	栃窪滋夫・永山正夫	ヤマトクラブ	27分30秒
360cc以上-1位	鵜沢雄介・大塚征人	千葉モーターボートクラブ	23分55秒
FG-1位	小林豊彦・田中広一郎	チームブレイクホース	32分30秒
X -1位	杉浦伊豆美・高橋勝之	バツケニア	29分15秒
S -1位	吉川勝人・小川 博	東海マリンクラブ	29分30秒

第4回熱海オーシャンカツプ

モーターボートレース

46年7月18日 静岡県熱海市で開催され、Aコース1周8km20周(160km)Bコース湾内4点マーク2km3周6kmで行われた。



	クラス	選手名	チーム	記録
Aコース	S 総合1位	佐野武司・横山 昇	ヨリトモレーシング	2時間7分33秒
Bコース	BR 総合1位	小林英雄	スパイラル	6分12秒
	BH 総合1位	津田豊彰	ヤマトクラブ	6分13秒

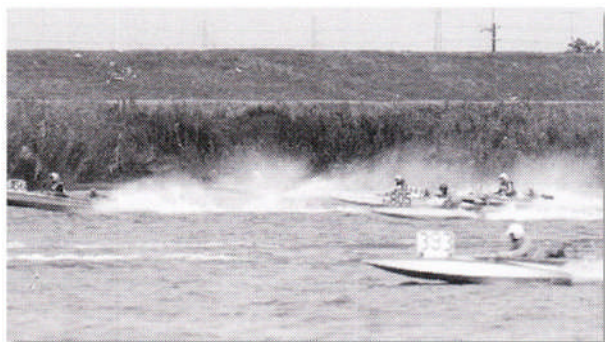
第15回関東大学対抗モーターボートレース

46年7月25日 茨城県鹿島波崎町鹿島港MGマリーナで1周1.600m2点マーク3周で法政、武蔵、明治学院、国学院、武蔵工大、慶応、日大、学習院、立教、早稲田が参加して開催、団体戦優勝は40点で法政大学、個人戦優勝は武蔵工業大学の菅沼裕司選手(3分26秒0)。

第4回モーターボート利根川マラソン

46年8月22日 千葉県佐原市利根川で4km5往復40km(ストック往復16km)で開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
BH3P40km-1位	巻島健吾	富士クラブ	21分58秒
BR -1位	小峯 宏	サイクロン	23分23秒
BHIP-1位	赤坂巖栄	富士クラブ	記録なし
CH -1位	小林豊彦	湘南マリン	5周
DFR-1位	梅森ジョー	サイクロン	5周
ストック16km-1位	柄窪滋夫、 林伸芳	ヤマトクラブ	2周



第15回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

46年8月20日 静岡県浜名湖で福岡大、法政、武蔵、九州大、国学院大、下関水産大、明治学院が参加して開催され、福岡大学が24点で団体優勝、個人では同じく福岡大学の阿比留良明選手が優勝。

水上スキー

第17回全日本水上スキー選手権大会

秩父宮妃賜杯

46年8月14~15日 三重県長島町木曾川で開催され、東京の広西俊二選手(2.632点)が、女子は同じく東京の広瀬陽子選手(2.635点)が総合優勝した。

第16回全日本学生水上スキー選手権大会

46年8月28~29日 群馬県桐生競艇場で早稲田、日大、立教、武蔵工大、国学院、武蔵、明治学院、慶応、法政、学習院が参加して開催され、男子団体は5.656点で早稲田大学、女子は2.565点で慶応大学が総合優勝した。



1972(昭和47)年度

モーターボート

第2回勝山モーターボートグランプリレース

47年5月21日 千葉県勝山海岸でBコース1周2km 3周(6km)、Aコース勝山~八王子鼻~亀ヶ崎~浮島1周5km10周(50km)で争われた。

Bコース

クラス	選手名	チーム	記録
BR -1位	大村誠一	ヤマトクラブ	3分26秒
BH1P-1位	大村誠一	ヤマトクラブ	3分35秒
BH3P-1位	下里博文	横浜レーシング	3分46秒
CR -1位	中村 章	フュジュティブ	3分41秒
ストックB-1位	加藤隆夫・シリア・ポール	SMCM	4分40秒
ストックC-1位	山崎亜起生・田村隆司	ホープマリン	

Aコース

オフショア-1位	田丸貞雄、大田二郎	ヨリトモレーシング	33分30秒
I・N -1位	叶 邦彦、松沢デービット	チームブレイクホース	9周
D -1位	野間正春、田中 真	EMC	7周



第16回関東大学対抗モーターボートレース

47年6月11日 茨城県鹿島波崎町 鹿島港MGマリーナで法政、武蔵大、明治学院、国学院大、武蔵工大、慶応、日大、学習院、立教、早稲田、が参加して開催、団体優勝は36点で慶応大学、個人優勝は武蔵工業大学の滝沢治雄選手(3分30秒)。

第5回熱海オーシャンカップモーターボートレース

47年7月17日 静岡県熱海市で開催、1周8kmを20周(160km)のAコースと湾内1周2km3周(6km)のBコースで実施された。参加艇はBコース206隻、Aコース53隻。

クラス	選手名	チーム	記録
BH3P-1位	野木亮助	ヤマトクラブ	7分04秒
BH1P-1位	中村正昭	スパイラル	6分03秒
CH1P-1位	橋本一均	ヤマトクラブ	5分08秒
BR -1位	津田豊彦	ヤマトクラブ	5分10秒
CR -1位	杉原 豊	ヒカリ自動車	5分20秒
ストック総合1位	バーシー・トレイロ(スウェーデン)	フュジュティブ	4分51秒
Bコース総合1位	バーシー・トレイロ(スウェーデン)	フュジュティブ	4分51秒
Aコース総合1位	佐野武司 田島弘 牧野圭吾	ヨリトモレーシング	1時間48分07秒



第5回モーターボート利根川マラソン

47年8月13日 千葉県佐原市利根川で8往復(80km)コースで争われた。

クラス	選手名	チーム	記録
BHP -1位	永山正男	ヤマトクラブ	58分37秒
BH1P-1位	小山 昇	ヒカリ自動車	59分45秒
BR -1位	仁井田昌彦	ポニーキング	57分55秒
CR -1位	太田三郎	ヨリトモレーシング	54分50秒
Nレーザー	村尾輝明	ブレイクホース	52分15秒



水上スキー

第17回全日本学生水上スキー選手権大会

47年8月5~6日 静岡県浜名湖競艇場で学習院、法政、慶応、明治学院、武蔵工大、国学院、武蔵、立教、日大が参加して開催、男子スラローム1位は日本大学の椎名康仁選手(1,000点)、トリックは国学院大学の笹倉雄吾選手(1,000点)、ジャンプは武蔵工業大学の池田省治選手(1,000点)、女子スラローム1位は明治学院大学の在間邦子選手(1,000点)、トリック女子は学習院大学の岡谷令子選手(1,000点)。

第18回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

47年8月22~23日 群馬県桐生競艇場で開催、男子は愛知の加藤己清選手(2,509点)、女子は大阪の中村栄子選手が(2,505点)で総合優勝した。

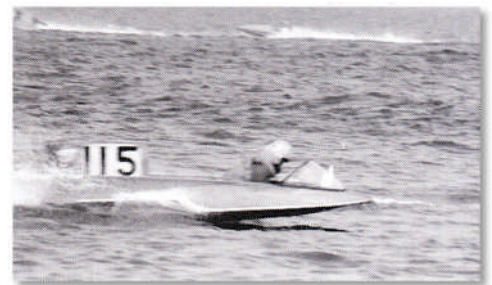
1973(昭和48)年度

モーターボート

第3回勝山モーターボートグランプリレース

48年5月20日 千葉県勝山海岸で開催、Bコースは1周2kmを5周(10km)、Aコースは1周5km10周(50km)で争われた。

クラス	選手名	記録
OB-1位	秋元 誠	625点
OC-1位	岩松芳利	800点
SB-1位	原 誠	700点
SC-1位	加藤年春	800点
ON-1位	叶 邦彦・小林豊彦	7周 57分17秒
SE-1位	松浦 宏・佐藤勝久	6周 48分47秒
SI-1位	小川浩業・中山正行	5周 61分48秒
S6-1位	鶴沢雄介・三本松一夫	10周 47分38秒
R6-1位	高橋勝之・財部 一	9周 50分03秒



第17回関東大学対抗モーターボートレース

48年6月10日 茨城県常陸利根川MGマリーナで武蔵工大、立教、法政、武蔵、国学院、明治学院、慶応、早稲田、学習院、日大が参加して開催、団体優勝は37点で武蔵工業大学、個人優勝は武蔵工業大学の竹本和之選手。

第6回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

48年7月20日 静岡県熱海市で開催された。

本大会は、参加艇多数のため事故防止の見地から、Bコースは受付隻数を制限しBコース58隻、Aコース34隻の参加となった。また、本大会からUMI国際ルールに従ってレースを運営した。

Bコース 1周2km3周(6km)

クラス	選手名	チーム	記録
総合1位	小峯 宏	サイクロン	4分01秒3

Aコース 1周8km16周(128km)

総合1位	R00	中沼政治・岩井義範	ローデムレーシング	1時間24分08秒
最高タイム賞	オフショアII	吉川勝人・渡部達夫	東海マリン	1時間22分



第17回全日本学生モーターボート選手権大会 高松宮賜杯

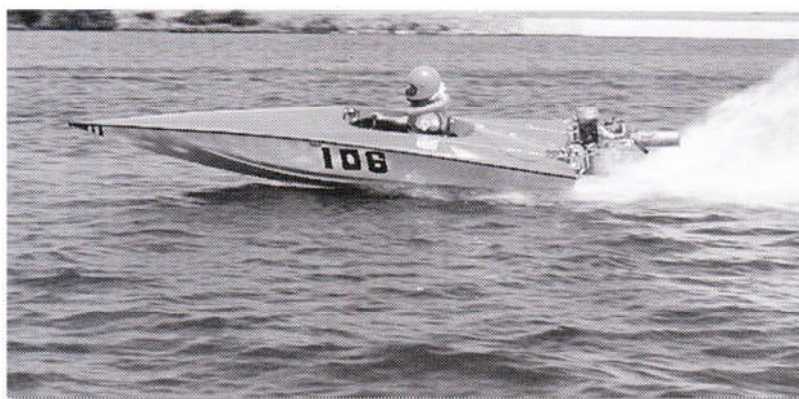
48年7月22日 福岡県福岡競艇場で福岡大、法政、武蔵、武蔵工大、九州大、下関水産大が参加して開催、団体優勝は28点で福岡大学、個人優勝は九州大学の伊藤信孝選手(2分07秒1)。

第6回モーターボート利根川マラソン

48年8月19日 千葉県佐原市利根川で開催。

コース 1周8km周回

クラス	選手名	チーム	記録
OC 80km-1位	小林英雄	スパイラル	9周 1時間02分21秒
OT 80km-1位	中村賢次郎	日本ダッシュ	59分10秒
OB 40km-1位	根建昭一	日本ダッシュ	25分30秒
SB 80km-1位	原誠一	フュジュティブ	65分11秒
SD 80km-1位	鈴木俊介	東京パワーボート	61分01秒
SE 80km-1位	小谷野秀雄	スパイラル	64分24秒



水上スキー

第19回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

48年8月24~25日 茨城県鹿島常陸利根川で開催、男子は学連の山崎良一選手(3,000点)、女子は東京の広瀬陽子選手(2,541点)が総合優勝した。

第14回全日本長距離水上スキー選手権大会

48年10月6日 神奈川県箱根芦ノ湖で学習院、日大、法政の3周50kmレース、スキーヤーの5周85kmレース、オーナーの10周175kmレースが開催され大学対抗は学習院大学2時間03分41秒、スキーヤーレースは塩沢伝選手(穂高クラブ) 59分18秒、オーナーレースは穂並輝雄選手(穂高クラブ)1時間49分45秒が優勝した。

1974(昭和49)年度

モーターボート



第7回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

49年7月20日 静岡県熱海市でBコース91隻、Aコース61隻が参加して開催された。
Aコース1周8km 20周160km

クラス	選手名	チーム	記録
SD-1位	斉藤幸雄・後藤 孝	MGマリンクラブ	2時間09分58秒
SE-1位	根建満行・高島一之	日本ダッシュ	2時間10分06秒
SN-1位	岡田 昭・二宮克彦	マリンフオース	2時間10分18秒
OF-1位	和田正武・和田 明	浜松パワーボート	2時間07分48秒
ON-1位	洞江則之・長野勝之	静岡パワーボート	2時間07分32秒
OZ-1位	星加 定・原田安啓	淀川モーターボート	2時間07分21秒
S3-1位	岩本庄三・伊藤 宏	芦ノ湖マリン	2時間11分23秒
S5-1位	中出忠宣・横山 昇	ヨリトモレーシング	2時間13分51秒
S6-1位	鷲尾 頁・永広淳一	大和クラブ	2時間12分15秒
R00-1位	三原利彦・矢野喜一郎・佐伯嘉昭	ヨリトモレーシング	2時間15分17秒

第7回モーターボート利根川マラソン

49年8月11日 千葉県佐原市利根川の1周8km10周80kmコースで開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
OB-1位	渡辺邦男	横浜レーシング	9周 36分52秒
OC-1位	杉原 豊	ヨリトモレーシング	10周 36分11秒
OCN-1位	山崎忠良	MGマリン	8周
SB-1位	鶴尾安信	サイクロン	8周
SC-1位	小池浩史	フュジュティブ	9周
SD-1位	中村正昭	ボーミング	10周 40分42秒
SE-1位	根建昭一	日本ダッシュ	10周
PC-1位	郡山紘一	アキレス	7周

第6回三河湾エメラルドカップモーターボートレース

49年8月17日 愛知県蒲郡市西浦で開催された。

Bコース1周2km3周(6km)

クラス	選手名	チーム	エンジン
OB-1位	秋元 誠	武蔵モーターボート	フジKB3 348cc
OC-1位	大村正法	東海マリン	カルニッチ 492cc
SB-1位	増岡富士男	静岡パワーボート	アルキメデスペンタ 600cc

Aコース1周10km10周(100km)

クラス	選手名	チーム	記録
SN-1位	岡田 昭・二宮克彦	熱海ドルフィン	56分00秒
ON-1位	望日昭典・石上 進	静岡パワーボート	58分11秒
S6-1位	中出忠宣・横山 昇	ヨリトモレーシング	57分21秒
R6-1位	田丸貞雄・藤宮 了	ヨリトモレーシング	57分5秒
R00-1位	三原利彦・矢野喜一郎・坂谷雅章	ヨリトモレーシング	59分15秒
オフショア1位	吉川勝人・渡辺達夫・大堀治男	東海マリン	55分21秒

水上スキー



第20回全日本水上スキー

選手権大会 秩父宮妃賜杯

49年8月3~4日 静岡県浜名湖競艇場で開催、男子は東京の広西俊二選手(2,800点)、女子は同じく東京の広瀬陽子選手(2,888点)が総合優勝した。

第19回全日本学生水上スキー選手権大会

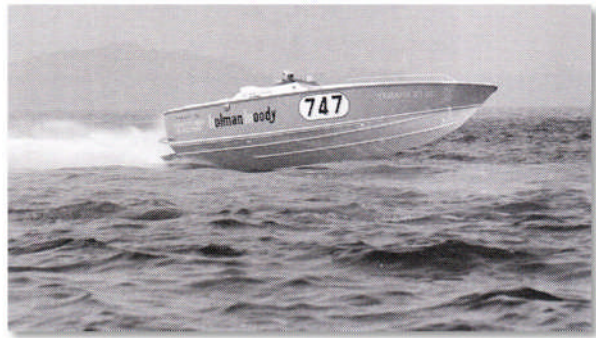
49年8月24~25日 群馬県桐生競艇場で日大、学習院、法政、立教、武蔵、国学院、慶応、明治学院、早稲田が参加して開催され男子は日本大学(5,878点)、女子は明治学院大学が2,367点で総合優勝した。

第15回全日本長距離水上スキー選手権大会

49年9月7日 神奈川県箱根芦ノ湖で国学院、学習院、日大、早稲田、武蔵工大、立教、明治学院、慶応、法政の3選手による3周レースとオーナー10周レースが開催され大学対抗は国学院大学(2時間09分12秒)、オーナーレースは宮脇敬治選手(関西水上スキークラブ)が2時間05分48秒で優勝した。

1975(昭和50)年度

モーターボート



第8回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

50年7月19日 静岡県熱海市でAコース1往復
8km20周(160km)とBコース1周2km2周(4km)で開催された。

クラス		選手名	チーム	記録
Aコース総合1位	R00	佐野武司・前田俊衛	ヨリトモレーシング	1時間28分57秒
Bコース総合1位	ON	杉浦伊豆美	サイクロン	3分15秒

第4回銚子グランプリモーターボートレース

50年8月3日 千葉県銚子市利根川で107隻が参加して開催された。
Aコース 1周4.4km5周(22km)

クラス	選手名	チーム	記録
3SD-1位	田中広一郎	ブレイクホース	クレセント35S
SE-1位	森田保雄	サイクロン	マーク650S
SN-1位	黒川啓明	鬼崎レーシング	ジョンソン135ESL
S5-1位	横関幸弘・佐野実	高松レーシング	ホルマンムーデー
ON-1位	五百旗頭武・五百旗頭満	東京パワーボート	ジョンソン135
R6-1位	佐野武司・前田俊衛	ヨリトモレーシング	ホルマンムーデー
ROO-1位	大賀将夫・今泉良治	豊橋モーターボート	ホルマンムーデー

Bコース1周2km3周(6km)

OB-1位	平柳勝久	東京シヤーク	フジKB3
OC-1位	松本正孝	ボーミング	クレセント45
ON-1位	杉浦伊豆美	サイクロン	マーク1500TW-1
SC-1位	松本正孝	ボーミング	クレセント
SD-1位	中村正昭	ボーミング	ポルボペンタ
SE-1位	森田保雄	サイクロン	マーク650XS
SN-1位	黒川啓明	鬼崎レーシング	ジョンソン135

Aコース

総合1位 R6	佐野武司 、 前田俊衛	ヨリトモレーシング	14分34秒05
---------	-------------	-----------	----------

Bコース

総合1位 ON	杉浦伊豆美	サイクロン	3分57秒05
---------	-------	-------	---------

第8回モーターボート利根川マラソン

50年8月17日 千葉県佐原市利根川で1周5.6km10周(56km)コースで開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
OB-1位	斉藤仁一	ウルトラマリン	41分35秒2
SB-1位	藏方 実	東京プロペラ	7周
SC-1位	松本正孝	ボーミング	8周
SD-1位	松浦 宏	スパイラル	9周
SE-1位	小林豊彦	湘南マリン	10周35分11秒2
PC-1位	伯耆田隆一	アキレス	5周



水上スキー

第20回全日本学生水上スキー選手権大会

50年8月21-22日 群馬県桐生競艇場で早稲田、慶応、立教、法政、学習院、明治学院、武蔵、日大、武蔵工大、国学院、福岡大が参加して開催され男子団体は6,374点で日本大学、女子は2,418点で明治学院大学が総合優勝した。

第21回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

50年8月30-31日 山梨県河口湖で開催され男子は2,791点で塙健二選手(東京)が、女子は3,000点で中村栄子選手(滋賀)が総合優勝した。

第16回全日本長距離水上スキー選手権大会

50年9月6日 神奈川県箱根芦ノ湖で立教、国学院、明治学院、法政、学習院の大学3選手による3周とオーナーの10周レースが開催され、大学対抗は1時間57分45秒で立教大学、オーナーレースは1時間50分49秒で野秋孝治選手(芦ノ湖クラブ)が優勝した。

1976(昭和51)年度

モーターボート

第5回銚子モーターボートクランプリレース

51年6月20日 千葉県銚子市利根川で開催された。

Aコース1周4km5周(20km)

Bコース1周1.6km5周(8km)

クラス	選手名	チーム	記録	クラス	選手名	チーム	記録
SD-1位	杉浦 宏	スパイラル	800点	OB-1位	大村正法	東海マリン	1,200点
SE-1位	森田保雄	サイクロン	1.200点	OC-1位	田口四郎	チームパイレーツ	1,100点
SN-1位	片山恵史	鬼崎レーシング	1.200点	SB-1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
S-51位	横関幸弘	高松レーシング	1.200点	SC-1位	川島徹也	チームパイレーツ	825点
ON-1位	洞江則之	静岡パワーボート	800点				
OZ-1位	小峯 宏	サイクロン	1.200点				
R3-1位	石川敏文	石川マリン	1.200点				
R6-1位	佐野武司	ヨリトモレーシング					

第9回熱海オーシャンカップモーターボートレース

51年7月24日 静岡県熱海市で開催された。

この年は、レース用モーターボートの登録制度が改正され、レーシング用とスポーツ用の2系統に分離され、艇番の表示も改められた。

コースも、Aコースはマークを初島沖に移動し1周20kmを10周200kmとし、湾内コースも1周4kmとしヒート制を廃止し、10周40kmのB1と3周12kmのB2の2コースとなった。



Bコース1周4km3周(12km)

クラス	選手名	チーム	記録	クラス	選手名	チーム	記録
SB-1位	小林英雄	スパイラル	9分12秒	SN-1位	片山捷昭	ホープマリン	21分25秒
SC-1位	川島徹也	チームパイレーツ	8分31秒	OF-1位	和田正武	浜松パワーボート	26分13秒
SD-1位	小西昭典	フュジュティブ	25分15秒	ON-1位	大堀治男	東海マリン	21分01秒
SE-1位	本橋久司	いずみ	23分33秒	最高タイム	大堀治男	東海マリン	21分01秒

Aコース1周20km10周(200km)

最高タイム	片山裕男・黒川啓明	1時間46分17秒
-------	-----------	-----------

第7回三河湾エメラルドカップモーターボートレース

51年8月15日 愛知県蒲郡市西浦で開催された。

Cコース1周2km5周(10km)最高タイム

クラス	選手名	チーム	記録
OB	宮川政明	インペリアル	8分03秒



Bコース1周5km4周(20km)最高タイム

クラス	選手名	チーム	記録
ON	大堀治男	東海マリン	10分20秒

Aコース1周10km10周(100km)最高タイム

クラス	選手名	チーム	記録
R00	吉川勝人・大堀治男・渡部達夫	東海マリン	55分16秒

第1回利根川サーキットレース

51年9月19日 千葉県佐原市利根川で開催された。

1,600m3周(4,800m)

クラス	選手名	チーム	記録	クラス	選手名	チーム	記録
OB-1位	杉原豊	ヨリトモレーシング	625点	SB-1位	下里和美	横浜レーシング	800点
OC-1位	高島春夫	ウルトラマリン	700点	SC-1位	稲田孝行	フュジュティブ	800点

1,600m5周(8,000m)

クラス	選手名	チーム	記録
SE-1位	小林豊彦	湘南マリン	800点

水上スキー

第21回全日本学生水上スキー選手権大会

51年8月27~28日 群馬県桐生競艇場で慶応、早稲田、学習院、立教、武蔵工大、武蔵、国学院、明治学院、日大、法政、福岡大が参加して開催され、団体は男子5,741点)女子2,761点)とも学習院大学が総合優勝した。



第22回全日本水上スキー選手権大会

秩父宮妃賜杯

51年9月9~10日 神奈川県相模湖で開催され男子は2,977点で塙健司選手、女子は3,000点で中村栄子選手が総合優勝した。



第17回全日本長距離水上スキー選手権大会

51年10月23日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催され大学対抗レースは法政、立教、日大、早稲田、武蔵、学習院、明治学院、慶応が参加して15km7周(105km)は法政大学が1時間21分47秒、オーナーレースは15km10周(150km)で野秋高治選手(芦ノ湖クラブ)が1時間28分51秒で優勝した。

1977(昭和52)年度

モーターボート

第6回銚子モーターボートクランプリレース

52年6月12日 千葉県銚子市利根川で開催された。

Aコース1周4km5周20km最高タイム

クラス	選手名	チーム
R5	構関幸弘・山田 潔	高松レーシング

Bコース1周1.6km5周8km最高タイム

OB	荒井 高	ワールド
----	------	------



第10回熱海オーシャンカップモーターボートレース

52年7月23日 静岡県熱海市で参加艇88隻、129名の選手が出場して開催された。

Bコース2 1周4km3周(12km)最高タイム

クラス	選手名	チーム	記録
SC	米村伸一	大和レーシング	8分21秒

Bコース11周4km10周(40km)最高タイム

ON	大村正法	東海マリン	22分55秒
----	------	-------	--------



Aコース 1周20km10周(200km)最高タイム

ROO	吉川勝人・渡部達夫	東海マリン	1時間43分16秒
-----	-----------	-------	-----------

第2回利根川サーキットレース

52年9月15日 茨城県常陸利根川で開催された。

優勝

クラス	選手名	チーム	記録
OB1周 1500m5周	中村賢次郎	チームパイレーツ	5分20秒
OSB1周1500m3周	小林勝利	東海マリン	3分58秒
SB1周 1500m3周	小林英雄	スパイラル	4分46秒
SC1周 1500m3周	広瀬光夫	トーハツ	4分06秒
SE1周1500m5周モノハル	薄井洋一	リキレーシング	6分20秒
〃 カタマラン	森田保雄	サイクロン	5分31秒

第5回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

52年12月4日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催された。

Bコース 1周1,600m3周

クラス	選手名	チーム	記録
OB	荒井 高	ワールド	3分15秒1

Aコース1周15km10周(150km)

Aコース2 0N	大塚治男	東海マリン	1時間10分26秒
Aコース1 R6	安藤輝男 ・ 飯塚忠男	芦ノ湖レーシング	1時間04分15秒

水上スキー

第22回全日本学生水上スキー選手権大会

52年8月25~26日 山梨県河口湖で日大、立教、明治学院、慶応、国学院、学習院、法政、武蔵工大、福岡大、武蔵、早稲田が参加して開催され、男子団体は3,501点で日本大学、女子は1,366点で明治学院大学が総合優勝した。

第23回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

52年9月9~10日 山梨県河口湖で開催され男子は1,192点で神奈川の山崎良一選手、女子は915点で滋賀の中村栄子選手が総合優勝した。

第18回全日本長距離水上スキー選手権大会

52年10月29日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催されオーナーレースは10周レースで芦ノ湖クラブが1時間35分20秒で、大学対抗戦は武蔵工大、日大、学習院、武蔵大、立教、法政、明治学院、国学院大、早稲田、慶応が参加して7周レースを1時間15分15秒で武蔵工業大学が優勝した。

1978(昭和53)年度

モーターボート

第11回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

53年7月29日 静岡県熱海市で開催された。

出場艇が年々高性能化することから、B1コースは1周4km10周40kmを改め、20周80kmと距離を倍増させた。



Bコース2 1周4km3周(12km)

クラス	選手名	チーム	記録
最高タイム SC	広瀬光夫	トーハツ	9分21秒

Bコース1 1周4km20周(80km)

最高タイム ON	三原利彦	関西阪奈会	47分27秒
----------	------	-------	--------

Aコース 1周20km10周(200km)

最高タイム SOO/ROO	鈴木俊介・叶邦彦	東京パワーボート	1時間47分02秒
---------------	----------	----------	-----------

第8回三河湾エメラルドカップ

モーターボートレース

53年8月13日 愛知県蒲郡市西浦で開催された。

Cコース 1周2km3周(6km)

クラス	選手名	チーム	記録
OSB最高タイム	小林勝利	東海マリン	4分18秒

Bコース 1周10km5周(50km)

ON最高タイム	大堀治男	東海マリン	35分34秒
---------	------	-------	--------

Aコース 1周10km20周(200km)

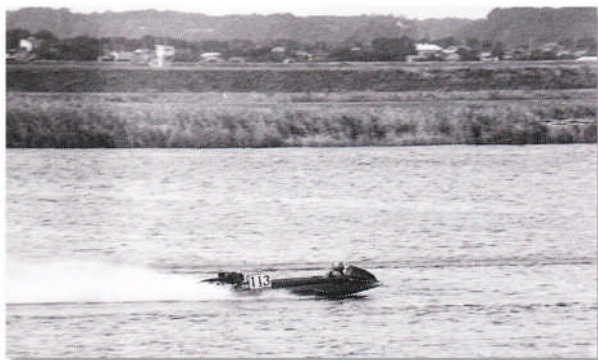
R5/6最高タイム	横関幸弘・山田潔	高松レーシング	1時間14分58秒
-----------	----------	---------	-----------



第3回利根川サーキットレース

53年10月8日 茨城県常陸利根川で開催された。

クラス	順位	選手名	チーム	記録
OB 1周1600m5周	1位	林 修功	東海マリン	850点
OSB 1周1600m3周	1位	橋本文男	ウルトラマリンクラブ	1,000点
SB 1周1600m3周	1位	秋元敏男	武蔵モーターボート	1,200点
SC 1周1600m3周	1位	高野修二	横浜レーシング	925点
SE1周1600m5周(モノハル)	1位	鶴尾安信	サイクロンクラブ	1,100点
〃 (カタマラン)	1位	杉浦伊豆美	チームパイレーツ	1,000点



第6回芦ノ湖グリーンカップ モーターボートレース

53年12月3日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催された。

Bコース 1周1600m3周

最高タイム OB	渡辺邦男	湘南マリン	3分35秒00
----------	------	-------	---------

Aコース 1周15km10周

最高タイム ROO	鈴木俊介・橋本博正	東京パワーボート	57分19秒
-----------	-----------	----------	--------

水上スキー

第23回全日本学生水上スキー選手権大会

53年8月22~23日 山梨県河口湖で日大、立教、明治学院、慶応、国学院、学習院、法政、武蔵工大、福岡大、武蔵、早稲田が参加して開催され、男子団体は3,089点で立教大学、女子は1,380点で明治学院大学が総合優勝した。



第24回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

53年8月24~25日 山梨県河口湖で開催され、男子は2,629点でオーストラリアのクレイグ・アイアン選手が、女子は2,018点でオーストラリアのカレン・ボウケット選手が総合優勝した。

オーストラリア、ニュージーランド招待選手 水上スキー親善試合

53年8月26日 山梨県河口湖で開催され男子は2,150点でオーストラリアのクレイグ・アイアン選手、女子は1,532点でニュージーランドのアン・カーマイケル選手が優勝した。

第19回全日本長距離水上スキー選手権大会

53年10月28日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催され大学対抗は立教、武蔵工大、日大、学習院、武蔵工大、法政、国学院、明治学院、慶応、東北学院大が参加して15km7周(105km)レースでは1時間18分46秒で立教大学、オーナーレースは1時間41分09秒でオール関西の宮脇敬治選手が総合優勝した。

1979(昭和54)年度

モーターボート

第12回熱海オーシャンカップモーターボートレース

54年7月28日 静岡県熱海市で開催された。今大会には、本格的なオアショアレーサー、ロッキー青木選手がベニハナ・バートラム38にKAM468の2基がけで参加した。

B2コース 1周4km5周(20km)

クラス	選手名	チーム	記録
最高タイム SC	佐藤敏明	トーハツモーターボートクラブ	22分29秒

B1コース 1周4km20周(80km)

最高タイム ON	三原利彦	関西阪奈会	58分52秒
----------	------	-------	--------

Aコース 1周20km10周(200km)

最高タイム OFF	ロッキー青木 三原利彦 中地淳一	関西阪奈会ベニハナレーシング	1時間52分46秒
-----------	------------------------	----------------	-----------

第4回利根川サーキットレース

54年10月14日 茨城県常陸利根川で開催された。

OSPコース 1周300m3周

クラス	選手名	チーム	記録
最高タイム OSP	大沢康雄	利根モーターボートクラブ	1分57秒8

OBコース 1周1500m3周

最高タイム OB	中村賢次郎	チームパイレーツ	5分19秒6
----------	-------	----------	--------

第7回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

54年12月8日 箱根芦ノ湖の1周15km10周150km コースで開催され最高タイムは R6 クラスの佐野武司・島見勝(ローデムレーシングクラブ)が56分37秒で優勝した。

水上スキー

第24回全日本学生水上スキー選手権大会

54年8月21~22日 山梨県河口湖で日大、立教、明治学院、慶応、国学院、学習院、法政、武蔵工大、福岡、東北学院、武蔵が参加して開催され男子は6,664 点で慶応大学、女子は3,658点で明治学院大学が総合優勝した。

第25回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

54年8月23~24日 山梨県河口湖で開催され、東京の鳥海英隆選手が2,777点で、女子はオール関西の北島栄子選手が3,000点で総合優勝した。

1980(昭和55)年度

モーターボート

第9回三河湾エメラルドカップモーターボートレース

55年5月25日 愛知県蒲郡市西浦で開催された。

Bコース 1周10km8周(80km)

クラス	選手名	チーム	記録
総合優勝ON	高橋正美	壇ノ浦どん亀	50分41秒6

Aコース 1周10km15周(150km)

最高タイム R5/R6	佐野武司・渋谷正義	シブヤスピードショップ	1時間20分28秒8
-------------	-----------	-------------	------------

第13回熱海オーシャンカップモーターボートレース

55年7月19日 静岡県熱海市で開催された。

B2コースは、SC クラスの米村伸一(大和レーシング)が、23分23秒の最高タイム。B1コースは、ONクラスの吉川修一(東海マリン)が、1時間10分12秒の最高タイム。

A コースは、前回スタート直後に事故が発生したので安全対策に万全を期し、慎重にローリングスタートを行った。レースは、1時間55分22秒の最高タイムでローデムレーシングチームの島見勝・西岡

文弘・佐野武司選手組に運輸大臣旗が授与された。なお、ROOクラスで優勝した鈴木俊介・矢須親二選手組(東京パワーボート)にはヨリトモ杯が贈られた。

B2コース 1周4km5周(20km)

クラス	選手名	チーム	記録
最高タイム SC	米村伸一	大和レーシング	23分23秒

B1コース 1周4km20周(80km)

最高タイム ON	吉川修一	東海マリン	1時間10分12秒
----------	------	-------	-----------

Aコース 1周20km10周(200km)

最高タイム OFF	島見勝、西岡文弘、佐野武司	ローデムレーシング	1時間55分22秒
-----------	---------------	-----------	-----------

第1回小豆島オリブカップモーターボートレース

55年10月5日 香川県小豆島坂手湾で開催された。

Aコース 1周10km20周(200km)

クラス	選手名	チーム	記録
最高タイム OFF	三原利彦、東尾裕之、中地淳一	関西阪奈会	2時間08分57秒

Bコース 1周4km5周(20km)

最高タイム ON	氏家憲治	チーム1	1時間1分39秒
----------	------	------	----------

Cコース 1周1.7km3周(5100m)

最高タイム OSP	高橋 明	愛媛レーシング	3分44秒
-----------	------	---------	-------

第5回利根川サーキットレース・第18回東京都選手権

55年11月9日 茨城県常陸利根川MGマリーナで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
OSP-1位	中村正昭	戸田C	1,200点
OB-1位	中村賢次郎	パイレーツ	800点
OSB-1位	清水 巖	横浜レーシング	752点
SB-1位	江森憲一郎	横浜レーシング	1,100点
SC-1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
SD-1位	矢須親二	東京パワーボート	1,200点
SER-1位	渡辺 修	岩橋レーシング	最高タイム1,100点
SEC-1位	杉浦伊豆美	チーム1	11,200点
ON-1位	小峯宏一	サイクロン	1,100点

第8回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

55年12月6日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催された。

Cコース 1周600m3周

クラス	選手名	チーム	記録
OSP-1位	星 準之助	ヤマトクラブ	800点

Bコース 1周1500m3周

OSB-1位	小林勝利	ZEROレーシング	700点
OB-1位	大村正法	ZEROレーシング	800点
SB-1位	秋元敏男	武蔵モーターボート	800点
SC-1位	鷺尾 章	大和レーシング	625点

A1・2コース1周12,500m1時間耐久レース

SD-1位	長崎光夫	東京パワーボート	1時間08分43秒
SER-1位	長谷川信一	横浜レーシング	1時間07分43秒
SEC-1位	杉浦伊豆美	チーム1	1時間01分08秒
ON-1位	小峯 宏	サイクロン	1時間00分49秒
S5-1位	小林豊彦	湘南マリン	1時間03分32秒
R5-1位	横関幸弘	高松レーシング	1時間
S6-1位	吉田清治	岐阜マリン	1時間04分37秒
R7-1位	千田桂一郎	内海パワー	1時間
ROO-1位	鷺尾 貢	大和レーシング	1時間00分14秒 (グリーンカップ受賞)

水上スキー

第25回全日本学生水上スキー選手権大会

55年8月19~20日 山梨県河口湖で1部慶応、立教、学習院、日大、国学院、武蔵工大、2部明治学院、法政、武蔵、早稲田、準加盟東北学院大、相模工大が参加して開催され1部男子は7,414.7点で慶応大学、男子2部は6,616.2点女子2,801点で共に法政大学が総合優勝した。

第26回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

55年8月21~22日 山梨県河口湖で開催され男子は2,734.7点で山梨の鳥海英隆選手が、女子は2,682点で滋賀の北島栄子選手が総合優勝した。なお、立教大学の里見靖(19.5点)東京アクアベレーの根岸勉選手(16.5点)が男子スラロームで、小佐野富美選手(10点)が女子スラロームでそれぞれ日本新記録を樹立した。

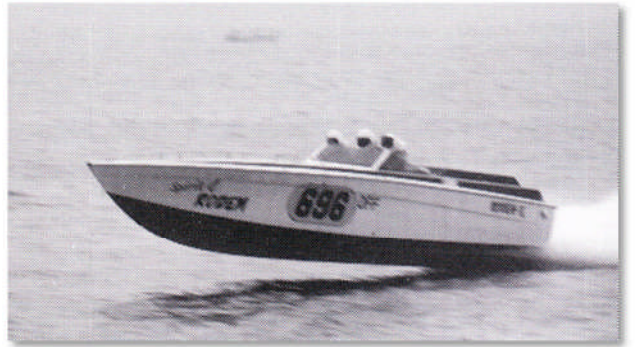
1981(昭和56)年度

モーターボート

第14回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

56年7月18日 静岡県熱海市で開催された。

今大会から、A コース2時間(1周20km)、B コース 1時間(1周4km)の耐久レース方式が採用された。また、新たにC コース、OSB(ストック・レーシング・アウトボード)クラスが設けられた。



Cコース 1周1km4周(4km)

クラス	選手名	チーム	記録
OSB-1位	清水幸和	衣浦レーシング	700点

B2コース 1周4km5周(20km)

SC-1位	鷺尾 章	大和レーシング	20分38秒
-------	------	---------	--------

B1コース 1周4km(1時間耐久レース)

ON-1位	高橋正美	壇ノ浦	1時間02分52秒
-------	------	-----	-----------

Aコース 1周20km(2時間耐久レース)

OFF-1位	島見勝・薄井一美・佐野武司	ローデムレーシング	2時間00分50秒
--------	---------------	-----------	-----------

第2回小豆島オリーブカップモーターボートレース

56年10月4日 香川県小豆島坂手湾で51隻が参加して開催された。

Cコース(1周1km3周)

OSP-1位	高橋 明	愛媛レーシング	3分44秒 (Cコース最高タイム)
OB-1位	大村正法	ZEROレーシング	6分50秒60
SB-1位	小林勝利	ZEROレーシング	記録不詳
SC-1位	米村伸一	大和レーシング	記録不詳



B1コース(1周4km20周)

ON-1位	氏家憲治	チーム1	1時間01分39秒3 (B1コース最高タイム)
-------	------	------	----------------------------

Aコース(1周10km20周)

クラス	選手名	チーム	記録
S6-1位	松江 孝司・政井 久	内海パワーボート	14周
R6-1位	国本 幸彦・国本和彦	リキレーシング	18周
ROO-1位	吉川勝人・竹内淳・大堀治男	東海マリン	2時間10分14秒 19周
OFF-1位	三原利彦・東尾裕之・ 中地淳一	関西阪奈会 レーシングチーム	2時間08分57秒 19周 (Aコース最高タイム)

第6回利根川サーキットレース

56年10月18日 茨城県常陸利根川で開催され71隻が参加した。

OSP級600m3周

クラス	選手名	チーム	記録
OSP-1位	大沢康雄	利根クラブ	1,200点

OSB・SC級1,500m3周

OSB(H)-1位	坂本茂淳	ヤマトクラブ	1,000点
OSB(R)-1位	稲田孝行	フュジュティプレーシング	1,200点
SC-1位	川島徹也	ファントムレーシング	1,200点

OB・SE・SN・ON級1,500m5周

OB-1位	榊原醇	衣浦クラブ	1,025点
SER-1位	小西昭典	フュジュティプレーシング	1,100点
SEC-1位	杉浦伊豆美	チーム1	1,100点
SN-1位	鈴木勝利	チーム1	1,200点
ON-1位	小峯宏一	チーム1	800点

水上スキー

第26回全日本学生水上スキー選手権大会

56年8月21~23日 長野県野尻湖で1部立教、慶応、明治学院、日大、法政、武蔵工大、国学院、学習院、2部明治学院、武蔵工大、武蔵、相模工大、早稲田、オープン参加福岡大、愛知学院大が参加して開催され、1部校は2,382点で立教大学、2部は2,566点で明治学院大学、女子は1,853点で立教大学がそれぞれ総合優勝した。

第27回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

56年8月29~30日 長野県野尻湖で開催され、男子は2,714点で根岸勉選手、女子は2,618点で柏木裕子選手が総合優勝した。

1982(昭和57)年度

モーターボート

第1回アマチュアモーターボートレース平和島グランプリ

57年4月29日 東京平和島競艇場で開催された。

1周600m 3周1,800m 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
O S P - 1 位	信江 格	岡山モーターボートクラブ	1,100点
OSBランナー-1位	稲田孝行	フュジュティブレーシング	1,200点
OSBハイドロ-1位	小林勝利	ZEROレーシング	1,200点
選 抜 戦 - 1 位	稲田博幸	ワールドレーシング	
特別選抜戦-1位	横山やすし	横山レーシング	
優 勝 戦 - 1 位	佐藤量博	情報クラブ	

第10回三河湾エメラルドカップモーターボートレース

57年5月30日 愛知県蒲郡市西浦町で開催された。

Aコース(60分耐久)

O Z - 1 位	横山やすし・茂曾路旭	横山・宮島レーシング	1時間00分26秒
R 6 - 1 位	横関幸弘・岡三四郎	高松レーシングクラブ	
ROO-1位	吉川勝人・天木敏晴・ 寺山幸弘	東海マリン	

Aコース最高タイム

O F F	三原利彦・中地淳一・ 宮田麻紀子	関西阪奈会	1時間00分06秒
-------	---------------------	-------	-----------

Bコース(40分耐久)

最高タイム ON 杉浦伊豆美 40分17秒

C1コース

クラス	選手名	チーム	クラス	選手名	チーム
ON-1位	杉浦伊豆美	チーム1	OSC-1位	銭谷 潤	東京パワーボート
SN-1位	鈴木勝利	チーム1	SC-1位	鷺尾 章	大和レーシング
SE-1位	長谷川信一	エビンルードオブ ジャパン	OSB-1位	大村篤雄	ZEROレーシング
SD-1位	大和久多久郎	フュジュティブ レーシング	C2コース		
			OSP-1位	横山やすし	横山レーシング

第2回アマチュアモーターボートレース OSPオールスター選手権大会

57年6月13日 愛知県 常滑競艇場で行われた。

クラス	選手名	チーム
1位	山本繁夫	利根モーターボートクラブ
選抜戦 1位	三原徳寿	横山レーシング (1,100点)
特別選抜戦 1位	横山やすし	横山レーシング
優勝戦 1位	萩原堅一	萩原レーシング

第15回熱海オーシャンカップモーターボートレース

57年7月31日 静岡県熱海市において、参加艇77隻で開催された。

1周1.6km を3周するC コースレースでは、OSB クラスはレーシング80 の高橋常一選手、SC クラスサンダーバードレーシングの川島徹也選手、SD クラスのフュジュティブレーシング大和久多久郎選手の各選手がそれぞれ1 位。

B コースの1周4kmで行われた1時間耐久レースでは、SEクラスがフュジュティブレーシングの小西昭典選手、SN クラスは横浜レーシングの立川駿一、渡辺邦男選手、ON クラスではチーム1の氏家憲治選手の各選手が1 位。

熱海～初島沖1周20km2時間耐久レースのAコースでは、R5 クラスがハリヤーVでコバラレーシングの小原一彦、小原久義選手、S6 クラスがVランナーでホープマリンの原田亮、小原信一選手、R6 クラスではアルバトロスでカワイレーシングの河合誠選手、ROO クラスがビクトリー28 で東海マリンの吉川勝人、寺山幸弘選手、OFF クラスではパートラム38 で関西阪奈会の三原利彦、中地淳一の各選手がそれぞれ1 位となった。

Cコース1周1.6km3周(4.8km)

OSB-1位	高橋常一	レーシング80
SC-1位	川島徹也	サンダーバードレーシング
SD-1位	大和久多久郎	フュジュティブレーシング

Bコース1周4km(1時間耐久レース)

SE-1位	小西昭典	フュジュティブレーシング	1時間02分14秒
SN-1位	立川駿一、渡辺邦男	横浜レーシング	1時間03分48秒
ON-1位	氏家憲治	チーム1	1時間01分06秒

Aコース1周20km(2時間耐久レース)

S6-1位	原田 亮、小原信一	ホープマリン	2時間02分07秒
R6-1位	河合 誠・肆谷 章	カワイレーシング	2時間01分10秒
ROO-1位	吉川勝人・寺山幸弘	東海マリン	2時間08分03秒

OFF-1位	三原利彦、中地淳一	関西阪奈会	2時間03分20秒
--------	-----------	-------	-----------

第7回利根川マラソン・サーキットモーターボートレース

57年10月24日茨城県常陸利根川に50隻が参加。

OSP1周600m3周 (1,800m)

クラス	選手名	チーム	記録
OSP 1位	横山やすし	横山レーシング	1,200点

OSB級1周1,500m3周 (4,500m)

OSB(R)1位	高橋常一	レーシング80	900点
OSB(H)1位	小林勝利	ZEROレーシング	1,200点

OB級1周1,500m5周 (7,500m)

OB 1位	小西昭典	フュジュティブレーシング	1,000点
OSB(R)1位	矢須親二	東京パワーボート	1時間00分43秒
SC 1位	川島徹也	サンダーバード	1時間01分43秒
SD 1位	小林英雄	スパイラル	1時間02分40秒
SE 1位	長谷川信一	エビンルード	1時間02分37秒
SN 1位	立川駿一	横浜レーシング	1時間01分24秒
ON 1位	杉浦伊豆美	チーム1	1時間01分39秒

アマチュアモーターボートレース

第1回全日本OSP選手権大会

57年11月28日 徳島県鳴門競艇場で開催、地区戦は1,400点で関東の山口義行選手が優勝。選抜戦は関東の飯田秀雄選手、特選抜戦で関東の福田善之選手、優勝戦は関東の山口義行選手がそれぞれ1位。

第10回声ノ湖グリーンカップモーターボートレース

57年12月4日 神奈川県箱根芦ノ湖で行われた。

Cコース600m3周

OSP 1位	横山やすし	横山レーシング	800点
--------	-------	---------	------

Bコース1.6km3周

OSB(H)1位	小林勝利	ZEROレーシング	800点
OSB(R) 1位	稲田孝行	フュジュティブレーシング	800点
OB 1位	榊原 醇	碧南モーターボートレーシング	700点
SC 1位	川島徹也	サンダーバード	800点

S D 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	700点
--------	------	---------	------

Aコース1周12.5km(1時間耐久)

クラス	選手名	チーム	記録
SE(R) 1位	渡辺 修	岩橋レーシング	1時間04分09秒
SN(C) 1位	渡辺邦男	横浜レーシング	1時間04分25秒
SN(R) 1位	山田和己	フェニックスレーシング	1時間04分59秒
O N 1位	森田保雄	サイクロンクラブ	1時間00分14秒
O Z 1位	森田定信、寺田信行	ベルマンオーシャン	1時間00分54秒
S 5 1位	立川駿一、宮村俊一	横浜レーシング ・湘南マリクラブ	1時間02分44秒
R 5 1位	小原一彦、小原久義	コバラレーシング	1時間04分34秒
S 6 1位	松阪孝志、森田繁	岩橋レーシング	1時間07分23秒
R 6 1位	小林豊彦、田中耕治	チームエビンロード・湘南マリン	1時間02分00秒
ROO 1位	松浦宏、花島 功	スパイラルレーシング ・チームパイレーツ	1時間03分43秒

水上スキー

第27回全日本学生水上スキー選手権大会

57年8月20~22日 東京平和島競艇場で行われた。

総合優勝は1部男子6,347点で立教大学、2部男子は6,861点で学習院大学、女子は2,806点で明治学院大学。

第28回国会日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

57年8月28~29日 静岡県三ヶ日猪鼻湖で行われた。

総合男子は1位2,586点で埴健司選手、女子は2,568点で小佐野富美選手。

1983(昭和58)年度

モーターボート

第1回全日本OSP選手権選抜シリーズ アマチュアモーターボートレース桐生グランプリ

58年4月29日 群馬県桐生競艇場で開催、関東の槻岡秀雄選手が1,200点で優勝。

第1回全日本OSP選手権シリーズ児島グランプリ

58年6月19日 岡山県児島競艇場で開催、1,200点で山口義行選手が優勝。

アマチュアモーターボートレース第2回平和島グランプリ

58年7月17日 東京平和島競艇場で開催、1,558点で佐藤郁雄選手が優勝。

第16回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

58年7月23日 静岡県熱海市で、国内各地から53隻が参加して開催された。

Cコース1.6km 3周

OS4001位	大村正法	ZEROレーシング
S C 1位	川島徹也	サンダーバードレーシング



Bコース1周4km(1時間耐久)

S D 1位	小林英雄	スパイラル	1時間04分09秒
S E 1位	小西昭典	フュジュティブレーシング	1時間02分24秒
S N 1位	稲垣国三郎	カワイレーシング	1時間03分04秒
O N 1位	氏家憲治	チーム1	1時間02分49秒

Aコース1周15km(2時間耐久)

O Z 1位	村井雅彦、鈴木敏元	フリーダム・カワイR	2時間
S 6 1位	剣持実、竹山博	横須賀モーターボートクラブ	2時間04分29秒
R 6 1位	竹内俊郎、浜村裕幸	フリーダムレーシング	2時間08分57秒
ROO 1位	小原一彦、小原久義	コバラレーシング	2時間05分53秒
OFF 1位	三原利彦、中地淳一、戸谷秀樹	関西阪奈会	2時間03分53秒

第3回小豆島オーリーブカップモーターボートレース

58年10月2日 香川県小豆島坂手湾に67隻が参加し、東海マリンの吉川選手がオーリーブカップ2連覇を成し遂げた。

Cコース600m3周

OSP 1位	稲川広一	萩原レーシング
--------	------	---------

Bコース1周1,600m3周

OS4001位	大村正法	ZEROレーシング
---------	------	-----------

Bコース1周4km(1時間耐久)

ON 1位	小峯宏一	サイクロン	1時間02分11秒
SN 1位	鈴木勝利	チーム1	1時間02分07秒
SE 1位	杉浦伊豆美	チーム1	1時間01分16秒

Aコース1周10km(1時間30分耐久)

SE 1位	山本慎二、小郷原伸明	高松レーシング	1時間31分44秒
OFF 1位	吉川勝人、吉川修一、北原秀一	東海マリン	1時間32分26秒
ROO1位	河合誠、肆谷 章	河合レーシング	1時間34分43秒
R6 1位	高橋正美、高橋正雄	岡山ブルーマリン	1時間31分49秒
S6 1位	梶野康夫、宮脇宗一郎	高田レーシング	1時間29分32秒
OZ 1位	横山やすし、茂曾路旭	横山・宮島レーシング	1時間32分43秒

全日本アウトボード選手権

第8回利根川サーキットモーターボートレース

58年10月16日 茨城県常陸利根川で開催。

OS400(R)1位	稲田孝行	フュジュティブ	1,200点
SC 1位	川島徹也	サンダーバード	1,200点
OS400(R)1位	橋本 勲	ボースン	1,100点
OB 1位	橋本一均	ヤマト	1,000点
SD 1位	小林秀雄	スパイラル	1,200点
SE(R) 1位	秋元敏男	武蔵モーターボート	1,200点
SE(C) 1位	杉浦伊豆美	チーム1	1,200点
SN 1位	鈴木勝利	チーム1	1,200点
ON 1位	小峯宏一	チーム1	1,200点

第1回全日本選抜水上スキージャンプ選手権

58年7月16日 東京平和島競艇場で開催、36.2mで根岸勉選手が優勝。

第29回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

58年8月19~21日 山梨県山中湖で第5回ジャパントーナメントをかねて行われ、男子は2,562点で山崎良一選手、女子は3,000点で小佐野富美選手が優勝した。

第28回全日本学生水上スキー選手権大会

58年9月4~6日 東京府中市多摩川競艇場で1部慶応、立教、法政、学習院、武蔵、日大、2部明治学院、武蔵工大、国学院、相模工大、早稲田、オープン参加愛知学院大、福岡大が参加して行われ、1部男子は、2,567点で慶応大学、男子2部は、2,858点で明治学院大学、女子は、1,633点で立教大学が優勝した。

1984(昭和59)年度

モーターボート

第3回OSP合同レース

59年4月8日 群馬県利根川大堰で開催、熊谷レーシングの福田喜文選手が1,000点で優勝。

第3回九州地区アマチュアモーターボート競技会

59年4月15日 福岡県芦屋競艇場でOSP大会を開催、北九州MBCの笹野俊夫選手が1,100点で優勝。

第2回全日本OSP選手権選抜シリーズ蒲郡グランプリ

59年5月13日 愛知県蒲郡競艇場で開催、大阪の横山やすし選手が1,200点で1位、優勝戦は関東の大久保正雄選手が優勝。

第1回国際グランプリ鹿島スピードモーターボートレース

59年5月20日 茨城県常陸利根川MGマリン鹿島マリーナで開催、OB 1位は1,200点で大村正法選手、OS400 HP1位は925点倪恵分選手(中国)、OS400R1位は1,200点で稲田孝行選手。



第11回三河湾エメラルドカップレース

59年5月27日 愛知県蒲郡市西浦で79隻が参加。
Cコース

OSP 1位	浜田 定	東海マリンクラブ	8周
OS4801位	大村篤雄	ZEROレーシング	12周

Aコース

SE 1位	和田正武	浜松パワーボート	7~5周
ON 1位	稲垣国三郎	カワイレーシング	9~8周
S6 1位	荒木 博	岡山BMRC	8~6周
SZ 1位	坂野 勉	フェニックス	7~6周
OZ 1位	横山やすし、茂曾路旭	横山・宮島レーシング	10周
ROO 1位	河合 誠	カワイレーシング	11~9周
OFF 1位	吉川勝人	東海マリンクラブ	12~11周
R6 1位	森田邦典	名古屋レーシング	10~9周

第1回西日本OSP選手権競走

59年6月10日 福岡県北九州市若松競艇場で開催、北九州MBCの門司辰生選手が1,200点で優勝。

第3回アマチュアモーターボートレース

OSPオールスター選手権大会

59年6月17日 愛知県常滑競艇場で開催、佐藤郁雄選手が1,100点で優勝。

第2回全日本OSP選手権選抜シリーズ尼崎グランプリ

59年7月8日 兵庫県尼崎競艇場で開催、大阪の横山やすし選手が1,200点で優勝。

第17回熱海オーシャンカップモーターボートレース

昭和59年7月28日(日)静岡県熱海市で65隻が参加して開催。

本年は、熱海の港湾工事でコース変更が余儀なくされ、観客にはレースが見にくいことが残念で、しかもあいにくの悪天候も重なり雨と高波のなかでの最悪のレースとなった。9時40分、C コース第1 ヒートが始まったがOS400 クラスの小型艇は高波に翻弄され連続ジャンプで転覆するなど悪コンディション下のレースとなった、そのためか第2 ヒートでは、全艇が第2 マーク不通過という前代未聞の珍事が発生した。B コースではパワーのあるON 艇が総合優勝。A コースではチーム1 のシガレット28SS8.50m を操縦する杉浦伊豆美・氏家憲治・中島修の3選手が堅実な航走を見せて優勝を勝ち取った。1. 6km3周C コースは、OS400 クラスの戸田モーターボートクラブ上野和彦、SC クラスのサンターバードレーシング川島徹也の各選手が1位。総合では戸田モーターボートクラブの上野選手が優勝した。



1周4km1時間耐久B コースは、SDクラスのスパイラルレーシングの小林英雄、SE クラスの浜松パワーボートの和田正武、SN クラスのチーム1の鈴木勝利、ONクラスは横浜レーシングの下里博文の各選手が1位。総合では横浜レーシングの下里選手が優勝。

1周13km2時間耐久レースA コースは、S5クラスは湘南マリン・マーチレーシングの宮村俊秀・石川弘卓、R5クラスはシブヤレーシング・関西阪奈会・ヤマトの渋谷正義・小西量彦・笹川和弘、S6クラスは高田レーシングチームの梶野康夫・柳三郎、R6 クラスは倉敷パワーボートの広永春吉・田中克彦、ROOクラスはチーム1 の中島修・杉浦伊豆美・氏家憲治、OFFクラスは東海マリンの吉川勝人・吉川修一・北原秀一の各選手が1位であった。総合ではチーム1 の中島修・杉浦伊豆美・氏家憲治選手組が優勝。

Cコース1周2km3周

総合優勝OS400	上野和彦	戸田モーターボートクラブ
-----------	------	--------------

Bコース1周4km(1時間耐久)

総合優勝ON	下里博文	横浜RC	1時間01分06秒
--------	------	------	-----------

Aコース1周13km(2時間耐久)

総合優勝ROO	中島修、杉浦伊豆美、氏家憲二	チーム1	2時間00分26秒
---------	----------------	------	-----------

第1回大漁苑杯争奪戦アマチュアモーターボートレース

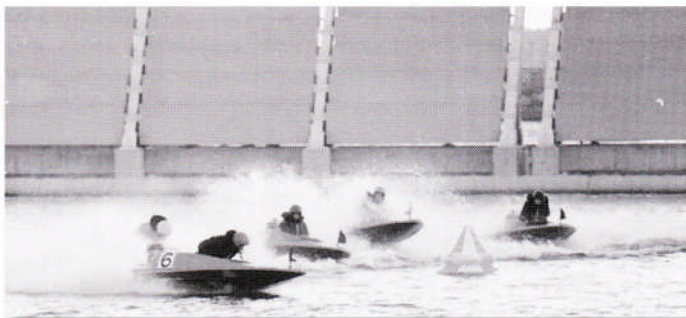
59年8月5日 群馬県千代田町利根大堰でOSP(H)1周600m、3周(1,800m)レースを開催、利根クラブの鶴田辰夫選手が1,200点で優勝。

第1回四国地区OSP選手権競走

59年8月12日 香川県丸亀競艇場でOSP1周600m、3周(1,800m)レースを開催、丸亀レーシングの高島俊文選手が925点で優勝。

第2回四国地区OSP選手権競走

59年9月30日 香川県丸亀競艇場で開催、丸亀モーターボートクラブの石原国夫選手が1,200点で優勝。

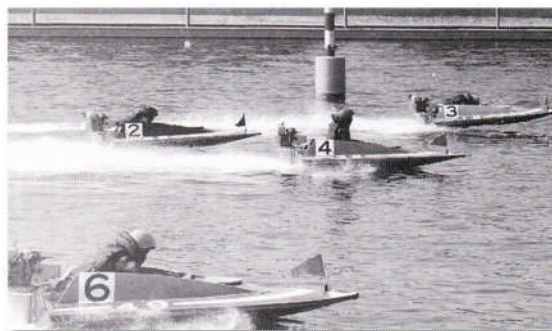


第2回西日本OSP選手権

59年10月7日 福岡県福岡競艇場で開催、福岡レーシングの天野博美選手が1,100点で優勝。

第2回全日本OSP選手権選抜シリーズ 平和島グランプリ

59年10月21日 東京平和島競艇場で開催、中村正昭選手が1,100点で優勝。



第9回全日本アウトボード選手権大会

59年10月28日 茨城県常陸利根川MGマリーナで開催、レースは、1周1,500mの2点マークをOS400(R)は3周、他は5周でレースを行った。

クラス	選手名	チーム	記録	O B	橋本一均	ヤマトクラブ	1,100点
OS400(R)	小林勝利	ZEROレーシング	1,200点	SER	長谷川信一	チームエビンルード	1,200点
S D	小林英雄	スパイラル	1,200点	SEC	杉浦伊豆美	チーム1	1,200点
OS400(H)	小林勝利	ZEROレーシング	1,100点	S Z	蒲田 作	カマタレーシング	800点



第2回全日本OSP選手権大会

59年11月25日 香川県丸亀競艇場で600m3周3ヒートレースを開催、大阪の横山やすし選手が1,100点で優勝。

第12回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

12月8日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催、A コース優勝は高橋政治、立川駿一選手組(マーチレーシング)、Bコースは大村選手(ZERO レーシング)が優勝した。

Bコース1周1.6km3周

OS400(R)1位	清水幸和	835点	OS400(H)1位	横山やすし	1, 100点
S C 1位	松島 進	1, 200点	O B 1位	大村正法	1, 200点

Aコース1周15km1時間耐久レース

S D 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1時間08分38秒
SE(R) 1位	近藤正利	天竜レーシング	1時間02分45秒
SE(C) 1位	和田正武	浜松パワーボート	1時間01分30秒
S N 1位	鈴木勝利	チーム1	1時間06分45秒
O N 1位	稲垣国三郎	カワイレーシング	1時間02分09秒
O Z 1位	小峯 宏	チーム1	1時間02分44秒
S 6 1位	寺沢康裕、小坂井智	名古屋レーシング	1時間04分19秒
R 6 1位	吉川修、寺田秀一	東海マリーン	1時間00分10秒
ROO 1位	高橋政治、立川駿一	マーチレーシング	1時間04分53秒

水上スキー

第29回全日本学生水上スキー選手権大会

59年8月30~9月1日 茨城県常陸利根川で開催、男子は、1部慶応大学、2部は武蔵工業大学、女子は、法政大学が優勝した。

第30回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

59年9月2日 茨城県常陸利根川で開催、男子は、明治学院大学の田中洋介選手、女子は、小佐野富美選手が優勝した。

全日本選抜水上スキージャンプ選手権大会

59年10月21日 東京平和島競艇場で開催、埴健司選手が34.7mを飛び優勝した。

1985(昭和60)年度

モーターボート

第4回OSPクラブ合同レース

60年4月7日 群馬県利根大堰で600m3周4ヒートレースを開催、利根クラブの深町恒行選手が1,425点で優勝。

第25回クラブ合同レース

60年4月21日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

各クラス1位

OS400H1500m3周	横山やすし	1,200点	SB1500m 3周	美野田晃	1,200点
OS400ST1500m3周	金子正利	1,200点	OS400R1500m3周	内田恵治	1,100点
SD1500m 5周	小林英雄	1,200点	OB1500m 5周	畔柳鋼治	1,200点

第3回西日本OSP選手権

60年4月21日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、岡山モーターボートクラブの吉田雅郎選手が1,025点で優勝。

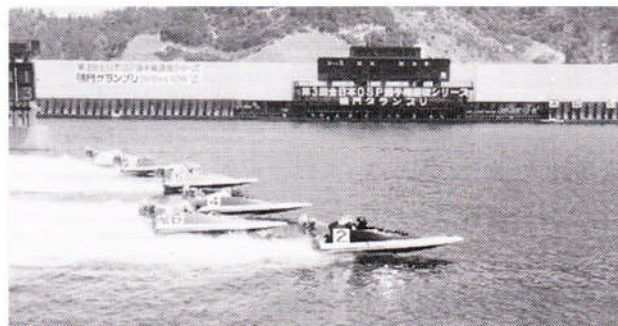
'85第1回鹿島サーキットレース

60年5月12日 茨城県常陸利根川で開催。

OS400(R) 1位	笹本 勇	869点	SER 1位	長谷川信一	1,200点
OS400(STD) 1位	下里和美	1,100点	SEC 1位	氏家憲治	1,200点
SB 1位	美野田晃	1,200点	SN 1位	鈴木裕一、 小峯宏、林和男	1,200点
OB 1位	大村正法	1,200点			
SD 1位	岩橋昉雄	1,200点	ON 1位	小峯宏一	1,200点

第3回全日本OSP選手権選抜シリーズ 鳴門グランプリ

60年5月12日 徳島県鳴門競艇場で開催、岡山レーシングの掛谷政夫選手が1,100点で優勝。



第1回豊田マリンクラブワールドオープン 全日本スーパーボートフェスティバル

60年5月26日 愛知県美浜町富貝崎港沖で開催。

Bコース

クラス	選手名	チーム
SE 1位	和田正武	浜松パワーボートクラブ
SN 1位	鈴木勝利	チーム1
ON 1位	稲垣国三郎	カワイレーシング

Aコース

SN 1位	山本慎二、山本 稔	高松レーシング
OZ 1位	森田定卓、寺田信行	ベルマンオーシャンクラブ
S5 1位	河原寿実男、大谷政治	宮島レーシング
R5 1位	小西量彦、酒井奎吾	KEマリン・ラットパトロール
S6 1位	寺沢康裕、飛鳥井章一	名古屋レーシング
R6 1位	雄 博裕、高砂義美	宮島レーシング
SOO 1位	後藤義一、笠井敬雄	ベルマンオーシャンクラブ
ROO 1位	河合 誠、肆矢 章	カワイレーシング
OFF 1位	小嶋松久、原 和弘	TOYOTAレーシングチーム

'850SP東海選手権シリーズ

60年6月9日 愛知県碧南市矢作川で600m3周3ヒートレースを開催、大阪の横山やすし選手が1,100点で優勝。

第4回九州地区OSP選手権大会

60年6月16日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、北九州の池田年穂選手が925点で優勝。

'85第1回河口湖ウエーブモーターボートレース

60年6月30日 山梨県河口湖で開催、最高タイム賞はOクラスは斉藤仁一選手(ボースン)、Sクラスは近藤政利選手(天竜レーシング)が受賞。

クラス	選手名	チーム	記録
OSP 1位	岸川雄介	戸田モーターボートクラブ	800点
OS400(H) 1位	横山やすし	横山レーシング	800点
OS400STD(H)1位	荒井 高	ヤマトクラブ	400点

O B 1位	畔柳鋼治	碧南モーターボートレーシング	525点
OS400(R) 1位	大村篤雄	ZEROレーシング	600点
OS400STD(R)1位	永島康夫	横浜レーシング	700点
SC(C) 1位	関水千晴	カンムリワシレーシング	400点
SC(R) 1位	小鷹卓郎	ZEROレーシング	800点
S D 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	700点
SE(R) 1位	近藤政利	天竜レーシング	800点
SE(C) 1位	和田正武	浜松パワーボート	800点
S N 1位	高橋政治	マーチレーシング	800点
O N 1位	小峯宏一	チーム1	800点
O最高タイム賞	斉藤仁一	ボースン	5分22秒20
S最高タイム賞	近藤政利	天竜レーシング	6分18秒89

第2回大漁苑杯争奪戦アマチュアモーターボートレース

60年7月7日 群馬県千代田町利根大堰でOSPクラス600m3周3ヒートレースを開催、利根クラブの榎岡秀夫行選手が869点で優勝。

'85第2回鹿島サーキットレース

60年7月14日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
OA/OB 1位	斉藤仁一	ボースン	1,000点
OS400(H) 1位	横山やすし	横山レーシング	1,200点
OS400STD(H)1位	荒井 高	ヤマトクラブ	1,200点
OS400(Z) 1位	広瀬卓二	MG	1,200点
OS400(Z)STD 1位	南 詳久	横浜レーシング	1,200点
SD 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,200点
SE 1位	秋元敏男	武蔵レーシング	1,200点

60年度岡山県OSP選手権競走

60年7月21日 岡山県児島競艇場で600m3周6ヒートレースを開催、岡南モーターボートクラブの呉島武則選手が1,938点で優勝。

第18回熱海オーシャンカップモーターボートレース

60年7月27日 静岡県熱海市で72隻が参加して開催。

今年も熱海港の改修工事が行われており、しかも南の海上の台風の影響でうねりが防波堤を洗う状況の中でのレースとなった。C コースには横山やすし、具志堅用高等話題のある著名な選手が出場した。

A コースにはチーム1のシガレット、リキレーシングのシグマ、コバラレーシングのシグマ等がエントリーしている。A コースでは折からの悪天候高波のためか、スタート20 分後早くもリタイヤ続出、ヨシヤレーシングのビクトリーキャットがチーム1のシガレットの猛追をかわしAコース最高タイムで運輸大臣旗を獲得した。

1周1.5km3周C コースは、OS400 横山レーシングの横山やすし、SC クラスで東海マリンクラブの早川俊晴、STC クラスはチームエビンロードの長谷川信一の各選手がそれぞれ1 位。総合優勝は横山やすし選手が獲得した。

1周4km1時間耐久レースB コースは、SD クラスがスパイラルレーシング小林英雄、SE クラスはチームエビンロードの長谷川信一、SN クラスはチーム1 の鈴木裕一、ON クラスは横浜レーシングの下里和美・持田秀夫の各選手が1位。総合優勝は横浜レーシングの下里和美・持田秀夫の両選手だった。

1周15km2時間耐久レースA コースは、OZ クラスのヨシヤレーシングの吉川修一・寺山幸弘、S5 クラスはマーチレーシングの宮村俊秀・高橋政治、S6 クラスはホープマリン・スパイラルレーシングの原田亮・水口勝弘、R6 クラスは岡山ブルーマリンの広永春吉・田中克美、ROO クラスではチーム1の杉浦伊豆美・氏家憲治・茂木和之、OFF クラスはヨシヤレーシングの吉川勝人・佐野武司 小林正和の各選手が1 位。総合優勝はヨシヤレーシングの吉川勝人・佐野武司・小林正和選手組であった。

Aコース1周15km(2時間耐久)総合優勝

O Z	吉川修一、寺山幸弘	YOSIYAレーシング	2時間03分16秒
-----	-----------	-------------	-----------

Bコース1周4km(1時間耐久)総合優勝

O N	下里和美、持田秀夫	横浜レーシング	1時間02分02秒
-----	-----------	---------	-----------

Cコース1周1.5km3周 総合優勝

OS400	横山やすし	横山レーシング
-------	-------	---------

OA・OB級ヤマト杯レース

60年8月4日 茨城県鹿島神栖町横瀬で開催、OA級は1,200点でヤマトクラブの橋本一均選手、OB級は1,000点でかんむりわしレーシングの小西昭典選手が優勝。

第3回全日本OSP選手権選抜シリーズ

第4回平和島グランプリ

60年8月11日 東京平和島競艇場で600m3周3ヒートレースを開催、知多レーシングの磯貝勝秀選手が1,200点で1位、優勝戦は横山レーシングの横山やすし選手が優勝。

第3回四国地区OSP選手権競走

60年8月24日 香川県丸亀競艇場で開催、吉野川クラブの大森政晴選手が1,100点で優勝。

'85第4回アマチュアボートOSPオールスター選手権大会

60年8月25日 愛知県常滑競艇場で600m3周3ヒートレースを開催、大阪の横山やすし選手が1,100点で優勝。

第3回全日本OSP選手権選抜シリーズ津グランプリ

60年9月22日 三重県津競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が1分54秒0で優勝。

第4回四国地区OSP選手権競走

60年9月26日 香川県丸亀競艇場で開催、吉野川クラブの福永径選手が1,000点で優勝。

第3国会日本OSP選手権

60年9月27日 兵庫県尼崎競艇場で開催、岡南モーターボートクラブの信江格選手が優勝。

第23国東京都モーターボート選手権

60年9月29日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
OS400(R) 1位	広瀬卓二	MGマリン	1,100点
OS400STD(H)1位	南 祥久	横浜レーシング	1,200点
S D 1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
SE(R) 1位	長谷川信一	チームエビンルード	1,200点
S N 1位	高橋政治	マーチレーシング	1,200点
OS400STDH 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,200点
OS400(H) 1位	須賀良男	カマタレーシング	1,100点
O B 1位	辻 義明	シブヤスピード	800点

'85東京都モーターボートOSP選手権

60年9月29日 群馬県利根大堰で開催、利根クラブの山本茂夫選手が優勝。

九州地区OSPグランプリ

60年9月29日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、北九州モーターボートクラブの門司辰生選手が1分55秒0で優勝。

第10回全日本アウトボード選手権大会

60年10月20日 茨城県常陸利根川で45隻が参加、OBクラス(1周1,500m5周)1位は、1,025点で花島功選手のカマタレーシング、ワンデザインのSTC(1周1,000m3周)の1位は、700点で宮地誠選手のスパイラルクラブ。

1周1,500m5周レース

S D	1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
S E	1位	長谷川信一	エビンロード	1,200点
ON(R)	1位	林 和男	チーム1	400点
OS400(H)	1位	横山やすし	横山レーシング	800点
OS400STD(H)	1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	800点

1周1,500m3周

OS400(R)	1位	大村篤雄	ZEROレーシング	850点
OS400STD	1位	小林英雄	スパイラル	1,100点

第13回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

60年12月7日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催、52隻が参加、Aコースは吉川、早川選手組(YOSIYAレーシング)が優勝、Bコースは和田選手(浜松パワーボート)が最高タイムで優勝。

Cコース1周1,600m3周

ワンデザインSTC	1位	金木ルミ子	芦ノ湖クラブ	1,200点
O B	1位	榊原 醇	碧南レーシング	1,100点
OS400(R)	1位	大村篤雄	ヤマトクラブ	1,200点
OS400(R)STD	1位	南 詳久	横浜レーシング	1,200点
OS400(H)	1位	塚本幸男	MGマリン	1,200点
OS400(H) STD	1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	800点

Aコース芦ノ湖元箱根~湖尻(1時間耐久)

SN(R)	1位	清水 巖	湘南マリン	5周
SNカタマラン	1位	梶野康夫	高田レーシング	6周
O N	1位	中島誠人、堤敏彦	芦ノ湖クラブ	5周
O Z	1位	吉川修一、早川敏晴	YOSIYA レーシング	-
S 5	1位	宮村俊秀、石川弘卓	芦ノ湖クラブ	5周
R 6	1位	高橋政治、馬場範枝	芦ノ湖クラブ	7周
ROO	1位	北条茂、湧井公一、小西量彦	アラサキ・KEレーシング	8周

Bコース1周5km10周

S D	1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	42分23秒
SE(R)	1位	近藤勝利	天竜レーシング	40分14秒
SEカタマラン	1位	和田正武	浜松パワーボート	38分35秒

水上スキー

第30回全日本学生水上スキー選手権大会

60年8月16~18日 茨城県常陸利根川MGマリンで1部明治学院、法政、慶応、学習院、立教、武蔵工大、2部日大、早稲田、愛知学院大、相模工大、武蔵、国学院、福岡大が参加して開催、男子1部は6,776.19点で明治学院大学、2部は5,335.26点で日本大学、女子は309.21点で学習院大学が優勝。

第31回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

60年9月7~8日 静岡県浜名湖松見ヶ浦で開催、男子は2,202点で埴健司選手、女子は、3,000点で小佐野富美選手が優勝した。

1986(昭和61)年度

モーターボート

第5回OSPクラブ合同レース

61年4月6日 茨城県利根大堰で開催、利根モーターボートクラブの大沢康雄選手が優勝。

第26回クラブ合同レース

61年4月20日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
O B 1位	花島 功	カマタレーシング	1,200点
S N 1位	竹本 力	芦ノ湖レーシング	1,200点
S D 1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
S E 1位	秋元敏男	武蔵レーシング	1,200点
OS400(H) 1位	河田慎太郎	ヤマトクラブ	1,100点
OS400STD(H) 1位	岡田 泉	カマタレーシング	1,200点
OS400(R) 1位	広瀬卓二	MGマリン	1,200点
OS400STD(R) 1位	下里美也子	横浜レーシング	1,200点
ワンデザインSTC 1位	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	1,200点

第12回三河湾エメラルドカップレース

61年5月4日 愛知県美浜町富貝崎で開催。

O Z 1位	高橋政治、立川駿一	YOSIYAレーシング	2時間18分
S 6 1位	原田 亮、水口勝弘	ポープ	2時間3分03秒
R 6 1位	岩本 学、船迫俊一	名古屋レーシング	2時間2分03秒
SOO 1位	前追章弘、伊藤博幸	ASAHIレーシング	2時間1分04秒
ROO 1位	北条 茂、小林嘉章	横山・荒崎KE	2時間1分19秒
OFF 1位	河合、肆矢、稲垣	YOSIYAレーシング	2時間0分08秒



第1回鹿島サーキットレース

61年5月25日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

OS400(H) 1位	後藤 仁	1,025点	S D 1位	岩橋昉雄	1,200点
OS400(STD)1位	岡田 泉	1,200点	S T C 1位	金木ルミ子	1,200点
S E 1位	秋元俊男	1,200点	O B 1位	花鳥 功	1,025点
SEカタマラン1位	丸山清隆	1,200点	OS400(R) 1位	広瀬卓二	1,200点

第5回九州地区OSP選手権競走

61年6月15日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、岡山クラブの佐藤郁夫選手が1分54秒8で優勝。

'86OSP東海選手権シリーズ1

61年6月15日 愛知県碧南市矢作川で開催、若林成一選手が優勝。

'86第1回OSPサーキットレース

61年6月15日 茨城県利根大堰で開催、利根クラブの深町元則選手が優勝。

昭和61年度岡山県OSP選手権競走

61年7月2日 岡山県児島競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が優勝。

第6回九州地区OSP選手権競走

61年7月13日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、福岡モーターボートクラブの川口洋選手が1,100点で優勝。

カマタレーシング20周年記念モーターボートレース

61年7月13日 茨城県鹿島MGマリンで開催。

O B 1位	松長昭三	横浜レーシング	-
OS400(H) 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,200点
OA400STD(H)1位	岡田 泉	カマタレーシング	1,200点
OS400(R) 1位	下里美也子	横浜レーシング	1,200点
S T C 1位	榊原敏彦	芦ノ湖レーシング	1,600点
SE(R) 1位	秋元敏男	武蔵レーシング	1,200点
SD(R) 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,100点
SN(R) 1位	鈴木裕一	チーム1	1,200点

第19回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

61年8月2日 静岡県熱海市で71隻が参加して開催。

本大会の特徴は、A コースの大型艇に外人ドライバー2 名が参加したこと、世界的著名なマシンであるキーケフアーエアロマリン、マークルーザー474、マークルーザー500EF1 等が登場したことでA コース出場艇の国際化やマシンの水準が高まったこと、C コースには小型競技用ヤマト102型エンジンが多く登場し技術水準の高い国産機によるハイレベルのレースが定着したこと、女性や初心者ドライバーが乗れるSTC ワンデザインクラスが登場してモーターボートレースの大衆化の傾向が進んだことである。



Aコース最高タイム 運輸大臣旗

OFF 小林正和、デニーヘジャー、ボブ・アイトニー(YOSIYA)

Bコース最高タイム

O N 鈴木公雄、星野秀樹(横浜レーシング)

Cコース最高タイム

OS400(R) 横山やすし(横山レーシング)

第3回大漁苑杯レース

61年8月3日 群馬県利根大堰で開催、静正クラブの水野武昭選手が優勝。

第5回四国地区OSP選手権競走

61年8月4日 香川県丸亀競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が1,200点で優勝。

第6回四国地区OSP選手権競走

61年8月5日 香川県丸亀競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が1,200点で優勝。

'86第5回アマチュアボートOSPオールスター選手権大会

61年8月24日 愛知県常滑競艇場で開催、綾城茂選手が1,127点で優勝。

第2回鹿島サーキットレース

61年8月24日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬MGマリンで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
O B 1位	花島 功	カマタレーシング	1,100点
OS400(H)1位	具志堅用高	かんむりわしレーシング	750点
STD 1位	岡田 泉	カマタレーシング	1,200点
OS400(R)1位	永島康夫	横浜レーシング	1,200点
STD 1位	下里美也子	横浜レーシング	1,200点
ワンデザイン1位	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	1,200点
S E 1位	秋元敏男	武蔵レーシング	1,200点
S C 1位	杉浦伊豆美	チーム1	1,200点



第7回九州地区OSP選手権競走

61年9月7日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、北九州クラブの高木正年選手が1,025点で優勝。

第2回東京都OSPモーターボート選手権

61年9月28日 群馬県利根大堰で開催、利根モーターボートクラブの押条正選手が1,500点で優勝。

第4回小豆島オーリーブカップモーターボートレース

61年9月28日 香川県小豆島で開催、Aコースは、小林、ボブアイトニー選手組(YOSIYA)、Bコースは、高橋正美選手(屋島スポーツ)、Cコースは、最高タイムで杉浦伊豆美選手(チーム1)が総合優勝した。

Cコース(1,500m3周)

S C 1位	杉浦伊豆美	チーム1	800点
--------	-------	------	------

Bコース(1周4km1時間耐久)

S E 1位	大内稔生	讃岐	24周
S N 1位	高橋正美	屋島スポーツ(総合優勝)	28周
O N 1位	小峯宏一	チーム1	27周

Aコース(1周10km1時間耐久)

O Z 1位	大森 勝、後藤義一	ベルマンオーシャン	16周
R 6 1位	森田邦典、平野寿一	名古屋レーシング	17周
SOO 1位	川本 篤、門田浩平	ASAHIレーシング	17周
ROO 1位	北条茂、横山、津島英郎	アラサキレーシング	18周
OFF 1位	小林正和、ボブアイトニー	YOSIYAレーシング(総合優勝)	22周

第29回東京都モーターボート選手権大会

61年10月12日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催、中国、スウェーデン、アメリカの3ヶ国8名の選手を交えて実施された。



クラス	選手名	チーム	記録
O B 1位	花島 功	カマタレーシング	969点
OS400(H) 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	800点
OS400(H)STD 1位	CHEN・YANHONG	中国	1,200点
S400(R) 1位	永島康夫	横浜レーシング	1,100点
STD 1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
STC 1位	金ホルミ子	芦ノ湖レーシング	1,200点
S C 1位	杉浦伊豆美	チーム1	1,200点
S D 1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
S E 1位	秋元敏雄	武蔵レーシング	1,200点
S N 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	1,200点

'86全日本アウトボード選手権大会 第1回国際グランプリパワーボートレース

61年10月18~19日 山梨県河口湖で第1回パワーボートレースを英国、米国、スウェーデン、中国、フィンランド、フィリピン、西ドイツ7ヶ国22名の選手を招待して開催。



OS400(H)STD 1位	岡田 泉	1,200点	OS400(R) 1位	大村篤雄	925点
O B 1位	鄭成陶 (中国)	400点	STC 1位	丸山敏子	969点
			S E 1位	秋元敏雄	1,200点



'86アマチュアモーターボートレース 全日本OSP選手権大会

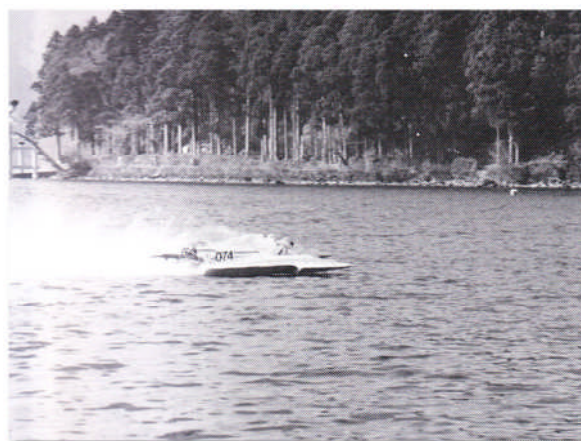
61年10月26日 兵庫県尼崎競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が優勝し、年間最高勝率賞、最高得点賞を獲得した。

'86モーターボートスピード記録会

61年11月14~15日 茨城県常陸利根川MGマリンで15年ぶりに開催、7つの日本新記録が樹立された。

日本新記録

選手名	所属	Km/h	船体	機関
鵜沢雄介	千葉海洋	95.77	H1P	ヤマト101
石川忠明	芦ノ湖	114.98	H3P	ヤマト102
石原国夫	丸亀	95.80	H1P	ヤマト102
中村 章	フュジュティブ	87.44	カタマラン	ヤマト102
丸山敏子	カンムリワシ	67.05	カタマラン	日産NS40C
綱本貫一	天竜	101.67	R	ヤマハ70C
鵜沢雄介	千葉海洋	94.64	カタマラン	ヤマハ70BET



第14回芦ノ湖グリーンカップ モーターボートレース

61年12月6日 神奈川県芦ノ湖で開催、Aコースの総合優勝は、ROOクラスの松井、森田選手組(岡山マッハ)であった。

Aコース

クラス	選手名	チーム	記録
S N 1位	小峯宏一	チーム1	1時間00分57秒
O N 1位	小峯 宏	チーム1	1時間05分53秒
S Z 1位	川口拓夫	大洋マリーン	1時間02分44秒
O Z 1位	後藤義一	バルマンフトシャン	1時間02分54秒
S 5 1位	宮村俊秀	芦ノ湖マーチ	1時間07分25秒
S 6 1位	赤塚勝彦、赤塚康子	名古屋レーシング	1時間02分30秒
R 6 1位	寺沢康裕、秦野 功	名古屋レーシング	1時間05分46秒
ROO 1位	松井 穂、森田浩司	岡山マッハ	1時間00分12秒

Bコース

クラス	選手名	チーム	記録
S D 1位	和田 明	浜松パワーボート	29分46秒37
SE(R) 1位	高橋政治	マーチレーシング	31分16秒39
SEカタマラン1位	杉浦伊豆美	チーム1	28分49秒36
OS400STD1位	岡田 泉	カマタレーシング	—
OS400(H)1位	後藤 仁	ヤマトクラブ	—
OS400STD(R)1位	矢須親二	東京KIDS	—
OS400(R)1位	大村篤雄	ZEROレーシング	—
O B 1位	橋本一均	ヤマトクラブ	—
STCワンデザイン1位	近藤政利	天竜レーシング	—
SCカタマラン1位	中島 修	チーム1	—
SC(R) 1位	壺田 誠	リキレーシング	—

水上スキー

第31回全日本学生水上スキー選手権大会

61年8月15~17日 茨城県常陸利根川で1部慶応、立教、法政、学習院、日大、明治学院、2部早稲田、国学院、愛知学院大、武蔵工大、相模工大、武蔵、福岡大が参加して開催、男子1部は6860.8点で慶応大学、2部は6,427.2点で早稲田大学、女子は400点で学習院大学が優勝した。



第32回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

61年9月6~7日 静岡県浜名湖のヤマハマリーナで開催、男子は2,833.6点で山崎良一、女子は2,666.7点で小佐野富美の各選手が優勝した。

1987(昭和62)年度

モーターボート

第6回NOD1クラブ合同レース

62年4月5日 群馬県利根大堰で開催、熊谷モーターボートクラブの新井忠明選手が優勝。団体では利根クラブが13,913点で優勝。

1987年第27回クラブ合同レース

62年4月19日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬で開催。

クラス	選手名	チーム	記録
O350 1位	小林常彦	ヤマトクラブ	1,100点
NOD2(H)1位	岡田 泉	カマタレーシング	1,200点
NOD2(R)1位	矢須親二	東京KIDS	1,200点
NOD3(H)1位	後藤 仁	ヤマトクラブ	1,100点
YOD3(R)1位	立川浩史	エビンルード	1,200点
NT3 1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
NT4 1位	高橋政治	ザ・マン	1,200点
NT7 1位	秋元輝雄	芦ノ湖クラブ	1,200点
NT2 1位	壺田 誠	リキレーシング	1,200点

第1回瀬戸内ローズカップ・パワーボートレース

62年5月4日 広島県福山市田尻沖で開催、Aコース45隻、Bコース13隻が参加、吉川、寺山選手組の東海マリンクラブが総合優勝した。

Bコース(1周15km1時間耐久レース)

クラス	選手名	チーム
S・5001位	清水芳男	屋島レーシング
NT4 1位	小澤一男	リキレーシング
NT7 1位	宮本治実	サヌキレーシング
NT8 1位	尾崎 毅、渡辺ケンジ	チームアドベンチャー
O2000 1位	田中早人、除伝哲郎	鷺羽レーシング



Aコース（1周10km1時間30分耐久）

OFFオープン1位	吉川勝人、吉川修一、寺山幸弘	東海マリン
OFF4 1位	松井 穂、森田浩司	岡山マツハレーシング
OFF3 1位	北村信也、小林正和	YOSIYAレーシング
OFF2 1位	船迫俊一、菊地	名古屋レーシング
OFF1 1位	藤井省三、石水 仁	大洋マリンクラブ
NS2 1位	串間賢一、岡 文明	広島パワーボート
NS3 1位	吉本憲司、武田友己	靱レーシング

1987年第1回鹿島サーキットレース

62年5月24日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬で開催。

クラス	選手名	チーム	記録
NT4 1位	高橋政治	ザ・マン	1,200点
NT8 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	1,200点
S850 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	400点
0850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	800点
XOD3(R)1位	下里美也子	横浜レーシング	1,200点
NT3 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,200点
YOD2(H)1位	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	1,200点
NOD3(H)1位	飯倉健史	芦ノ湖レーシング	800点
0350 1位	橋本一均	ヤマトクラブ	1,100点

第7回四国地区OSP選手権競走

62年6月13日 香川県丸亀競艇場で開催、丸亀レーシングの笹部正文選手が優勝。

第8回四国地区OSP選手権競走

62年6月13日 香川県丸亀競艇場でNOD1/600m3周・3ヒートレースを開催、横山レーシングの横山やすし選手が1,200点で優勝。

昭和62年度岡山県OSP選手権競走

62年7月2日 岡山県児島競艇場でNOD1/600m3周・6ヒートレースを開催、岡南モーターボートクラブの守田金剛選手が1分53秒9で優勝。

1987年第2回鹿島サーキットレース

62年7月12日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬で開催。

クラス	選手名	チーム	記録
NT3 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	800点
S500 1位	村尾輝明	エビンロード	1,200点
S850 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,200点
0850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,200点
NOD3(R)1位	志村裕之	芦ノ湖レーシング	1,100点
NOD2(H)1位	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	1,200点
NOD3(H)1位	榊原敏広	芦ノ湖レーシング	1,000点
O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	400点

第4回蒲郡グランプリ

62年7月26日 愛知県蒲郡競艇場で開催、横山レーシングの横山やすし選手が1分54秒1で優勝。最高得点賞は横山レーシングの三原徳寿選手、岡山レーシングの掛谷政夫選手がいずれも1,100点で受賞。



第20回熱海オーシャンカップ モーターボートレース

62年8月1日 静岡県熱海市で94隻が参加して開催。

Aコースにアパッチ41、クーガー36、クーガー43、ビクトリーCAT30、インペリアル33等の海外の大会に出場しているそうそうたる大型カタマランの新鋭艇が熱海に勢揃いした。

ようやく日本のオフショアレースも世界的に肩を並べるようになったといえよう。



Aコース (90分耐久)

クラス	選手名	チーム	記録
OFFスーパー1位	小林正和、ボブ・アイトニー	YOSIYAレーシング	1時間31分29秒
OFF2 1位	田中耕司、大田友次	芦ノ湖マーチ	1時削05分35秒
OFF3 1位	佐野武司、佐野篤志	芦ノ湖マーチ	1時間37分24秒
OFF1 1位	葛島武憲、角野真一	倉敷パワーボート・岡山マッハ	1時間37分14秒
OFFオープン1位	小嶋松久、ハロルド・スミス	KEレーシング	1時間36分30秒
NT8 1位	中島誠人、金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	1時間30分24秒
NR3 1位	宮村一俊、小林一義	芦ノ湖マーチ	1時間31分02秒
NS2 1位	吉元蔵元、斉藤定行	ビルドパワーボート	1時間38分21秒

Bコース

S850 1位	丸山清隆	芦ノ湖レーシング	1時間02分10秒
NT2 1位	小鷹卓郎	ZEROレーシング	1時間02分34秒
NT3 1位	小林英雄	スパイラル	1時間00分09秒
NT4 1位	寺田利行	讃岐レーシング	1時間01分43秒
NT7 1位	鈴木裕一	チーム1	1時間01分18秒

Cコース

NOD4 1位	大村正法	ZEROレーシング
S500 1位	山口三郎	トーハツクラブ
NOD2 1位	森谷修三	シブヤレーシング
NOD3 1位	小林英雄	スパイラル

第4回大漁苑杯レース

62年8月2日 群馬県利根大堰で開催、岡山レーシングの佐藤郁雄選手が優勝。

第6回アマチュアボートレース

OSPオールスター選手権大会

62年8月23日 愛知県常滑競艇場で開催、碧南モーターボートクラブの綾城茂選手が優勝。最高得点が静西モーターボートクラブの水野武昭選手、最高タイムは岡南モーターボートクラブの洲脇義宜選手。

1987年第3回鹿島サーキットレース

62年8月23日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬で開催。

クラス	選手名	チーム	記録
NOD3(R)1位	立川浩史	チームエビンルード	1,200点
10D2(H) 1位	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	800点
NOD3 1位	杉本 隆	シブヤスピード	925点
NT3 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	400点
S500 1位	葉山玲子	チーム1	1,200点
F850 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,200点
F550 1位	小峯宏一	チーム1	24周
F850 1位	下里和美	横浜レーシング	36周
YOD2(H)1位	立川浩史、渡辺邦夫	チームエビンルード・横浜レーシング	38周

'87第1回富士河口湖カップレース

62年8月30日 山梨県河口湖で開催。

NOD2(R)1位	平川裕之	ホクシン	400点
NOD3(R)1位	大村篤雄	ZEROレーシング	1,200点
NT2 1位	小鷹卓郎	ZEROレーシング	1,200点
NOD2(H)1位	松永昌明	ECCレーシング	1,100点
TOD3(H)1位	小林勝利	ZEROレーシング	1,000点
O350 1位	畔柳鋼治	銀河レーシング	800点
NOD4 1位	和田 明	浜松パワーボート	1,200点
S500 1位	村尾輝明	チームエビンルード	1,200点
F550 1位	中島 修	チーム1	1,100点
F850 1位	和田正武	浜松パワーボート	1,200点
YT7 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	1,200点
O2000 1位	小峯宏一	チーム1	800点

第8回九州地区OSP選手権競走

62年8月30日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、池田レーシングの安田実選手が1分57秒7で優勝。

第2回東京都NOD1モーターボート選手権

62年9月20日 群馬県利根大堰で開催、関東クラブの太久保正選手が優勝。

'87フオミュラーIN 芦ノ湖

62年9月27日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催、高橋、小峯選手組が総合1位になった。

クラス	選手名	チーム	記録
ND4 1位	和田 明、和田正武	浜松パワーボート	40周
S500 1位	菅谷美宏、臼木勇一	アラサキレーシング	39周
550 1位	高橋浩司、小峯宏一	チーム1	43周
F850 1位	下里和美、星野喬樹	横浜レーシング	107周

'87OSP東海選手権シリーズ 2

62年9月27日 愛知県西尾市矢作川で開催、横山レーシングの横山やすし選手が 1,200点で優勝。

第9回九州地区OSP選手権

62年9月27日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、岡山レーシングの吉田雅郎選手が1,025点で優勝。

'87全日本アウトボード選手権大会

62年10月10~11日 山梨県河口湖で開催、55隻が参加、O350の石川忠明選手(芦ノ湖レーシング)が総合優勝した。



F850 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,100点
NT4 1位	小澤一男	リキレーシング	850点
NT3 1位	小林英雄	スパイラルレーシング	1,100点
F550 1位	長谷川信一	チームエビンロードオブジャパン	1,200点
S500 1位	谷口洋司	YOSIYAレーシング	1,025点
ND2(R)1位	丸山清隆	芦ノ湖レーシング	1,200点
NOD3(R)1位	大村篤雄	ZEROレーシング	1,100点
NOD4 1位	吉田則尚	芦ノ湖レーシング	800点
NOD2(H)1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	850点
NOD3(H)1位	杉本 隆	シブヤスピードショップ	925点
O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,200点

'87第1回アマチュアモーターボートレース千本松原グランプリ

62年11月1日 岐阜県海部郡木曾川公園長良川で開催、豊橋クラブの辰田邦彦が794点で優勝。

'87第30回東京都モーターボート選手権大会

62年11月8日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

クラス	選手名	チーム	記録
O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,100点
NT3 1位	小林英雄	スパイラルレーシング	800点
NT4 1位	高橋政治	THE・MAN	800点
NT7 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	800点
NOD3(R)1位	立川浩史	チームエビンルード	800点
F550 1位	長谷川信一	チームエビンルード	1,100点
F850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,200点
NOD2(R)1位	丸山清隆	芦ノ湖レーシング	800点
NOD3(H)1位	飯倉健史	芦ノ湖レーシング	1,200点
XOD2(H)1位	野村和広	ヤマトクラブ	1,200点

マラソンレース

NOD2(H)1位	金木ルミ子、石川忠明、飯倉健史	芦ノ湖レーシング	24周
F550 1位	長谷川信一、村尾輝明	チームエビンルード	23周

'87モーターボートスピード記録会

62年11月14~15日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催、14の日本新記録が生まれた。

ND4	大村正法	ZEROレーシング	ヤマハ30DE	73.30Km/h
特A1P	西川敏記	丸亀競艇場	ヤマト202	88.17Km/h
NT8	中島誠人	芦ノ湖レーシング	マーキュリーXR1	109.46Km/h
NT7	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	OMC135	104.56Km/h
特BIP	野村真人	浜名湖競艇場	ヤマト102	101.27km/h
持B3P	関田捷夫	多摩川競艇場	ヤマト202	105.98Km/h
S500	大村正法	ZEROレーシング	ヤマト30D2	90.38Km/h
F500	長谷川信一	チームエビンルード	トーハツ40ES	93.29Km/h
O250	中村 章	フュジュティブ	ヤマトRA5	115.64Km/h

NOD3H	杉本 隆	シブヤスピード	ヤマト102	118.54Km/h
NOD2H	金木ルミ子	芦ノ湖レーシング	ヤマト102	90.27Km/h
NOD3R	森谷修三	シブヤスピード	ヤマト10	77.75Km/h
F850	小西昭典	カンムリワシ	ヤマハ70CE2	121.25km/h
S850	石川忠明	芦ノ湖レーシング	ヤマハ70CE2	121.29km/h



第15回芦ノ湖グリーンカップ モーターボートレース

62年12月5日 神奈川県箱根芦ノ湖に103隻が参加し開催された。

クラス	選手名	チーム	記録
NOD2(H)1位	野付和広	ヤマトクラブ	1,100点
NOD3(H)1位	小林佳之	ヤマトクラブ	1,025点
NOD2(R)1位	吉田則尚	芦ノ湖レーシング	400点
NOD3(R)1位	宇藤宏樹	ZEROレーシング	800点
NOD4 1位	阿部 学	チーム1	800点
S500 1位	三井 明	アラサキレーシング	1,200点
F550 1位	村尾輝明	チームエビンルード	625点
O500 1位	杉原 豊	シブヤスピードショップ	7周
NT3 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	8周
NT4 1位	高橋政治	THEMAN	31分23秒
F850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	30分58秒
O2000 1位	森田保雄	サイクロンクラブ	66分58秒
Oオープン1位	小峯宏一	チーム1	63分27秒
NT8 1位	太田実男	ベルマンオーシャン	60分27秒

NR3 1位	宮村俊秀、小林一義	芦ノ湖マーチ	63分26秒
NS2 1位	岡田 昭、永屋生吾	熱海ドルフィン	65分45秒
OFF1 1位	藤井省三、布目浩一	大洋マリクラブ	62分03秒
OFF2 1位	岩田慶一、杉崎泰男	ファントムレーシング	65分50秒
OFF3 1位	小嶋松久、豊田公雄	KEレーシング	66分46秒
OFF4 1位	松井 穂、森朗浩司	岡山マツハレーシング	62分05秒
OFFオープン1位	吉川修一、吉川勝人、北原秀一	東海マリクラブ	61分59秒

水上スキー

第2回瀬戸内海水上スキー長距離選手権大会

62年7月5日 岡山県児島唐琴沖で開催、1周8kmコースで岡山、広島、香川、愛媛等4県から49チーム147名が参加した。

8km優勝	村上 純	瀬戸内暴走族	6分28秒8
16km優勝	神崎文平	ペルメル	10分22秒7
24km優勝	黒住康弘	黒住チーム	14分39秒7
最優秀ラップ賞	黒住康弘	黒住チーム	4分46秒3

第9回ジャパン水上スキートーナメント

62年7月18~19日 山梨県山中湖で全日本学生水上スキー連盟強化委員会主催で137名の選手が参加して開催、島海英隆選手が総合優勝し三笠宮宜仁賜杯が授与された。

第32回全日本学生水上スキー選手権大会(運輸大臣旗争奪)

62年8月14~16日 千葉県小見川町で1部立教、慶応、学習院、日大、法政、早稲田、2部明治学院、国学院、武蔵、武蔵工大、愛知学院大、相模工大、福岡大が参加して開催、男子1部は6,519.1点で立教大学、第2部は5,879.4点で明治学院大学、女子は2,200点で慶応大学が優勝。



第33回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯争奪

62年8月28~30日 千葉県小見川町で開催、男子は2,609点で加地謙一選手、女子は2,630点で小佐野富美選手が総合優勝した。

1988(昭和63)年度

モーターボート

第6回岡山県OSP選手権競走

63年3月15日 岡山県児島競艇場で開催、岡南モーターボートクラブの守田金剛選手が1,969点で優勝。

第10回九州地区OSP選手権

63年4月24日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、池田年穂選手が1,369点で優勝。

第7回NOD1クラブ合同レース

63年5月1日 群馬県利根大堰で開催、利根モーターボートクラブの深町元則選手が1,425点で優勝。チーム成績は利根モーターボートクラブが774点で1位。

第2回瀬戸内ローズカップパワーボートレース (OFF2クラス全日本選手権)

63年5月3日 広島県福山市田尻で2万人の観客を集めて行なわれた。この大会で初めての試みとしてヘリコプターによるスタートが採用された。

Aコース1周13km90分耐久レースはOFF4クラスの小嶋松久選手、ハロルド・スミティ選手(KEレーシング)が16周1時間31分24秒、Bコースは高橋正美選手のNT8クラス(高松)が23周1時間02分04秒で優勝した。



'88第1回鹿島サーキットレース

63年5月22日 茨城県常陸利根川MGマリンで行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
NOD(H)1位	野村和広	ヤマトクラブ	1,200点
F550 1位	村尾輝明	チームエビンルードオブジャパン	1,000点
S500 1位	三井 明	アラサキレーシング	1,200点
NOD2(R)1位	高木 一	芦ノ湖	1,200点
NOD3(R)1位	壺田 誠	シブヤスピードショップ	1,200点

NT4 1位	高橋政治	チーム竜	1,100点
F850 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,200点
NOD3 1位	志村裕之	芦ノ湖	1,200点
O250 1位	樽見次雄	ヤマトクラブ	1,200点
O350 1位	橋本一均	ヤマトクラブ	1,200点



第13回三河湾エメラルドカップ スーパーボートレース

63年5月29日 愛知県蒲郡市西浦で39隻が参加、Bコース優勝はNT8クラスの太田実男選手、13周を91分42秒で、AコースはOFFオープンクラスのKEレーシング小嶋松久、H・SMITTY選手が21周を90分05秒で昨年の熱海から三連覇を成し遂げた。

1988年第1回OSPサーキットレース

63年7月3日 群馬県利根大堰で開催、熊谷クラブの福田喜文選手が1,225点で優勝。

'88第2回鹿島サーキットレース

63年7月10日 茨城県常陸利根川MGマリンで行なわれた。

クラス	選手名	チーム	記録
OSY400 1位	野村和宏	ヤマト	1,200点
NOD3(H)1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	1,000点
O250 1位	樽見次雄	ヤマトクラブ	800点
NOD3(R)1位	森谷修三	シブヤスピードショップ	1,100点
NT4 1位	高橋政治	チーム竜	1,200点
F550 1位	村尾輝明	チームエビンルード	800点
F850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,100点
O350 1位	斉藤仁一	ボースン	1,100点

第21回熱海オーシャンカップモーターボートレース

63年7月30日 静岡県熱海市で32隻が参加して開催。

本大会は、第三管区海上保安庁本部の協力で特殊救難隊のレスキュー隊の応援参加を得て、万全な救助体制を敷いた。オープニングセレモニーには学生援護会の協力でミス・アタミ・オーシャンカップ・コンテストが盛大に催され人気を集め、ニュース取材陣もフジテレビが7台のカメラを投入、また6隻の報道艇が間断なく就航する等職烈な報道合戦が繰り広げられ宣伝効果はいやが上にも盛りあがった。



1周15km90分耐久Aコースは、NT8クラスはチームラビットの大平哲也・小野繁選手、NR3クラスは芦ノ湖マーチレーシングの宮村俊彦・小林一義選手、NS2クラスは熱海ドルフィンクラブ・熱海モーターボート水上スキー協会の岡田昭・宇佐美定行選手、OFF1クラスは大洋マリーナクラブの田川正樹・布目浩人選手、OFF2クラスは名古屋レーシングの船迫俊一・後藤幸泰選手、



OFF3クラスは名古屋レーシングの赤塚勝彦・赤塚康子・日置恒人選手、OFF4クラスはKEレーシングの桑原彰・歳森泰師選手、OFFオープンではKEレーシングの小嶋松久・ハロルド・スミスの各選手が1位であった。

Aコース総合1位はアパッチ31に乗ったKEレーシングの小嶋松久・ハロルド・スミス選手が受賞した。

1周4km60分耐久Bコースでは、NT3クラスはスパイラルレーシングの小林英雄、NT4クラスはHEMANの増田隆、NT7クラスはチーム1の小峯宏一の各選手である。

Bコース総合1位はマーキュリー150を装着したビクトリー21RSに乗艇したチーム1の小峰選手が受賞した。

1周2.0km3周レースでは、NOD3クラスがスパイラルレーシングの小林英雄、S500クラスは熱海ドルフィンクラブの永尾生吾の両選手が1位を占めた。Cコース最高タイムはスパイラルレーシングの小林英雄選手であった。

クラス	選手名	チーム	記録
Aコース総合優勝	小嶋松久	KEレーシング	1時間30分40秒
Bコース総合優勝	小峯宏一	チーム1	1時間05分02秒
Cコース 周回最高タイム	小林英雄	スパイラルレーシング	2ヒート目 3分36秒

第5回大漁苑杯レース

63年8月7日 群馬県利根大堰で開催、利根モーターボートクラブの大沢康雄選手が925点で優勝。

第9回四国地区OSP選手権競走

63年8月8日 香川県丸亀競艇場で600m3周・3ヒートレースを開催、岡南モーターボートクラブの掛谷政夫選手が1,100点で優勝。

第11回九州地区OSP選手権レース

63年8月21日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で開催、岡南モーターボートクラブの洲脇義信選手が1,000点で優勝。

第7回アマチュアボートレースOSPオールスター選手権大会

63年8月28日 愛知県常滑競艇場で開催、利根モーターボートクラブの大沢康雄選手が1,100点で優勝。



第3回鹿島サーキットレース

63年8月28日 茨城県常陸利根川IMGマリンで実施。

クラス	選手名	チーム	記録
OSY400(1000m3周・4ヒート)1位	飯倉健史	芦ノ湖レーシング	100点
NOD3(H)(1500m5周・4ヒート)1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	400点
O350 (1500m5周・4ヒート)1位	斉藤仁一	ボースン	1,100点
S500 (1500m5周・4ヒート)1位	鈴木裕一	トーハツ	1,200点
F550 (1500m5周・4ヒート)1位	三井 明	アラサキ	1,100点
NOD2(R)(1000m3周・4ヒート)1位	高木 一	芦ノ湖レーシング	1,200点
NOD3(R)(1500m3周・4ヒート)1位	森谷修三	シブヤスピード	800点
F850(1500m5周・4ヒート)1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,200点
NT3 (1500m5周・4ヒート)1位	岩橋昉雄	岩崎レーシング	800点

第12回九州地区OSP選手権

63年9月4日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で600m3 周・3ヒートレースを開催、岡崎勲選手が1,327点で優勝。

東海選手権大会・吉田城杯争奪戦

63年9月11日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1/600m3周・3ヒートレースを開催、岡山モーターボートクラブの掛谷政夫選手が2分49秒54で優勝。

第10回四国地区OSP選手権競走

63年9月21日 香川県丸亀競艇場で開催、徳島県モーターボート連盟の久次米敬選手が2,400点で優勝。

'88全日本アウトボード選手権大会

63年10月1~2日 山梨県本栖湖青少年スポーツセンターで55名の選手が参加し、9クラスで行われた。1周1,650m5周各クラス1位

クラス	選手名	チーム	記録
F850	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,100点
S550	大越中哉	横須賀モーターボート協会	1,100点
F550	三井 明	アラサキレーシング	925点
OSY400	川畑豊彦	ヤマトモーターボートクラブ	1,200点
NT4	高橋政治	チーム竜	969点
NT3	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,100点
O350	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,100点
O250	南 祥久	横浜レーシング	700点



1周1,650m3周

NOD3(R)	矢須親二	TOKYO KIDS	825点
---------	------	------------	------

第5回小豆島オーリーブカップモーターボートレース

63年10月9日 香川県小豆島内海町でAコース46 隻、Bコース17隻が参加して開催された。全日本選手権は、OFF3クラスのチームアベンジャー大野、高嶋両選手が優勝し、初代選手権者として認定書が授与された。

Aコース(1周10km90分耐久)

NS2 1位	伊藤博幸、小谷孝行	アサヒレーシング	13周
OFF1 1位	近藤博文、斉藤 弘	岡山マツハレーシング	13周
OFF2 1位	小松原文夫、阿部良平	岡山シーウルフ	13周
OFF3 1位	高島正雄、大野秀雄	チームアベンジャー	13周
OFF4 1位	細谷公敏、千田桂一郎	アリバード	17周

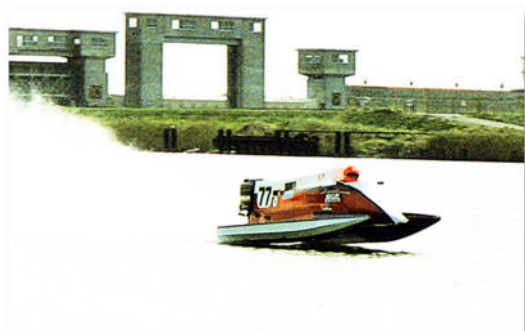
Bコース(1周4km60分耐久)

NT4 1位	大内稔生	讃岐レーシング	23周
NT7 1位	宮本治実	讃岐レーシング	27周
NT8 1位	広光善仁	チームアベンジャー	総合1位 27周
SOO 1位	田中悦蔵、本某村静雄	KEレーシング	24周

1988東京都モーターボート選手権大会 (NOD3全日本選手権)

63年10月16日 茨城県常陸利根川MGマリンで行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
F550 (1500m5周・4ヒート) 1位	村尾輝明	チームエビンルード	1,200点
S550 (1500m5周・4ヒート) 1位	宮井宝一	アラサキレーシング	1,200点
NOD3(R)(1000m3周・4ヒート) 1位	村上隆雄	横浜レーシング	1,200点
F850 (1500m5周・4ヒート) 1位	大出武男	かんむりわしレーシング	1,000点
NT4 (1500m5周・4ヒート) 1位	高橋政治	チーム竜	1,200点
NT3 (1500m5周・4ヒート) 1位	岩橋昉雄	岩橋レーシング	1,200点
OSY400 (1000m3周・4ヒート) 1位	野村和広	ヤマトクラブ	1,100点
O350 (1500m5周・4ヒート) 1位	杉原 豊	シブヤスピードショップ	1,200点



'88モーターボート スピード記録会

63年11月12、13日 茨城県常陸利根川MGマリンで行なわれ5つの日本新記録が生まれた。



日本新記録

クラス	選手名	チーム	記録
特 B 1 P	池田昌弘	多摩川競走場	103.48Km/h
O 2 5 0	渋谷正義	シブヤスピードショップ	128.39Km/h
N T 4	高橋政治	チーム竜	103.66Km/h
OSY400	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	98.82Km/h
NOD3(R)	森谷修三	シブヤスピードショップ	97.24km/h

第33回全日本学生水上スキー選手権大会

63年8月12、13、14日 千葉県小見川町水上スキーセンターで1部慶応、法政、明治学院、立教、学習院、日大、2部早稲田、武蔵工大、国学院、愛知学院大、福岡大、武蔵大、相模工大が参加して行なわれ1部男子は7,536.35点で慶応大学、2部男子は5,934.18点で早稲田大学、女子は3,339.37点で学習院大学が総合優勝した。



第34回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

63年8月26、27、28日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行われ男子は2,762点で鳥海英隆選手、女子は3,000点で小佐野富美選手がそれぞれ総合優勝した。



1989(平成元)年度

モーターボート

1989年第29回クラブ合同レース

平成元年4月23日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

1500m5局・3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
O350 1位	後藤 仁	ヤマトクラブ	1,100点
OSY4001位	田中良宏	芦ノ湖レーシング	1,100点

1500m5周・3ヒート

F850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,200点
F550 1位	村尾輝明	チームエビンロード	969点
S550 1位	細野恵美子	ベンガルベイクラブ	1,200点

1989NOD1クラブ合同レース

平成元年5月7日 群馬県利根大堰で600m3周レースを開催、利根モーターボートクラブの深町恒行選手が1,325点で優勝。

東京みなと祭・パワーボートレース

平成元年5月21日 東京港晴海埠頭で行なわれた。

1600m/30分耐久

F550 1位	岩淵寿雄	トーハツ	14周
O2000 1位	杉原 豊	シブヤスピードショップ	20周
NT7 1位	鈴木裕一	チーム1	23周



第13回九州地区OSP選手権

平成元年5月28日福岡県芦屋競艇場で開催、北九州の岩本伸男選手が1,425点で優勝。

'89第1回小見川パワーボートレース

平成元年6月11日 千葉県小見川町で行われた。

クラス	選手名	チーム	記録
OSY400 1位	野村和広	ヤマト	1,200点
O350 1位	橋本一均	ヤマト	1,100点
F850 1位	小西昭典	かんむりわしレーシング	1,200点
F550 1位	村尾輝明	エビンルード	1,200点
S550 1位	細野恵美子	ベンガルバイククラブ	1,100点
NOD3(R)1位	小林英雄	スパイラル	1,200点
NT4 1位	高橋政治	チーム竜	1,200点

第7回平成元年度岡山県OSP選手権競走

平成元年7月8日 岡山県児島競艇場で600m3周・6ヒートレースで開催、岡山レーシングの掛谷政夫選手が優勝。

第22回熱海オーシャンカップモーターボートレース

第22回大会は熱海沖海底噴火のため取り止めとなった。

1989年第1回OSPサーキットレース

平成元年7月23日 群馬県利根大堰で開催、熊谷レーシングの福田喜文選手が1,325点で優勝。

第11回四国地区OSP選手権競走

平成元年8月7日 香川県丸亀競艇場で600m3周レースを開催、横山レーシングの田村恭助選手が1,200点で優勝。

第6回大漁杯レース

平成元年 8月20日 群馬県利根大堰でNOD1/600m3周レースを開催、戸田クラブの飯田秀夫選手が1,500点で優勝。

'89第1回東京都グランプリパワーボートレース

平成元年8月27日 東京港晴海埠頭で行われた。

1周1,500m5周2ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
S550 1位	斉藤守久	イーグル	6分59秒70
F550 1位	三井 明	イーグル	6分17秒35

1周1,500m8周

O20001位	杉原 豊	シブヤスピードショップ	6分23秒40
8F8501位	下里和美	横浜レーシング	8分12秒89

1周1,500m8周30分耐久

NT3 1位	小林英雄	スパイラル	31分12秒
NT4 1位	内田恵治	フュジュティブ	30分54秒
NT7 1位	小峯宏一	チーム1	記録なし
NT8 1位	鈴木渉治	シブヤスピードショップ	31分34秒

第14回・第15回九州地区OSP選手権

平成元年9月16~17日 福岡県遠賀郡芦屋競艇場で600m3周レース3ヒートを実施、第14回は1,100点で岡山レーシングの洲脇義宜選手、第15回は北九州クラブの本田喜信選手が1,025点で優勝。

第3回瀬戸内ローズカップパワーボートレース

平成元年9月17日 広島県福山市田尻町で実施された。

- Bコース (1周5km60分耐久) 優勝 鈴木信夫(西日本選手権)
- A1コース (1周13Km1時間耐久) 優勝 田中豊史、村尾輝明
- A2コース (1周13Km1時間30分耐久) 優勝 吉川修一、寺山幸弘

1989年NOD1東京都モーターボート選手権

平成元年9月17日 群馬県利根大堰で1周600m3周4ヒートレースを開催、利根モーターボートクラブの槻岡秀夫選手が1,600点で優勝。

OSY400世界選手権大会

平成元年9月23、24日 千葉県小見川町で日本で初めてOSY400世界選手権大会がアメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア、スウェーデン、西ドイツ、ニュージーランド、中国、日本の9ヶ国の代表31名が参加し開催された。

外国選手の中にはイタリアのジュリヤノ・ランディーニやアメリカのボブ・ワーティンガー、西ドイツのクラウディア・クナッペ(女性)等の世界的に著名な選手が参加した。

また同大会から笹川杯が設定された。



順位	氏名	国籍	12位	ザン・ジイエ	中国
1位	飯倉健史	日本	13位	ジャン・ジャンソン	中国
2位	田中良宏	日本	14位	ボブ・ワーティンジャー	アメリカ
3位	マルコム・ジャメイソン	ニュージーランド	15位	ラルス・デイクフォース	スウェーデン
4位	野村和広	日本	16位	秋元輝雄	日本
5位	ペン・リユー	中国	17位	グニラ・シェドウィン	スウェーデン
6位	ポール・スカボ	アメリカ	18位	レックス・キング	イギリス
7位	ジュリアーノ・ランディーニ (250、350cc世界チャンピオン)	イタリア	19位	荒井 高	日本
8位	トーマス・伊芸	アメリカ	20位	ヨハン・ヘス	スウェーデン
9位	クラウディア・クナッペ (ヨーロツパチャンピオン)	西ドイツ	21位	ランディー・ヒップラー	アメリカ
10位	ヨハン・デイクフォース	スウェーデン	22位	ロビン・グラント	ニュージーランド
11位	グ・ミングア	中国	23位	アシュレイ・ブラウン	ニュージーランド

小見川カップ争奪F550選手権

平成元年9月23~24日 千葉県小見川町で1周1,650m3周で開催、参加者は世界選手権決勝進出者以外の内外選手で行う予定であったが、悪天候のため順位は不成立。

'89東京都モーターボート選手権

平成元年10月15日 茨城県常陸利根川MGマリンで行われた。

1500m5周 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
F550 1位	長谷川信一	チームエビンルード	800点
F850 1位	下里和美	横浜レーシング	1,100点
NT4 1位	高橋政治	チーム竜	1,200点

1500m3周 3ヒート

OSY4001位	田中良宏	芦ノ湖レーシング	1,025点
----------	------	----------	--------

1500m5周 3ヒート

O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	1,025点
---------	------	----------	--------

アマチュアモーターボートレース'89全日本OSP選手権大会

平成元年10月29日 兵庫県尼崎競走場で全国公認レースの勝率上位36名の選手によりOSPクラス日本一を決めるレースが行われ優勝戦で掛谷政夫選手（岡山レーシング）が1分53秒8で優勝した。

順位	選手名	チーム	記録
1位	掛谷政夫	岡山レーシング	1分53秒8
2位	押条 正	熊谷レーシング	1分55秒9
3位	門司一馬	北九州モーターボートクラブ	1分56秒8

- 最高得点賞 守田金剛 岡南モーターボートクラブ
- 年間最高勝率賞 大沢康雄 利根モーターボートクラブ
- 年間最高得点賞 押条 正 熊谷レーシング

第17回芦ノ湖グリーンカップレース

平成元年12月1~2日 神奈川県箱根芦ノ湖で行われた。

Aコース(60分耐久)

クラス	選手名	チーム
OFF3 1位	佐野武司、佐野ゆかり	芦ノ湖マーチ
OFF4 1位	細谷公敏、千田桂一郎	TEAMK
NT8 1位	鈴木渉治	シブヤスピードショップ
NR3 1位	小林一義	芦ノ湖マーチ
NS2 1位	森谷修三、石川啓一	シブヤスピードショップ
S2000 1位	太田 貢、奥山建二	岡山マッハ
OFF1 1位	佐川雅之、杉浦伊豆美、氏家憲治	チーム1
OFF2 1位	岩本 学、水島健一	名古屋レーシング

Bコース(4km30分耐久)

NT4 1位	内田恵治	フュジュティブ	15分04秒58
F850 1位	大出武光	かんむりわしレーシング	16分06秒68

Cコース(1600m3周サーキットレース)

S550 1位	永屋生吾	熱海ドルフィン	31分25秒20
F550 1位	近藤政利	天竜レーシング	
O350 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	
OSY4001位	上村憲孝	芦ノ湖レーシング	

水上スキージャパントーナメント

平成元年6月24、25日 山梨県山中湖で行われ、昨年の全日本チャンピオンの鳥海英隆選手が優秀選手となった。

第34回全日本学生水上スキー選手権大会

平成元年8月13、14、15日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行われ、総合優勝は男子1部は慶応大学、男子2部は武蔵工業大学、女子は法政大学であった。



第35回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

平成元年8月18、19、20日 千葉県小見川町水上スキーセンターで開催され、男子総合優勝は、2,656点で加地謙一選手、女子は2,500点で津田薫選手であった。

1990(平成2)年度

モーターボート

1990年第30回クラブ合同レース

平成2年4月15日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

1周1500m3周 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
F550 1位	宇佐見則子	チーム竜	1,100点

1周1500m5周

O350 1位	高橋春男	ボースン	700点
---------	------	------	------

1周1500m3周

OSY4001位	田中良宏	芦ノ湖レーシング	800点
----------	------	----------	------

1周1500m5周

NT4 1位	松長昭三	横浜レーシング	1,100点
--------	------	---------	--------

1990年NOD1クラブ合同レース

平成2年4月22日 群馬県利根大堰で1周600m3 周レースを開催。優勝戦1位は1,425点でヤマトクラブの野村和広選手。

第4回瀬戸内ローズカップレース

平成2年5月3、4日 広島県福山市田尻町で関東4、名古屋18、京都3、中国25、四国10隻の計60隻のエントリーで、Aコース4点マーク1周13km第1 ヒート30分耐久、第2ヒート60分耐久、Bコース3点マーク第1ヒート30分耐久、第2ヒート40分耐久で行なわれ小嶋、J・D・DELIA(KEレーシング)のアパッチが優勝した。また今年はS/F550のレースが新たに組み込まれ2日にわたり開催した。

(Bコース)クラス別

F550 1位	高島一雄	チーム竜	700点
S550 1位	坂田幸市	ベンガル・バイククラブ	700点
F550クラス総合1位	谷口洋司	ベンガル・バイククラブ	700点
NT4 1位	大野茂夫	讃岐レーシングクラブ	900点
NT8 1位	高橋正美	チームアベンジャー	1,000点
S2000 1位	奥山建二、太田頁	カイトジャパン	1,000点
Bコース総合 1位	高橋正美	チームアベンジャー	1,000点

(Aコース)

スーパークラス1位	小林正和、カス・フアルコン、森川信男	ベンガル・バイククラブ	1,000点
Aコース総合 OFFオープン1位	小嶋松久、J・D・DELIA	KEレーシング	1,000点

Aコースクラス別

NS3 1位	坪田光一、常次英雄	岡山シーウルフクラブ	900点
OFF1 1位	千達修蔵、山根憲治	尾道レーシングチーム	1,000点
OFF2 1位	船迫俊一、加藤正人	チームNOR	737.5点

OFFオープンの順位

OFFオープン1位	小嶋松久、J・D・DERIA	KEマリン	1,000点
OFF3 1位	三木和彦、長田洋和、長田哲明	カイトジャパンレーシング	850点
OFF4 1位	細谷公敏、千田桂一郎	チームK	1,000点

1990年第1回鹿島サーキットレース

平成2年5月27日 茨城県鹿島郡神栖町横瀬で開催。

1500m3周 3ヒート

F550 1位	夫馬慎司	チーム竜	1,025点
---------	------	------	--------

1500m5周

NT4 1位	高橋政治	チーム竜	1,100点
0350 1位	樽見次雄	ヤマトモーターボートクラブ	

1500m3周

OSY400 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	794点
-----------	------	----------	------

平成2年度岡山県OSP選手権競走

平成2年6月9日 岡山県児島競艇場で600m3周・6ヒートレースを開催、佐藤和正選手が1分57秒7で優勝。

1990年第1回NODIサーキットレース

平成2年6月10日 群馬県利根大堰で600m3周・4ヒートを実施、平和島レーシングの岸川雄介選手が1,425点で優勝。

アマチュアモーターボートレース

'90吉田城杯争奪戦第1戦

平成2年6月24日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1 / 600m3周・3ヒートレースを実施、知多モーターボートクラブの塚下仁己選手が1,025点で優勝。

第2回東京ボートカップパワーボートレース

平成2年7月20日 東京晴海埠頭で行われた。

Bコース (1周4km 1時間耐久)

クラス	選手名	チーム	記録
NOD3(R)1位	上村憲孝	芦ノ湖レーシング	1時間02分43秒89
400~500cc1位	大村正法	ZEROレーシング	1時間29秒52

Aコース(1周3km 4時間耐久)

550~850cc1位	内田恵治	横浜レーシング	4時間02分09秒84
2000~ 3000cc1位	高橋正美	チームアベンジャー	4時間00分24秒13

Aコース90分

1 位	吉川修一	東海マリン	90分20秒
-----	------	-------	--------

OFFオープン

Aコース90分耐久クラス別

OFF3 1位	高嶋金治、田中耕司	マーチレーシング	98分8秒
OFF4 1位	細田公敏、千田桂一郎	チームK	98分13秒
OFFオープン1位	吉川修一、吉川勝人	東海マリン	90分20秒

Aコース45分耐久レース

NS2 1位	臼木勇一、重田健一	チームコルト	42分17秒
OFF2 1位	馬場範枝、馬場宏枝	マーチレーシング	51分37秒

第23回熱海オーシャンカップモーターボートレース

平成2年7月21日 静岡県熱海市で30隻が参加して開催。

90分耐久A コースは、スタート後KEレーシングのアパッチ38が水煙をあげてトップで快走、そのうしろを東海マリンのビクトリーキャットが追う形で周回を繰り返していたが、1時間経過した直後8周目でビクトリーキャットとアパッチの順位が突如入れ替わり、更に2周後の10



周目でアパッチはエンジントラブルで力尽きリタイア、無念の涙を飲み、東海マリンのビクトリーキャットがそのまま独走体制に入り第23回大会Aコース90分耐久レースで勝利の栄冠をつかんだ。

参加艇の数は昨年より減ったがボートは年々大型化、高性能化しオフショアレースの醍醐味を遺憾なく発揮、3万5千人の観客にスリルと豪快なマリンスポーツに1時間30分、13週のドラマに酔いしれた。

1周4km30分耐久レース、BコースのNT4クラスは熱海ドルフィン永島生吾、NT8クラスはシブヤスピードショップの鈴木渉治の両選手が1位を占めた。Bコース総合1位は、シブヤスピードショップの鈴木渉治選手が受賞した。

1周16km45分耐久レース、AコースNS2クラスがTEAM COLTの臼木勇一・重田健一、OFF2クラスではマーチレーシングの馬場範枝・馬場宏枝の各選手がそれぞれ1位に入賞した。

1周16km90分耐久レース、AコースはOFF3クラスのマーチレーシングの高嶋金治・田中耕司の両選手、OFFオープンクラスはビクトリーキャット40に乗る東海マリンの吉川勝人・吉川修一・寺山幸弘・北原秀一の各選手が1位入賞した。

Bコース総合優勝1周4km (30分耐久)

クラス	選手名	チーム	記録
NT8	鈴木渉治	シブヤスピードショップ	30分48秒

Aコース45分総合優勝1周16km (45分耐久)

OFF2	馬場範枝	マーチレーシング	51分37秒
------	------	----------	--------

Aコース90分総合優勝1周16km (90分耐久)

OFFオープン	吉川修一、吉川勝人、寺山幸弘、北原秀一	東海マリン	90分20秒
---------	---------------------	-------	--------

'90 吉田城杯争奪戦第2戦

平成2年7月22日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1 クラス1周600m3周(1,800m)3ヒートレースを開催し、知多クラブの若林成選手が1,100点で1位。

第16回 九州地区OSP選手権

平成2年8月5日 福岡県芦屋競艇場で開催、北九州の北村隆幸選手が優勝。

'90 吉田城杯争奪戦第3戦

平成2年8月26日 愛知県豊橋市馬見塚で3ヒートレースを開催し、NOD1クラス1周600m3周(1,800m)コースで豊橋クラブの原田邦彦選手が優勝。

第2回東京グランプリパワーボートレース

平成2年8月26日 東京晴海埠頭で開催。

Bコース(1周1,400m20周)

クラス	選手名	チーム	記録
F550 1位	小山 晶	芦ノ湖レーシング	20周

Aコース(1周2,000m60分)

T2 1位	大村正法	ZEROレーシング	22周
T4 1位	内田恵治	横浜レーシング	34周
T7 1位	志村裕之	芦ノ湖レーシング	37周
T8 1位	鈴木渉治	ジャパンスピードショップ	45周
O30001位	杉浦伊豆美	チーム1	(参考記録) 7周

1990年第2回鹿島サーキットレース

平成2年9月2日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

1周1,500m 5周

O350 1位	後藤 仁	ヤマトモーターボートクラブ	925点
---------	------	---------------	------

1周1,500m 3周

OSY400 1位	田中良宏	芦ノ湖レーシング	1,200点
-----------	------	----------	--------

'90NOD1 東京都モーターボート選手権

平成2年9月16日 群馬県利根大堰で600m3周1,800mコース4ヒート制で開催、利根モーターボートクラブの大沢康雄選手が1,500点で優勝。

第9回岡山県OSP選手権競走

平成2年9月28日 岡山県児島競艇場で600m3周1,800mコースで開催、田中恭助選手が優勝。

瀬戸内ローズカップ・全日本アウトボードフェスティバルIN芦田川

平成2年9月29~30日 広島県福山市で開催。

1周1,600m5周

クラス	選手名	チーム	記録
550ccクラス1位	川本 篤	アサヒレーシング	1,200点

1周2,500m (30分耐久)

NT4 1位	永屋生吾	熱海ドルフィン	700点
S200 1位	岡嶋 道、近藤 誠	カイトジャパン	800点
NT8 1位	門田浩平	アサヒレーシング	800点

第6回小豆島オリーブカップモーターボートレース

平成2年10月21日 香川県小豆郡内海町の坂手港～ 福部島周回コースで開催。

A2 1周8km(60分耐久)

NS2 1位	宮本伸二、宮本修二	チームNOR	12周
OFF1 1位	千達修蔵、法野慎一	尾道レーシング	9周
OFF2 1位	伊藤博行、小谷孝行	アサヒレーシング	13周

A1坂手湾～福部島1周12Km(90分耐久)

OFF3 1位	藤井 貢、今川順公	尾道レーシング	17周
OFF4 1位	広永春吉、中井豊文	瀬戸内パワーボート	17周
OFFオープン1位	細谷公敏、杉原 豊	チームK	(総合優勝) 22周

Bコース坂手湾内1周4Km (45分耐久)

NT4 1位	大野茂夫	讃岐レーシング	26周
NT8 1位	高橋正美	チームアベンジャー	(総合優勝) 32周
SOO200 1位	岡嶋 進、浅田弘昭	カイトジャパン	27周
SOO 1位	土方利秋、藤原静夫	ブルーマリン	25周

'90全日本アマチュアモーターボート選手権競走

平成2年10月27~28日 兵庫県尼崎競艇場で
NOD1 600m3周3ヒートレースを開催し、槻岡
秀夫選手が1,200点で1位。



'90 東京都モーターボート選手権

平成2年10月28日 茨城県常陸利根川MGマリンで開催。

OSY400 (1,5003周) 1位

NT4 (1,500m5周) 1位

品川洋造	横浜レーシング	850点	高橋政治	チーム竜	1,100点
------	---------	------	------	------	--------

F550 (1,500m3周) 1位

O350 (1,500m5周) 1位

村尾輝明	チームエビンロード オプジャパン	800点	橋本一均	ヤマトモーターボート クラブ	1,025点
------	---------------------	------	------	-------------------	--------

'90モーターボートスピード記録会

平成2年11月16、17、18日 茨城県常陸利根川MGマリンで行われ、F550、NOD1、NT4、O350に7
つの日本新記録が生まれた。

日本新記録

F550	村上輝明	KEマリン	101.24Km/h	F550	高嶋一雄	チーム1	99.82km/h
NT4	高橋政治	チーム竜	109.12Km/h	F550	宇佐見則子	チーム1	97.79Km/h
NOD1	山田 考	ヤマト	90.02Km/h	F550	小山 晶	芦ノ湖レー シング	108.94Km/h
O350	樽見次雄		159.40Km/h				

第18回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成2年12月8~9日 神奈川県箱根芦ノ湖で行われた。

Aコース(1時間耐久)

NT4 1位	永屋生吾	熱海ドルフィン	22周 40分12秒
NT8 1位	小峯宏一	チーム1	28周 40分00秒

Bコース4km(30分耐久)

F550 1位	高橋政治	チーム竜	16周 30分25秒
---------	------	------	------------

Cコース1,600m5周

O350 1位	後藤 仁	ヤマトクラブ	総合927点
---------	------	--------	--------

Cコース1,600m3周

OSY400 1位	野村和広	ヤマトクラブ	総合1,200点
-----------	------	--------	----------

第18回九州地区OSP選手権

平成3年3月17日 福岡県芦屋競艇場で行われた。

NOD1 3ヒート600m3周 優勝 田村恭助 横山レーシング

水上スキー

第35回全日本学生水上スキー選手権大会

平成2年8月16、17、18日 千葉県小見川町水上スキーセンターで男子1部慶応、立教、法政、明治学院、学習院、男子2部武蔵工大、国学院、武蔵、愛知学院大、湘南工科大、福岡大、早稲田、女子は明治学院、立教、慶応、日大、法政、早稲田が参加して行なわれ、総合優勝は男子1部が7,137.9点で慶応大学、男子2部は5,411.43点で武蔵工業大学、女子は2,920.48点で明治学院大学であった。



第36回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

平成2年8月31、9月1、2日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行なわれ男子は2,584.91点で加地謙一選手、女子は2,951.22点で矢島富美選手が総合優勝した。

ペガサスカップ争奪第9回全日本選抜 水上スキージャンプ選手権大会

平成2年10月21日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行なわれ男子は37.4mで慶応大学の児玉隆士選手、女子は23.3mでアクアベレーの深見公恵選手がそれぞれ優勝した。

1991(平成3)年度

モーターボート

第1回アウトボード選手権in香川

平成3年4月14日 香川県小豆島土庄東港地崎で行われた。

F550 1位 高橋政治 総合得点1,100点で優勝。

1991年第31回クラブ合同レース

平成3年4月14日 茨城県鹿島郡常陸川MGマリン前で開催。

OSY400 1,500m3周 3ヒート1位

O350 1,500m5周 3ヒート1位

野村和広	ヤマトクラブ	総合得点1,200点	樽見次雄	ヤマトクラブ	総合得点1,100点
------	--------	------------	------	--------	------------

F550 1,500m3周 3ヒート1位

NT4 1,500m5周 3ヒート1位

山崎源治	芦ノ湖クラブ	総合得点1,100点	秋元俊男	ムサシクラブ	総合得点1,200点
------	--------	------------	------	--------	------------

1991年 NOD1クラブ合同レース

平成3年4月29日 群馬県利根大堰でレースを開催。

600m3周 4ヒートレースを開催し、深町恒行(利根MBクラブ) が総合得点1,400点で優勝した。

第5回瀬戸内ローズカップ

'91全日本グランプリパワーボートレース

平成3年5月11~12日 福山市箕沖で行われた。

Bコース1周4Km(第1ヒート30分耐久、第2ヒート40分耐久)

NT8 1位	鈴木渉治	シブヤスピードショップ	総合得点850点
--------	------	-------------	----------

Aコース1周14Km(第1ヒート30分耐久、第2ヒート60分耐久)

OFFオープン1位	細谷公敏、杉原 豊	チームK、シブヤスピードショップ	総合得点1,000点
-----------	-----------	------------------	------------

平成3年度 岡山OSP選手権競走

平成3年5月21日 倉敷市児島競艇場でNOD1クラス 600m3周 6ヒートレースを開催、掛谷政夫選手が1分52秒4で優勝。

1991年 第1回鹿島サーキットレース

平成3年6月2日 茨城県鹿島常陸利根川MGマリン前で開催。

1,500m5周 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
O350 1位	橋本一均	ヤマトクラブ	総合得点925点
O∞ 1位	秋元輝雄	芦ノ湖クラブ	総合得点925点

1,500m3周 3ヒート

OSY400 1位	山村春正	ヤマトクラブ	総合得点625点
F550 1位	高橋政治	チーム竜	総合得点800点

1,500m5周 3ヒート

F850 1位	下里和美	横浜レーシング	総合得点969点
---------	------	---------	----------

1991年第2回鹿島サーキットレース

平成3年6月16日 茨城県鹿島常陸利根川MGマリン前で開催。

1,500m3周 3ヒート

F5501位	岩淵寿雄	トーハツモーターボート	総合得点1,000点
OSY4001位	野村和広	ヤマトクラブ	総合得点 925点

1,500m5周 3ヒート

O350 1位	橋本一均	ヤマトクラブ	総合得点 600点
NT4 1位	榎野 孝	横浜レーシング	総合得点 700点
O∞ 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	総合得点1,200点
F850 1位	大出武男	K2レーシング	総合得点1,200点

1991年 第1回利根川サーキットレース

平成3年6月30日 群馬県利根大堰で600m3周4 ヒートでNOD1クラスが行われ、槻岡秀夫選手が1,500 点で1位。

第19回九州地区OSP選手権競走

平成3年6月30日 福岡県芦屋競艇場でOSPクラス600m3周が行われ、本田義喜選手(北九州)が総合得点1,000点で優勝した。

'91吉田城杯争奪戦1

平成3年7月7日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1 クラス(600m3周 3ヒート)を開催、若林成一選手(知多レーシング)が総合得点1,000点で優勝。

第24回熱海オーシャンカップレース

平成3年7月20日 国内外38艇のレーシングボートが参加し、静岡県熱海市和田浜で開催。

Aコース1周16km90分耐久レースは、21隻がエントリーし12時30分スタート、チーム竜の高橋一雄、高橋政治選手が乗り組む501号艇をトップに21、22回の覇者KEレーシングの小嶋松久・ハロルド・スミス選手の101号艇が追い、その後に排気量32,670cc、



艇長11.98mの国内最大級のKEレーシングの山田一真・中地淳一・ボブ・アイトニー選手が乗艇する689号、国内オフショアレース3連覇を狙うチームKの細谷公敏、シブヤスピードショップの杉原豊選手の27号艇が続く。

2周目は101、689、5、27号艇の順で激しくトップを争う。3周ではまず5号艇がオーバーヒートで脱落、5周では689号が戦列をはなれリタイア。ここから27号艇と101号艇の一騎打ちの争いとなる。熱戦の末101より2フィート短い27号艇が熱海では長艇有利の大方の予想を裏切り15周を1時間30分で走破し、細谷公敏・杉原豊組の27号艇が瀬戸内ローズカップ優勝の余勢をかって堂々3連覇を飾った。1周16km45分耐久レースではNT-8クラスのチームKの松賀直人が総合1位に輝いた。

Aコース熱海港～初島沖1周16km(90分耐久)

クラス	選手名	チーム	記録
OFF2 1位	宮村俊秀 林 一義	マーチレーシング	99分25秒
OFFオープン1位	細谷公敏 杉原 豊	チームK	96分04秒
OFFスーパー1位	スコットクレツグ パッド 水野英雄	シガレットジャパン	90分00秒

Bコース熱海沖 1周3km(45分耐久)

NT8 1位	松賀直人	チームK	29周 45分36秒
--------	------	------	---------------

第2回関東選手権

平成3年8月4日 群馬県利根大堰でNOD1クラス(600m3周4ヒート)が行われ、佐藤郁雄選手(岡南レーシング)が総合1,500点で1位。優勝戦では水野武昭選手が優勝した。

'91吉田城杯争奪戦2

平成3年8月18日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1クラス(600m3周 3ヒート)を行い、水野武昭選手(静岡西部モーターボート)が優勝した。

スポニチカップ

第3回東京グランプリパワーボートレース

平成3年8月25日 東京晴海埠頭 ポート天国海域で1周1,500m(30分耐久)を2ヒート行った。

クラス	選手名	チーム	記録
NT4 1位	小林英雄	スパイラルレーシング	700点
NT7 1位	鈴木勝利	チーム1	800点
NT8 1位	小峯宏一	チーム1	800点

第1回近畿地区選手権競走

平成3年8月25日 石川県小松市前川でNOD1クラス(600m3周 5ヒート)を行い、守田金剛選手(岡南)が1,900点で1位。優勝戦も守田選手が優勝した。

'91吉田城杯争奪戦第3戦

平成3年9月1日 愛知県豊橋市馬見塚町でNOD1 クラス(600m3周)を行い、総合1位は山本守選手(静西)。優勝は岸川雄介選手(平和島)。

第12回四国地区OSP選手権競走

平成3年9月7日 香川県丸亀競艇場で行った。優勝者は次の通り。

- 第1戦 斉藤智明 法皇レーシング
- 第2戦 笹部正文 丸亀レーシング
- 第3戦 福高 隆 吉野川レーシング

1991年第3回鹿島サーキットレース

平成3年9月8日 茨城県陸利根川MGマリン前で開催した。

1,500m 5周 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
F550 1位	岩淵寿雄	トーハツモーターボート	総合1,200点
O∞ 1位	杉浦伊豆美	チーム1	総合1,100点
F850 1位	鈴木渉治	シブヤスピードショップ	総合1,100点
O350 1位	野村和広	ヤマトクラブ	総合1,100点

1,500m 3周 4ヒート 全日本選手権

OSY400 1位	渡辺邦男	横浜レーシング	総合1,025点
-----------	------	---------	----------

F550西日本選手権シリーズ第2・3戦 マリンスポーツフェスティバル

平成3年9月22~23日 広島県福山市芦田川
で開催。

F550クラス(1周1,600m5周 3ヒート)



第2戦 1位	川本篤	アサヒレーシング	総合1,000点
第3戦 1位	中村要啓	KER	総合1,100点

第33回東京都モーターボート選手権

平成3年11月17日 茨城県鹿島常陸利根川MGマリン前で開催。

1,500m 5周 4ヒート

O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	総合1,100点
---------	------	----------	----------

1,500m 3周 3ヒート

OSY4001位	小林広之	ヤマトモーターボートクラブ	総合1,200点
F550 1位	小山 晶	芦ノ湖レーシング	総合1,000点

1,500m10周 3ヒート

O∞ 1位	佐川雅之		総合800点
-------	------	--	--------

'91F550西日本選手権シリーズ第4戦 第1回びわこアウトボード選手権

平成3年11月3日 滋賀県守山市木之浜町でF550 クラス(1周1,600m 5周4ヒート 3本取り)を行い、小嶋松久選手(KEレーシング)が総合1,100で1位。

'91アマチュアモーターボート選手権

平成3年10月26日~27日 兵庫県尼崎競艇場でNOD1(600m3周3ヒートレース)を開催、槻岡秀夫選手(利根モーターボートクラブ)が総合1,100点で1位。

第19回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成3年12月7日 神奈川県箱根芦ノ湖で開催。なお、NT4、OFF4は全日本選手権。

Cコース1,600m 3周 3ヒート

クラス	選手名	チーム	記録
O350 1位	秋元輝雄	芦ノ湖レーシング	総合869点
OSY4001位	小林広之	ヤマトモーターボートクラブ	総合1,200点

Bコース 4,000m1周 30分耐久

F550 1位	小山 晶	芦ノ湖レーシング	周回~ 8回
F850 1位	和田正武	浜松パワーボート	周回~21回
NT4 1位	土屋広太郎	浜松パワーボート	18回
O∞ 1位	杉原 豊	シブヤスピードショップ	周回~30回

Aコース 芦ノ湖周回 1周16Km 60分耐久

NT7 1位	小林祐紀	チーム1	周回~ 8回
NT8 1位	小峯宏一	チーム1	周回~10回
OFF2 1位	高橋敏光、森下 賢	リキレーシング	周回~10回
OFF3 1位	広光善二、浜口貞海	メガレーシング高知	周回~12回
OFF4 1位	大田友次、杉浦伊豆美	チーム1	周回~12回

Cコース 0350総合成績 1位 秋元輝雄 芦ノ湖 総合 869点

Cコース OSY400総合成績 1位 小林広之 総合1,200点

水上スキー

第36回全日本学生水上スキー選手権大会

平成3年8月16日~18日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行われ1部は慶応大学、2部は国学院大学、女子総合は明治学院大学が優勝した。

第37回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

平成3年8月23日~25日 千葉県小見川町水上スキーセンターで行われ男子は2,814.29点で児玉隆士選手（学生連盟）、女子は過去8回総合優勝の経験がある矢島富美選手（愛知連盟）がジャンプで日本新記録を出しスラローム、トリックと三種目とも日本の女子選手の中では最高記録3,000点で総合優勝した。

'91ジャパンオープン水上スキー選手権が同時に行われ、中国、韓国、シンガポールから選手が参加、男子総合は韓国のPark Joon-Ho選手女子は日本の矢島富美選手が優勝、4,000人の観客を集めた。

1992(平成4)年度

モーターボート(OSP)

'92第1回近畿選手権競走

平成4年3月8日 大阪府西淀川河川公園で開催。1位 古財弘宣(兵庫レーシング)

第12回クラブ合同レース

平成4年4月26日 群馬県利根大堰で開催。1位 飯田秀夫(戸田モーターボート)

第20回九州地区選手権競走第1戦

平成4年4月26日 福岡県芦屋競艇場で開催。1位 本田義喜(北九州)

第21回九州地区選手権競艇第2戦

平成4年5月10日 福岡県芦屋競艇場で開催。1位 岩村静喜(北九州)

アウトボードフェスティン八百津東海選手権Round1

平成4年5月24日 岐阜県八百津町で開催。1位 榊原一次(静岡県西部モーターボート)

第11回平成4年度岡山県競走

平成4年5月28日 岡山県児島競艇場で開催。1位 洲脇善宣(岡南)

第12回平成4年度岡山県競走

平成4年5月29日 岡山県児島競艇場で開催。1位 掛谷政夫(岡南)

'92第1回サーキットレース

平成4年6月7日 群馬県利根大堰で開催。1位 深町元則(利根)

第2回近畿地区大会

平成4年6月28日 福井県三国競艇場で開催。1位 藤本市男(伊勢湾)

第13回四国地区選手権競走(第1戦)

平成4年7月26日 香川県丸亀競艇場で開催。1位 斉藤智明(法皇)

第13回四国地区選手権競走(第2戦)

平成4年7月27日 香川県丸亀競艇場で開催。1位 笹部正文(丸亀)

第3回近畿地区大会

平成4年8月9日 石川県小松市前川で開催。1位 佐藤郁雄(岡南)

東海選手権吉田城杯争奪戦

平成4年9月6日 愛知県豊橋市で開催。1位 水野武昭(静岡県西部モーターボート)

'92NOD1東京都選手権大会

平成4年9月13日 利根大堰で開催。1位 大沢康雄(利根)

'92九州地区選手権競走(第3戦)

平成4年9月19日 福岡県芦屋競艇場で開催。1位 門司一馬(北九州)

'92九州地区選手権競走(第4戦)

平成4年9月20日 福岡県芦屋競艇場で開催。1位 高木正年(北九州)

'92全日本アマチュアモーターボート選手権競走

平成4年10月24~25日 福岡県芦屋競艇場で開催。1位 大沢康雄(利根)

モーターボート(パワーボート)

'92アウトボードフェスティバルIN芦田川 550クラス西日本シリーズRound2

平成4年5月9~10日 広島県福山市芦田川で開催。

クラス	選手名	チーム	NT7 1位	森田浩司	カイトジャパン
F550 1位	細谷公敏	チームK	NT8 1位	松賀直人	チームK
NT4 1位	寺田利行	讃岐レーシング	F850 1位	大出武男	K2レーシング

'92第1回鹿島サーキットレース

平成4年5月17日 茨城県鹿島郡常陸利根川で開催。

F550 1位	岩淵寿雄	トーハツ	OSY4001位	渡辺邦男	横浜レーシング
O350 1位	橋本一均	ヤマトモーターボート	F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング

'92第2回鹿島サーキットレース

平成4年6月21日 茨城県鹿島郡常陸利根川で開催。

クラス	選手名	チーム	OSY4001位	野村和広	ヤマトモーターボート
F550 1位	小嶋松久	KEレーシング	O350 1位	斉藤仁一	ボースン
NT4 1位	松長昭三	横浜レーシング	F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング

第1回マリンスポーツフェスティバル 高知F550西日本選手権シリーズRound2

平成4年7月5日 高知県浦戸湾で開催。 F550 1位 門田浩平(アサヒレーシング)

'92第3回鹿島サーキットレース

平成4年7月9日 茨城県鹿島郡常陸利根川で開催。

F550 1位	村尾俊明	チームエビンルード	O350 1位	野村和広	ヤマトモーターボート
OSY4001位	渡辺邦男	横浜レーシング	F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング

全日本オフショアグランプリ 第25回熱海オーシャンカップ パワーボートレース

平成4年8月1日 静岡県熱海市で開催。今大会ではこれまでに比べ直線距離が短く、ターンの回数が増えるなど開催以来始めて大幅なレースコースの設定が変更された。また、キャンピー装備のボートクルーに強制されたダクテスト、ヘリコプターによるレスキュー体制等、安全対策もより強化された。1周12キロメートルの90分耐久A コースは、17隻がエントリーしチームKが熱海オーシャンカップ2連覇、国内オフショア4連覇を達成した。



Cコース

NT4 1位	永尾生吾	熱海ドルフィン	NT8 1位	小峯宏一	チーム1 (Cコース総合優勝)
NT7 1位	岡嶋 進 高山弘樹	カイトジャパン			

Aコース

OFFOPEN 1位 : 細谷公敏(チームK)、杉原豊 (S・G・Iレーシング)

(Aコース総合優勝、アタミオーシャンカップ、運輸大臣賞)

OFF4 1位	山本啓介 千田桂一郎	チームK	OFF2 1位	佐野篤志 小林一義	東海マリン マーチ・レーシング
OFF3 1位	国本隆幸 国本康幸	リキレーシング			

第4回東京グランプリパワーボートレース

平成4年8月23日 東京都晴海埠頭で開催。

クラス	選手名	チーム
NT4(850ccクラス)1位	土屋広太郎	浜松パワーボート
NT8(3000ccクラス)1位	鈴木 渉治	S・G・Iレーシング
NT7(2000ccクラス)1位	星野 幸男	チーム1

琵琶湖マリンスポーツフェスティバル

'92全日本フォーミュラー550選手権 550西日本シリーズRound3

平成4年8月29~30日 滋賀県マイアミ浜で開催。パワーボートレースの他にジェットスポーツの競技会、水上スキーショー、試乗会等も併せて行われ、イベント性にあふれる大会となった。

F550 1位 小嶋松久(KEレーシング)

'92第4回鹿島サーキットレース

平成4年9月6日 茨城県鹿島郡常陸利根川で開催。

OSY4001位	丸山清隆	芦ノ湖レーシング	F550 1位	岩淵寿雄	トーハツ
O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング

'92マリンスポーツフェスティバルIN八百津

平成4年10月10~11日 岐阜県八百津町で「見て、乗って、参加して」をモットーに開催。

F3000 1位 石川忠明(芦ノ湖レーシング)

(全日本選手権)

'92アウトボートフェスティバルIN芦田川

550クラス西日本シリーズ最終戦

平成4年10月10~11日 広島県福山市芦田川で開催。

F550 1位	細谷公敏	チームK	NT7 1位	岡嶋進、近藤誠	カイトジャパン
NT4 1位	寺田利行	讃岐レーシング	NT8 1位	山田 洋	アサヒレーシング

第34回東京都モーターボート選手権大会

平成4年10月25日 茨城県鹿島郡常陸利根川で開催

O350 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	OSY400 1位	深須義之	ヤマト
F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	NT4 1位	小林英雄	スパイラル
F850 1位	大出武男	K2レーシング	F550 1位	村尾俊明	グランプリマリーン

'92スピードトライアル

平成4年11月6-8日 茨城県鹿島郡で開催。14隻のパワーボートと2隻のジェットが挑戦し、2つの世界記録と6つの日本新記録が達成された。

クラス	選手名	所属	記録
S550 1位	村尾俊明	グランプリマリーンレーシング	96.83km/h (日本新)
O250 1位	橋本一均	ヤマトモーターボートクラブ	157.66km/h (世界新)
O2000 1位	杉浦伊豆美	チーム1	181.97km/h (日本新)
OSY4001位	大村正介	東京パワーボートクラブ	110.22km/h (世界新)
F3000 1位	石川忠明	芦ノ湖レーシング	173.87km/h (日本新)
特別A 1位	野中俊功	琵琶湖競走場	89.54km/h (日本新)
ジェット(A-2)1位	川和秀動	MGパワーズ	75.78km/h (日本新)
ジェット(B-2)1位	芳賀 毅	ASM. ファクトリーレーシング	72.85km/h (日本新)



写真左上

OSY400クラスで110.22km/hの世界記録を達成した東京パワーボートチームの大村正介選手。

写真右上

O-250クラスで157.66km/hの世界記録を出したヤマトモーターボートクラブの橋本一均選手。

写真左

A-2ジェットクラスで75.78km/hの日本新記録を出したMGパワーズ川和秀動選手。

水上スキー

第14回ジャパン水上スキートーナメント

平成4年6月26~28日 山梨県山中湖で開催。

スラローム

女子1位	三角 真生	明治学院	男子1位	児玉 隆士	慶応OB
------	-------	------	------	-------	------

トリック

女子1位	上鶴真夕子	白金クラブ	男子1位	児玉 隆士	慶応OB
------	-------	-------	------	-------	------

ジャンプ

女子1位	深見 公恵	アクアベレー	男子1位	笹本 尚宏	立教OB
------	-------	--------	------	-------	------

第38回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

平成4年7月17~19日 滋賀県琵琶湖草津で行われ男子は2,882.86点で児玉隆士選手（神奈川）、女子は2,687.71点で津田薫選手（山梨）が総合優勝した。

スラローム

女子1位	深見 公恵	東京	男子1位	児玉 隆士	神奈川
------	-------	----	------	-------	-----

トリック

女子1位	水上 良恵	山梨	男子1位	須田 隆之	東京
------	-------	----	------	-------	----

ジャンプ

女子1位	深見 公恵	東京	男子1位	池田 昌弘	学生連盟
------	-------	----	------	-------	------

総合

女子1位	津田 薫	山梨	男子1位	児玉 隆士	神奈川
------	------	----	------	-------	-----

第37回全日本学生水上スキー選手権大会

平成4年8月7日~9日 千葉県小見川町水上スキーセンターで開催。

スラローム

女子1位	三角 真生	明治学院大学	男子1位	植山 貴行	立教大学
------	-------	--------	------	-------	------

トリック

女子1位	三角 真生	明治学院大学	男子1位	植山 貴行	立教大学
------	-------	--------	------	-------	------

ジャンプ

男子1位	佐藤進太郎	日本大学
------	-------	------

総合(学校別)

女子1位	明治学院大学
男子1位	立教大学

'92IWSFアジア・オーストラリア地区 水上スキー選手権大会

平成4年8月18~23日 千葉県小見川水上スキーセンターで開催。わが国初の国際大会として11の国と地域から62名の選手が参加。



スラローム

女子1位	ジョディ・スキッパー	オーストラリア	男子1位	ブレット・スーリー	オーストラリア
------	------------	---------	------	-----------	---------

トリック

女子1位	ミン・イ	中国	男子1位	ロジャー・コア	シンガポール
------	------	----	------	---------	--------

ジャンプ

女子1位	エンマ・シアーズ	オーストラリア	男子1位	ジョン・リビングストン	オーストラリア
------	----------	---------	------	-------------	---------

個人別総合

女子1位	ジョディ・スキッパー	オーストラリア	男子1位	ニール・リッチ	オーストラリア
------	------------	---------	------	---------	---------

国別総合

1位	オーストラリア	2位	中国	3位	ニュージーランド	4位	韓国
5位	シンガポール	6位	日本	7位	台湾	8位	マレーシア
9位	北朝鮮	10位	香港				

第7回アジア水上スキー選手権大会

平成4年8月13~23日 千葉県小見川町水上スキーセンターで開催。

スラローム

女子1位	ホワフェン・トゥ	中国	男子1位	ジョン・ホ・パク	韓国
------	----------	----	------	----------	----

トリック

女子1位	ミン・イ	中国	男子1位	ロジャー・コア	シンガポール
------	------	----	------	---------	--------

ジャンプ

女子1位	スン・オク・リー	北朝鮮	男子1位	エオンドン・ペイ	中国
------	----------	-----	------	----------	----

個人別総合

女子1位	ホワフェン・トゥ	中国	男子1位	タオ・ワン	中国
------	----------	----	------	-------	----

国別総合

1位	中国	4位	シンガポール	7位	台湾
2位	韓国	5位	北朝鮮	8位	インドネシア
3位	日本	6位	マレーシア	9位	香港

第21回ナショナルウオータースキーチャンピオンシリーズ

平成4年9月5~6日 長野県野尻湖で開催。

個人別総合

女子1位	深見公恵	東京	男子1位	須田隆之	神奈川
------	------	----	------	------	-----

‘92 ジャパン選抜水上スキージャンプ選手権

平成4年10月10~11日 広島県福山市芦田川で開催。

ジャンプ

女子1位	津田 薫	山 梨	男子1位	池田昌弘	学生連盟
------	------	-----	------	------	------

第31回全日本長距離水上スキー選手権大会

平成4年10月10日 滋賀県琵琶湖(南湖)で開催。 1位 黒住康弘

ジェットスポーツ

‘92ジェットグランプリ

平成4年10月31日~11月1日 静岡県浜名湖競走場で開催。日本ジェットスポーツ連盟(JJSF)オープニングレースとして、JJSFが国際モーターボート連盟のジェット(水上バイク)統ルールを基本に制定した国内競技規則により実施。

- ・グループA クラス2
1位 飛野 照正 (アンビアンレーシングチーム)
- ・グループA クラス3
1位 小桧山 武 (フェイキー)
- ・グループA クラス3 女子
1位 小松 麻衣子 (チームL&B)
- ・グループB クラス2
1位 小野口 孝一
- ・グループC クラス1
1位 大門 建彦 (チームWIN)



1993(平成5)年度

モーターボート(OSP)

第11回全日本OSP(K400)選手権大会

平成5年10月30日・31日 福岡県福岡競艇場で開催。1位 掛谷 政夫(岡南モーターボートクラブ)

モーターボート(パワーボート)

第6回瀬戸内ローズカップ

平成5年5月29日・30日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。フォーミュラからオフショアの9クラスに69名(48隻)の選手が参加した。

- ・90分耐久レース OFFOPEN 細谷 公敏(チームK)

第26回熱海オーシャンカップ

平成5年7月31日 静岡県熱海湾で開催。選手76名(46隻)が参加した。

Bコース45分耐久レースでは112号艇ワイルドキャットが初優勝。今年、5月に行われた瀬戸内ローズカップで優勝した25号艇「アーリーバード」松賀選手(チームK)はトップで走っていたが、途中レースを中断して落水した他チームの選手の救助に向かい、結果は3位となった。なお、落水した選手は無事救助され、松賀選手には特別賞が贈られた。

- ・Aコース90分耐久レース
OFFOPEN 片山 祐男(東海マリン)
佐野 武司(マーチレーシング)
- ・Bコース45分耐久レース
NT8 村田 正英(MPパワーボートレーシング)

第1回土佐ベイカップ

平成5年10月16日・17日 高知県夜須町において、フォーミュラからオフショアの9クラスに61名(49隻)の選手が参加して開催。

- ・F550クラス 細谷 帝寿(チームK)
- ・NT60分耐久レース 高橋 正美(チームアベンジャー)
- ・OFF60分耐久レース 広光 善仁、浜口 貞海(メガレーシング高知)

オフショア・サーキットレース 第20回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成5年12月4日 神奈川県芦ノ湖で開催。

記念すべき20回を迎えたこの大会には、全国からの強豪に加え米国からビル・シーボルト、タイからソムサックおよびピジェの3人の海外からの選手を含め小型艇から大型艇の10クラスに71名(65隻)の選手が参加した。F3000クラスでは53才のビル・シーボルトが日本チャンピオンに輝いた。

優勝

クラス	選手名	チーム(国名)
O S Y 4 0 0	丸山 清隆	芦ノ湖レーシングクラブ
F 5 5 0 15周	岩淵 寿雄	トーハツモーターボートクラブ
N T 4 18周	和田 明	浜松パワーボートクラブ
F 8 5 0 18周	渡辺 修	チーム1
F 3 0 0 25周	ビル・シーボルト	(アメリカ)
Aコース総合	大田友次、氏家憲治	チーム1

水上スキー

第38回全日本学生水上スキー選手権大会

平成5年8月20日～22日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、14大学(男子98名、女子37名)の選手が参加して実施した。

男子総合優勝 慶応義塾大学 6680.15点 女子総合 立教大学 3111.84点

男子個人 関口卓彦(立教)2735.64点 女子個人 水野朋子(慶応)2723.68点

個人戦のトリック競技では国学院大学の宮島淳選手が2,770点をマークし、2年ぶりに大会記録を塗り替えた。

第39回全日本水上スキー選手権大会 秩父宮妃賜杯

40名の選手が参加し、8月27日から群馬県利根大堰で開催したが、荒天のため途中で中止し、9月25～26日に長野県野尻湖で、改めて実施した。

男子はトリック1位、スラローム、ジャンプ2位の児玉隆士選手(神奈川)が総合優勝で全日本3連覇を果たした。女子は津田薫選手(山梨)が3種目制覇の完全優勝で2連覇を果たした。

総合優勝 男子

女子

児玉 隆士	神奈川	2,857.95点	津田 薫	山梨	3,000点
-------	-----	-----------	------	----	--------

男子スラローム1位 豊原和幸(長野) ジャンプ1位 西川潤(学生連盟)

ジェットスポーツグランプリシリーズ

国内初の統一シリーズ戦としてジェットグランプリシリーズ戦を4戦実施し、延べ947名の選手が参加した。

第1戦 平成5年6月5日～6日 神奈川県藤沢市江ノ島東浜で開催。

排気量別6クラスに女性選手31名を含む213名が参加。A-2クラス 竹野下正治選手(フリービートルレーシング)がシリーズ初戦を制覇。

クラス別優勝

クラス	選手名	チーム
A2	竹野下正治	フリービートルレーシング
A3	北出幸一	エムワークスチームジャパン
A3W	長内康子	
B2	飯田洋一	ソレイユルヴァンレーシング
C1	沖田道一	
C2	藤巻敏明	ハイコンプ



第2戦 平成5年7月3日～4日 愛知県蒲郡市西浦海水浴場で開催。

クラス別優勝

A2	竹野下正治	フリービートルレーシング
A3	田村常之進	レックフリッパーマリンスポーツクラブ
A3W	松口久美子	
B2	船倉輝彦	シーゼットレーシング
C1	脇田駒春	KHKレーシング
C2	藤巻敏明	ハイコンプ



第3戦 平成5年8月28日～29日 滋賀県野洲郡中主町マイアミビーチで開催。

2日目に行われたフリースタイルのIJSBA(国際ジェットスポーツ協会)選考会で、ジャンプ技、サブマリ
ン技、バランス技を競った結果、プロクラスは中田正樹選手、アマクラスでは大村仁志選手(浜名湖
SC)が1位となった。

クラス別優勝

A2	山田 保	
A3	北出幸一	エムワークスチームジャパン



A3W	長内康子	
B2	山根康功	伊勢ジェットスキーレーシング
C1	南野 博	レークフリッパーマリンスポーツクラブ
C2	藤巻敏明	ハイコンプ

第4戦 平成5年10月2日～3日 神奈川県藤沢市江ノ島東浜。
クラス別優勝

A2	北田 誠	レークフリッパーマリンスポーツクラブ
A3	田村常之進	レークフリッパーマリンスポーツクラブ
A3W	穂田喜代	チームアクション
B2	原 敬三	GSTレーシング
C1	南野 博	レークフリッパーマリンスポーツクラブ
C2	藤巻敏明	ハイコンプ



1994(平成6)年度

モーターボート(OSP)

第12回全日本OSP(K400)選手権大会

平成6年10月23日 岡山県児島競艇場で開催。

順位	選手名	チーム
1位	恩田 文雄	横山レーシング
2位	斎藤俊彦	利根モーターボートクラブ
3位	高木政年	九州モーターボートクラブ

モーターボート(パワーボート)

第7回瀬戸内ローズカップ

平成6年5月28日・29日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。
フォーミュラからオフショアの11クラスに81名(60隻)の選手が参加した。

- ・F550 細谷 公敏(チームK)
- ・O2000 荒井 克之(K.E.レーシング)
- ・F3000 杉浦 伊豆美(チーム1)
- ・45分耐久レース 総合 松賀 直人(チームK)
- ・90分耐久レース 総合 三木 和彦(カイトジャパン)、杉原 豊(SGI.RACING)



OFF2クラス優勝 広光善仁、浜口真海艇

第27回熱海オーシャンカップパワーボートレース

平成6年7月30日 静岡県熱海湾で開催。8クラスに選手60名(41隻)が参加した。

Aコース60分耐久レースでは片山・佐野両選手の年齢合計120歳の熟年コンビが1時間2分56秒で12周を周回して2連覇を達成した。

- ・Aコース60分耐久レース総合優勝
OFFOPEN 片山 祐男(東海マリン)、
佐野 武司(マーチレーシング)
- ・Bコース45分耐久レース総合優勝
NT3000 松賀 直人(チームK)



第14回エメラルドカップ

平成6年9月25日 愛知県御津町三河御津マリーナで開催。

1964(昭和39)年の第1回大会以来、三河湾、伊勢湾各地を舞台に隔年で実施されてきたこのレースが6年ぶりに再開され、NTクラスとオフショアの6クラスに52名(32隻)の選手が参加した。

・45分耐久レース 総合優勝

NT3000 松賀 直人(チームK)

・90分耐久レース 総合優勝

OFFOPEN 片山 祐男(東海マリン)、佐野武司(マーチレーシング)



スピード記録会

平成6年11月18日～20日 茨城県潮来町の常陸利根川コースで、パワーボートとジェットスポーツの2部門について実施し、パワーボート部門では4つの日本記録が出た。

パワーボート 日本記録

クラス	選手名	チーム	記録
特 A・1P	大町 雅彦	琵琶湖競艇場	91.38Km/h
〇 2 0 0 0	杉浦 伊豆美	チーム1	184.76Km/h
〇 3 0 0 0	石川 忠明	芦ノ湖レーシング	198.20Km/h
N T 3 0 0 0	吉川 修一	東海マリンクラブ	130.52Km/h

オフショア・サーキットレース

第21回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成6年12月3日 神奈川県芦ノ湖で開催。アメリカからティム・シーボルト、タイからソムサク・ムンサオ選手を招待しての国際レースを実施。

F3000全日本選手権・インターナショナルレースでは、12秒差で今年もアメリカに全日本のタイトルを持ち帰られる結果となった。



優勝

クラス	選手名	チーム（国名）
F 5 5 0	細谷 公敏	チームK
O S Y 4 0 0	深須 義之	ヤマトモーターボート
F 3 0 0 0	ティム・シーボルト	(アメリカ)
Aコース総合 OFF・NTクラス	鈴木 友也	チーム1

F3000クラスシリーズ戦

シリーズチャンピオン 石川忠明（芦ノ湖レーシング）

水上スキー

第39回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成6年8月19日～21日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、12大学(男子85名、女子34名)の選手が参加して実施した。

男子 総合優勝 立教大学 (6,500.32点)

2位 慶応義塾大学

3位 明治学院大学

女子 総合優勝 立教大学 (4,554.66点)

2位 法政大学

3位 慶応義塾大学



第40回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成6年9月9日～11日 徳島市南沖ノ州で65名の選手が参加して実施した。今大会では新しい試みとして「ジュニア」「シニア」の年齢別クラスが新設された。

総合優勝 男子

女子

内山 剛	学生連盟	2,570.27点	深見 公恵	東京	2,698.69点
------	------	-----------	-------	----	-----------



男子総合優勝 内山選手



深見選手のスラローム

ジェットスポーツ

スピード記録会

平成6年11月18日～20日 茨城県潮来町の常陸利根川コースで、パワーボートとジェットスポーツの2部門について実施した。ジェットスポーツ部門では3つの世界記録(日本初)と3つの日本記録が樹立された。

ジェットスポーツ 世界記録

クラス	選手名	チーム	記録
SPO MOD	神崎 純一		82.21Km/h
SPO LTD	松尾 和典	HI-COMP	68.87Km/h
RUN MOD	川畑 豊彦	ヤマトモーターボートクラブ	95.21Km/h

日本記録

SKI MOD(N)	若色 天守	WAVE BUSTER'S	88.25Km/h
RUN MOD(N)	東 徹	チームタカハシ	92.85Km/h
RUN LTD(N)	中島 正幸	HI-COMP	83.45Km/h

ジェットスポーツグランプリシリーズ

ジェットグランプリシリーズ戦を5戦及び全日本選手権大会を実施し、延べ2,078名の選手が参加した。

第1戦	4月16日・17日	静波海岸
第2戦	5月14日・15日	富津岬
第3戦	6月11日・12日	三国サンセットビーチ
第4戦	7月2日・3日	愛宕浜
第5戦	8月26日~28日	琵琶湖
全日本選手権	9月30日~10月2日	江ノ島



'94 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズランキング

クローズドコース

A級スキーデビションクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	5	奈良 崇	JOYFUL FACTORY RACING TEAM
2位	2	竹野下正治	フリービーレーシング

3位	12	松口 博文	JRI
----	----	-------	-----

A級ウイメンスキーデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	1	松口 久美子	P L A X Y
2位	3	赤松 繭美	
3位	2	長内 康子	AMC Racing

A級スポーツデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	8	内橋 誠司	モトイネレーシング
2位	1	原 敬三	FACTORY KEN
3位	18	脇田 駒春	DECK MD RACING

A級ランナバウトデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	40	梶谷 耕平	TEAM EXCITE
2位	48	山田 保	
3位	4	南野 博	レークフリッパーマリンスポーツクラブ

フリースタイル

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	1	中田 正樹	HOT-LINE RACING
2位	29	前田 和則	MORPHEUS
3位	380	夏井 幸弘	ASM FACTORY RACING

ソーラー & 人カボート

‘94 浜名湖ソーラー & 人カボートレース大会

平成6年8月27日～28日 静岡県浜名湖競艇場で実施した。

人カボート 200m スピードレース優勝艇

艇番	艇名	チーム
40	コギト2.5	コギト

ソーラーボート 200m スピードレース優勝艇

艇番	艇名	チーム
121	Solar Phoenix	Team SAM

ソーラー1時間耐久レース優勝艇

艇番	艇名	チーム
109	かもめ50Ⅱ世	東海大学

3周耐久レース優勝艇(ソーラー・人カ混合)

艇番	艇名	クラス	チーム
102	今切Ⅲ	ソーラー	BREAK NOW

1995(平成7)年度

モーターボート(OSP)

第13回全日本OSP(K400)選手権大会

平成7年10月15日 福岡県芦屋競艇場で開催。

第1ヒート1位、第2ヒート3位、第3ヒート1位で通過した北九州モーターボートクラブの高木正年選手が優勝した。

順位	選手名	チーム
1位	高木正年	北九州モーターボートクラブ
2位	田村 恭助	横山レーシングクラブ
3位	斎藤 俊彦	利根モーターボートクラブ

モーターボート(パワーボート)

第8回瀬戸内ローズカップ

平成7年5月13日・14日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。フォーミュラからオフショアの11クラスに80名(55隻)の選手が参加した。

- ・F550 岡田 州弘(尾道レーシング)
- ・O2000 石川 忠明(芦ノ湖レーシング)
- ・F3000 志村 裕之(芦ノ湖レーシング)
- ・45分耐久レース総合
NT3000 高橋 正美(チームアベンジャー)
- ・60分耐久レース総合
OFFOPEN 三木 和彦、三木 智充(カイトジャパン)



第28回熱海オーシャンカップ

平成7年7月22日 静岡県熱海湾で開催。8クラスに選手61名(38隻)が参加した。

OFFシリーズ耐久レースでは片山、佐野両選手の112号艇ワイルドキャットが本大会3連覇を飾った。

- ・OFFシリーズ60分耐久レース
総合優勝 OFFOPEN 片山 祐男(東海マリン)、佐野 武司(マーチレーシング)
- ・NTシリーズ45分耐久レース
総合優勝 NT3000 鈴木 祐一(チーム1)

阿波ブルーカップパワーボートレース

平成7年9月23日・24日 徳島県津田海岸町で開催。OSPクラスの小型艇からOFFクラスの大型艇までの11クラスに75名(62隻)が参加した。

・OFFシリーズ30分耐久レース

総合優勝 OFFOPEN 三木 智充(カイトジャパン)、杉原 豊(SGI.RACING)

・NTシリーズ25分耐久レース

総合優勝 NT3000 土屋 広太郎
(浜松パワーボートクラブ)

・サーキットレース

総合優勝 F3000 氏家 憲治(チーム1)

・ヒートレース

OSP 久次米 敬(吉野川レーシング)

F550 伊藤 勝巳(アサヒレーシング)



オフショア・サーキットレース 第22回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成7年12月2日 神奈川県芦ノ湖で開催。

本大会のメインであるグリーンカップを賭けたOFFクラス・NTクラスのAコースは、24隻のエントリーがあり、1周10kmのコースを45分耐久レースで行われ、昨年に

引き続きOFFクラスを抑えNT3000クラスの土屋広太郎選手が22回目のグリーンカップを制した。

・Aコース45分耐久レース

総合優勝 NT3000 土屋広太郎(浜松パワーボート)

・Bコース

OSY400 堤 俊彦 (芦ノ湖レーシング)

F550 岩淵寿雄 (トーハツモーターボート)

F3000 石川忠明 (芦ノ湖レーシング)



F3000クラスシリーズ戦

シリーズチャンピオン 石川忠明
(芦ノ湖レーシング)



水上スキー

第41回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成7年7月21日から23日まで、長野県信州新町(ろうかく湖)において、開催を予定していたが、集中豪雨のため延期となった。代替として、9月15日から17日まで、滋賀県琵琶湖において、80名の選手が参加して開催した。



総合優勝 男子

女子

石渡 義徳	学生連盟	2,520.18点	深見 公恵	東京	2,814.15点
-------	------	-----------	-------	----	-----------



第40回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成7年8月25日～27日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、12大学(男子85名、女子35名)の選手が参加して実施した。

この大会には高円宮殿下の御台臨を賜り、記念すべき40回大会として実施することができた。

男子 総合優勝 立教大学(7,322.15点) 2位 法政大学 3位 慶応義塾大学
 女子 総合優勝 立教大学(4,991.27点) 2位 明治学院大学 3位 法政大学

ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を6戦実施し、延べ2,327名の選手が参加した。

第1戦	4月 8日・9日	沖縄ムーンビーチ
第2戦	5月20日・21日	和歌山片男波海岸
第3戦	6月17日・18日	三国サンセットビーチ
第4戦	7月 8日・9日	富津海岸
第5戦	7月29日・30日	大阪マーブルビーチ
第6戦	9月15日～17日	琵琶湖松原水泳場



‘95 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズランキング
クローズドコース
A級スキーデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	10	飛野 照正	RACING CLUB SANWA
2位	1	奈良 崇	JOYFUL FACTORY RACING TEAM
3位	5	武内 英夫	JRI

A級ウイメンスキーデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	9	横田 絵海	RACING CLUB SANWA
2位	8	小松 麻衣子	ASM FACTORY RACING
3位	4	石浦 つぎみ	BREAK UP RACING

A級スポーツデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	3	脇田 駒春	DECK MD RACING
2位	4	山根 康功	伊勢ジェットスキーレーシング
3位	2	原 敬三	FACTORY KEN

A級ランナバウトデビシオンクラス

順位	ゼッケン	選手名	チーム
1位	2	山田 保	BREAK UP RACING
2位	9	垣内 茂樹	TAKEZO JSP東海
3位	4	新山 徳吉	RACING TEAM JET COBRA

フリースタイル

順位	選手名	チーム
1位	前田 和則	MORPHEUS
2位	中田 正樹	HOT-LINE RACING
3位	加藤 賢一	シーゼットレーシング

リージョナルシリーズ

リージョナルシリーズ戦を5戦実施した。

静岡大浜海岸、静波海岸、富津、小見川、岡山沙美の浜

ソーラー & 人カボート

‘95 浜名湖ソーラー & 人カボートレース大会

平成7年7月28日～30日 静岡県浜名湖競艇場で、家族、大学、高等専門学校や企業チーム等、65艇が参加して実施した。

ソーラーボート総合優勝 船名：Soland
人カ 総合優勝 船名：COGITTO-II

1996(平成8)年度

モーターボート(OSP)

第14回全日本OSP(K400)選手権大会

平成8年10月5日・6日 福岡県芦屋競艇場で開催。

同年開催された14競技会の勝率上位22名がエントリーし、田口宏章選手(岡南モーターボートクラブ)が初優勝を飾った

順位	選手名	チーム
1位	田口 宏章	岡南モーターボートクラブ
2位	洲脇 義宣	岡南モーターボートクラブ
3位	佐藤 郁雄	岡南モーターボートクラブ

モーターボート(パワーボート)

阿波ブルーカップパワーボートレース

平成8年5月25日・26日 徳島県津田海岸町で開催。フォーミュラからオフショアシリーズまで9クラスに40隻が参加した。その中で、運輸大臣杯が与えられるF550全日本選手権と、O2000、F3000のレースを内港に設けられたサーキットで開催。オフショア海面ではNT850、NT3000に加え、5クラスのオフショアレースが開催された。

・O2000/F3000サーキットレース

O2000 石川 忠明(芦ノ湖レーシング) 30周

・F550 近藤 誠(カイトジャパン)

・NT30分耐久レース

NT3000 細谷 公敏(チームK) 16周

・OFF60分耐久レース

OFFOPEN 三木 智充、三木 和彦(カイトジャパン) 15周

第9回瀬戸内ローズカップパワーボートレース ‘96日本グランプリ/F-550全日本選手権シリーズ 第7戦

平成8年9月22日・23日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。
フォーミュラからオフショアの11クラスに75名(50隻)の選手
が参加した。F550シリーズ第7戦では、地元広島アサヒレー
シングの伊藤勝巳選手が全4ヒートを全て1位で走り抜け、
完全優勝。



- ・オフショアクラス総合 松井 昭人、新川 智規(カイトジャパン)
- ・NT3000クラス 土屋 広太郎(浜松パワーボートクラブ)
- ・O2000クラス 艸川 典宏(KEレーシング)
- ・F550クラス 伊藤 勝巳(アサヒレーシング)

スピード記録会

平成8年11月15日～17日 茨城県潮来町の常陸利根川コースで、パワーボート10隻、ジェットスポー
ツ2隻が参加し実施した。

パワーボートにおいて3種目の日本新記録、ジェットスポーツにおいて世界新記録が樹立された。

1931(昭和6)年の第1回開催から28回目を迎えた本記録会で、歴史的な大記録が誕生した。時速
70.45kmの記録から出発して65年を経て、石川忠明選手がO-2000とF-3000クラスで時速200kmの壁
を突破した。

パワーボート 日本記録

クラス	選手名	チーム	記録
特A・1P	大町 雅彦	琵琶湖競艇場	94.09Km/h
O2000	石川 忠明	芦ノ湖レーシング	219.04Km/h
O3000	石川 忠明	芦ノ湖レーシング	206.60Km/h



オフショア・サーキットレース第23回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース



平成8年12月7日 神奈川県芦ノ湖で開催。

F3000をはじめとする4つの国内シリーズ最終戦に加え、シーズン最後のオフショアレースが組まれF3000は石川忠明選手、オフショアは細谷、杉原組が総合優勝を飾った。また、F3000にはF850の葉山玲子選手が初参加し、参加15艇中10位の成績をおさめ、表彰式で特別賞が贈られた。

- ・オフショア総合優勝 細谷 公敏、杉原 豊(チームK、SGIレーシング)
- ・NT3000 1位 小峯 宏一(チーム1)
- ・NT850 1位 小林 英雄(スパイラルレーシング)
- ・F550 1位 村尾 高明(グランプリマリーンレーシング)
- ・F3000 1位 石川 忠明(芦ノ湖レーシング)

F3000クラスシリーズ戦 シリーズチャンピオン 石川忠明(芦ノ湖レーシング)

水上スキー

第42回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成8年7月26日～28日 滋賀県草津市(琵琶湖)で、64名の選手が参加して実施した。

初日に行われた男子スラローム競技予選で、栗沢祐行選手(静岡)が13mのショートロープで1.5ブイをクリアして日本記録を更新した。女子ではトリックで上鶴麻夕子(東京)が2,810点の日本新記録で種目別優勝を果たした。



総合優勝 男子

女子

内山 剛	長野	2,421.67点	高橋 真由子	学生連盟	2,544.75点
------	----	-----------	--------	------	-----------

第41回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成8年8月23日～25日 全日本学生水上スキー選手権大会組織委員会[(財)マリンスポーツ財団、日本水上スキー連盟、全日本学生モーターボート水上スキー連盟]主催により、千葉県小見川町水上スキーセンターで、12大学89名の選手が参加して実施した。

男子1部校では、スラローム、トリック、ジャンプとも1位を確保した慶応義塾大学が3年ぶりの総合優勝を果たした。女子は、立教大学が総合優勝4連覇を果たした。

女子のトリックでは、竹田選手が2,820点で日本記録を更新した。

- 男子 総合優勝 慶応義塾大学 2位 立教大学 3位 学習院大学
- 女子 総合優勝 立教大学 2位 明治学院大学 3位 法政大学



ジェットスポーツ

スピード記録会

平成8年11月15日～17日 茨城県潮来町の常陸利根川コースで、パワーボート10隻、ジェットスポーツ2隻が参加し実施した。

パワーボートにおいて3種目の日本新記録、ジェットスポーツにおいて世界新記録が樹立された。

ジェットスポーツ 世界記録

クラス	選手名	チーム	記録
SPORT 785MOD	市田 光司	HI-COMP	85.17Km/h



世界新記録を樹立した市田選手

日本記録

SKI 785LTD	中島 修士	HI-COMP	81.45Km/h
------------	-------	---------	-----------

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を6戦実施し、延べ2,132名の選手が参加した。

第1戦	4月13日・14日	沖縄恩納村
第2戦	5月11日・12日	和歌山白浜町
第3戦	6月22日・23日	三国サンセットビーチ
第4戦	8月 3日・ 4日	大阪泉佐野市
第5戦	8月24日・25日	富津市
第6戦	9月21日～23日	琵琶湖志賀町



'96 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズランキング

A RUNABOUT 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	山田 保	AUTO BUSINESS RACING TEAM
2位	星野 正明	DO SPEED FACTORY RACING
3位	元山 誠司	レークフリッパーマリンスポーツクラブ

A SPORT 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	原 敬三	MERRY MAX
2位	紅矢 俊栄	TEAM BULLETT
3位	脇田 駒春	DECK MD RACING

A SKI 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	竹野下正治	チーム兜(KABUTO)
2位	青山 研一	X・RACING by YAMAKOH
3位	武内 英夫	JRI

A WOMEN SKI 785 LTD

1位	尾澤 聖子	RACING CLUB SANWA
2位	田北 和代	Dino Racing
3位	岡野 まゆみ	TEAM FINAL-ZONE

FREE STYLE

1位	荻野 広行	浜名湖ジェットスキークラブ
2位	加藤 賢一	シーゼットレーシング
3位	中田 正樹	HOT-LINE RACING



リージョナルシリーズ

リージョナルシリーズ戦を5戦実施し、トップライダーを目指す若者や、ジェットスポーツ愛好家延べ1,946名の選手が参加した。(小見川、氷見、伊豆弓ヶ浜、泉佐野マーブルビーチ、富浦)

ソーラー & 人カボート

‘96 浜名湖ソーラー & 人カボートレース大会

平成8年8月10日・11日 静岡県浜名湖競艇場で、マリンスポーツ財団、浜名湖ソーラー協会主催で実施した。大会には、学生が主体にソーラーボート14隻、人カボート34隻(計47隻)が参加した。

ソーラーボート部門では、大会4連覇中のローランドディーシーのローランドソーラー研究会が製作したSoland号が1時間耐久レース部門及び200mスピードレース部門を完全制覇して5連覇を果たした。人カボート部門では、コギトチームのコギト3.5号と中之郷RCのSUPER PHOENIX号が200mスピードレース部門の準決勝で大会新記録をマーク。決勝では、地力に勝るコギト3.5号が総合優勝に輝いた。

ソーラーボート部門

人カボート部門

順位	艇名	チーム	順位	艇名	チーム
1	Soland	ローランドソーラー研究会	1	COGITO3.5	コギト
2	Golden Eagle III	金沢工業大学夢工房ソーラーボートチーム	2	SUPER PHOENIX	中郷RC
3	KOKUZO	Sanshin Harmony ‘96	3	PHOENIX V	中郷RC

1997(平成9)年度

モーターボート(OSP)

第15回全日本OSP(K400)選手権大会

平成9年11月8日 愛知県碧南市日本モーターボート選手会常設訓練所で、年間成績上位26名の選手が参加して開催。

1位 佐藤 郁雄(岡南モーターボート)



モーターボート(パワーボート)

横須賀パワーボートグランプリ

平成9年7月26日・27日 神奈川県横須賀市の猿島前水面で開催。

首都圏におけるオフショアシリーズの大会として初めて、Vからオフショアシリーズまで5クラスに29名(23隻)の選手が参加した。

・OFF3 45分耐久レース

高橋 敏光、岩本 昌明(リキレーシング)



第10回瀬戸内ローズカップ

平成9年9月20日 21日 岡山県福山市で、フォーミュラからオフショアの11クラスに73名(44隻)の選手がエントリーしたが、大会初日に人身事故(土屋広太郎選手)が発生し、関係者と協議のうえ大会を中止することとなった。

小見川耐久 レース

平成10年3月21日・22日 千葉県小見川町で開催。ジェットスポーツとパワーボートの計5クラスに87名(44隻)がエントリーして開催。ジェットスポーツとパワーボートの複合的な大会は、国内初。

オフショア・サーキットレース

第24回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成9年12月6日 神奈川県芦ノ湖で開催。

F3000 を制したのは、年間を通じて絶好調だった氏家憲治選手(チーム1)。OSY400 クラスでは、1位から3位までを芦ノ湖レーシングチームが独占した。

優勝

クラス	選手名	チーム
N T 3 0 0 0	黒田 賀久	武蔵モーターボートクラブ
N T 8 5 0	小林 英雄	スパイラルレーシング
F 5 5 0	岩淵 寿雄	トーハツモーターボートクラブ
F 3 0 0 0	氏家 憲治	チーム1
オフショア総合	細谷 公敏／松賀 直人	チームK

F3000クラスシリーズ戦

潮来、諏訪湖、沖縄、いわき、牛堀、芦ノ湖の6ヶ所で実施。

シリーズ順位	選手名	チーム	ポイント
1 位	氏家 憲治	チーム1	99
2 位	杉原 豊	SGIレーシング	71
3 位	石川 忠明	芦ノ湖レーシング	61

水上スキー

第43回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

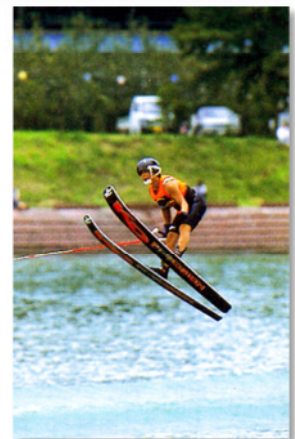
平成9年8月8日～10日 長野県上水内郡信州新町(ろうかく湖)で、77名の選手が参加して実施した。本大会で注目されたのは、7月に行われたフロリダでの大会でトリック4,270点を出した栗沢祐行選手。周囲の期待どおり、男子トリック決勝でバックフリップを決め4,060点の高得点をマーク、1位に輝いた。ジャンプでは内山剛選手に1位をゆずるものの、スラロームでも1位を獲得し、総合優勝を飾った。

女子は、ジャンプで圧倒的な強さを見せた今年社会人1年目の高橋真由子選手が2年連続の総合優勝を果たした。

総合優勝 男子

女子

栗沢祐行	静岡	2,914.63点	高橋真由子	山梨	2,293.11点
------	----	-----------	-------	----	-----------



第 42 回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会



平成9年8月22日～24日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、12大学102名の選手が参加して実施した。男子1部校では慶応義塾大学が連覇を達成、女子は僅差で明治学院大学が優勝した。

男子 総合優勝 慶応義塾大学 2位学習院大学 3位日本大学
 女子 総合優勝 明治学院大学 2位法政大学 3位日本大学

ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,707名の選手が参加した。

第1戦	4月 5日・6日	銚子市
第2戦	5月17日・18日	小見川町利根川
第3戦	6月14日・15日	三国サンセットビーチ
第4戦	7月26日・27日	大阪泉佐野市
第5戦	9月26日～28日	大阪田尻町マーブルビーチ



‘97 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズランキング

A RUNABOUT 785 MOD

A SPORT 785 MOD

順位	選手名	ポイント	順位	選手名	ポイント
1位	山田 保	164	1位	脇田 駒春	128
2位	砂盃 肇	106	2位	原 敬三	119
3位	松浦 章人	103	3位	紅矢 俊栄	102

A SKI 785 MOD

A WOMEN SKI 785 LTD

順位	選手名	ポイント	順位	選手名	ポイント
1位	北田 誠	129	1位	横田 絵海	144
2位	玉田 淳	115	2位	赤松 繭美	117
3位	片山 司	110	3位	嶋本 清美	117

FREE STYLE

順位	選手名	ポイント
1位	荻野 広行	165
2位	中田 正樹	150
3位	藤沢 正雄	107



二色の浜スラローム大会

平成9年10月19日、大阪府貝塚市において、85名を対象に実施した。

スタジアムシリーズ

競艇場を使用したスタジアムシリーズ戦を初めて2戦実施し、延べ47名が参加した。

第1戦	11月8日・9日	津競艇場
第2戦	11月23日	桐生競艇場

リージョナルシリーズ

リージョナルシリーズ戦を4戦実施し、延べ1,135名の選手が参加した。銚子、三国、富浦、田尻

ソーラー & 人カボート

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成9年8月23日・24日 静岡県湖西市ヤマハマリーナ浜名湖で、ソーラーボート16隻、人カボート27隻(計43隻)が参加して実施した。

人カボートにおいて、世界記録を樹立。

ソーラー 480W/200スピードレース



順位	チーム	船名	記録
1位	ローランドソーラー研究会	SOLAND	19.95秒
2位	サンシャインハーモニー'97	二代目虚空蔵	32.27秒
3位	JRCソーラーボートチャレンジの会	そうらのむべい97	34.29秒

人カ 100m ダッシュ記録挑戦レース世界記録

船名	船体形式	記録
スーパーフェニックス	水中翼モノハル側浮舟	9.99秒

1998(平成10)年度

モーターボート(K400)

第16回全日本K400選手権大会

平成10年11月8日 愛知県碧南市日本モーターボート選手会常設訓練所で、年間成績上位の26名の選手が参加して開催。1位 村上 竜也(知多レーシング)

モーターボート(パワーボート)

第11回瀬戸内ローズカップ

平成10年6月6日・7日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。フォーミュラからオフショアの6クラスに58名(38隻)の選手が参加した。

オフショアクラスでは、毎回親子で参加する三木智充、和彦選手がスタート直後から快調に飛ばし、他を圧倒する速さで総合優勝した。Vクラスは中盤からスピードが冴えた松賀直人選手(チームK)が総合優勝を果たし、F550クラスは伊藤勝巳選手が制した。

・オフショアクラス 三木 智充、三木 和彦(カイトジャパン)



横須賀パワーボートグランプリ

平成10年7月19日・20日の両日 神奈川県横須賀市の猿島前水面で開催。Vシリーズからオフショアシリーズまでの4クラスに22名(15隻)の選手が参加した。

総合優勝 OFF2 細谷 公敏、松賀 直人(チームK)

- ・OFF3優勝 北村・和田組(マーチレーシング)
- ・V3000優勝 黒田賀久(ボースンモーターボートレーシング)
- ・V850 優勝 本間裕幸(浜松パワーボートクラブ)

スピード記録会

平成10年11月13日～15日 千葉県小見川町黒部川で、パワーボート5隻、ジェットスポーツ5隻が参加して実施した。パワーボートは3つの日本新記録が、ジェットスポーツは1つの世界新記録及び3つの日本新記録が樹立された。



パワーボート 日本記録

F 5 5 0	上田 美和	TEAM COLT	108.91Km/h
O 3 0 0 0	杉原 豊	S.G.Iレーシング	208.27Km/h
V 3 0 0 0	吉川 修一	東海マリンクラブ	141.80Km/h

オフショア・サーキットレース 第25回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成10年12月5日 神奈川県芦ノ湖で開催。

優勝

O S Y 4 0 0	志村 勝義	芦ノ湖レーシング
F 5 5 0	上田 美和	TEAM COLT
F 3 0 0 0	石川 忠明	芦ノ湖レーシング
オフショア総合	細谷 帝寿、千田 桂一郎	チームK



グリーンカップを獲得した細谷、千田選手



F3000クラスシリーズ戦

シリーズチャンピオン 石川忠明 (芦ノ湖レーシング)

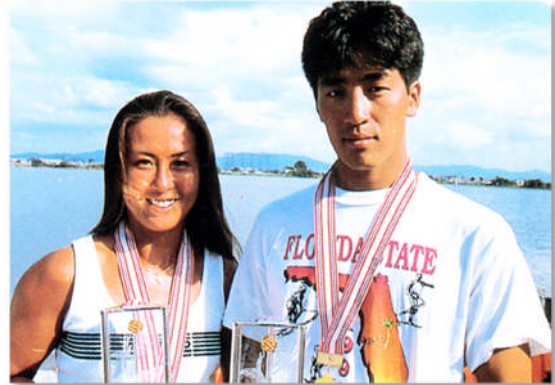


第44回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成10年8月7日～9日 滋賀県草津市(琵琶湖)で85名の選手が参加して実施した。

男子は、栗沢祐行選手がスラロームでただ一人13mの滑りを披露し優勝。トリックでは学生連盟の鶴木三郎選手が優勝。ジャンプでは、内山剛選手が40.3mを飛び優勝した。

総合では、栗沢選手が2年連続総合優勝に輝いた。女子は、津田薫選手がトリック、ジャンプで1位を取り、スラローム決勝で竹田恵理選手に1位を譲ったものの、加算点3,000点で5年ぶりに総合優勝を果たした。



総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	2,785.9点	津田 薫	山梨	3,000点
-------	----	----------	------	----	--------

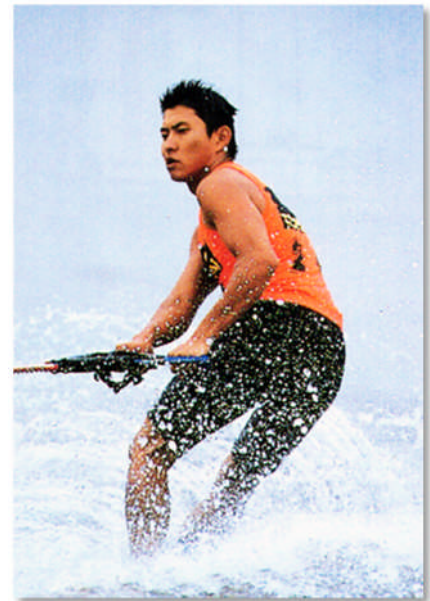
第43回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成10年8月21日～23日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、11大学146名の選手が参加して実施した。

強豪ぞろいで競技は白熱、その中で男子は一步リードの慶応義塾大学が3連覇を達成。女子は学習院大学との競り合いを制した日本大学が優勝した。

男子 総合優勝 慶応義塾大学

女子 総合優勝 日本大学



スピード記録会

平成10年11月13日～15日 千葉県小見川町黒部川で、パワーボート5隻、ジェットスポーツ5隻が参加して実施した。パワーボートは3つの日本新記録が、ジェットスポーツは1つの世界新記録及び3つの日本新記録が樹立された。

ジェットスポーツ 世界記録

R/A 785LTD	鈴木 啓一朗	利根川クラブ	96.86Km/h
SPO 785LTD	女良 全利	岬マリーン	87.19Km/h

日本記録

R/A 785LTD	鈴木 啓一朗	利根川クラブ	96.86Km/h
SPO 785LTD	女良 全利	岬マリーン	87.19Km/h
SPO 785MOD	小池 孝治	チーム・ホワイト	88.99Km/h

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,829名の選手が参加した。この年から予選にタイムトライアルを採用した。

第1戦	4月17日・19日	小見川町利根川
第2戦	5月16日・17日	愛知県南知多町内海海岸
第3戦	6月12日～14日	三国サンセットビーチ
第4戦	8月28日～30日	銚子市名洗港マリーナ
第5戦	9月25日～27日	大阪田尻マールビーチ



'98ジェットスポーツ全日本選手権シリーズランキング

A RUNABOUT 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	星野 正明	DO SPEED FACTORY RACING
2位	松浦 章人	JAZZ&YAMAKEI
3位	砂盃 肇	TEAM SCREW



A SPORT 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	脇田 駒春	DECK MD RACING
2位	原 敬三	MERRY MAX
3位	入江 和弘	MERRY MAX



A SKI 785 MOD

順位	選手名	チーム
1位	菊池 裕二	TEAM QUICK UP
2位	玉田 淳	RACING CLUB SANWA
3位	渡辺 秀広	Team L&B



A WOMEN SKI 785 LTD

順位	選手名	チーム
1位	尾澤 聖子	RACING CLUB SANWA
2位	横田 絵海	グリーンクラブwith R&D
3位	嶋本 清美	TEAM JET WIN'S



FREE STYLE

順位	選手名	チーム
1位	藤澤 正雄	TEAM PAL-UP
2位	山元 宗博	OGURI RACING
3位	望月 信幸	Shizuoka Funky Jam



スタジアムシリーズ

スタジアムシリーズ戦を、桐生競艇場と常滑競艇場で実施し、延べ62名の選手が参加した。

リージョナルシリーズ

リージョナルシリーズ戦を4戦実施し、延べ1,040名の選手が参加した。

富津、石川県内灘、田尻、富浦

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成10年8月22日・23日 静岡県浜名湖競艇場で、ソーラーボート18艇、人カボート30艇が参加して実施した。

参加者は、東大、金沢工業大学などの大学の理工学部や高校の研究サークル、企業内グループや一般家庭、友人同士などさまざまで、今回はアメリカから2大学のグループも参加して国際色ある大会となった。また、少年少女を対象にソーラーパネルを使用した模型ボートレースを実施し、以後、毎回この子供対象のソーラーボートレースは続いている。



1999(平成11)年度

モーターボート(K400)

第17回全日本K400選手権大会

平成11年11月6日・7日 愛知県碧南市日本モーターボート選手会常設訓練所で、年間成績上位31名の選手が参加して開催。

2日間の日程で予選、選抜戦、決勝戦の計23レースが行われ、決勝レースでは、ベテラン佐藤選手がスタートから逃げ切り3度目の全日本選手権タイトルを手にした。

1位 佐藤 郁雄(岡南モーターボートクラブ)

2位 前田 秀明(知多レーシング) 3位 池田 貴顕(知多レーシング)

モーターボート(パワーボート)

横須賀パワーボートグランプリ

平成11年7月17日・18日 神奈川県横須賀市の猿島前水面で開催。Vシリーズからオフショアシリーズまでの5クラスに26名(16隻)の選手が参加した。

本大会から、新たに大型艇のOFF1、OFF OPENクラスも設けられ、例年に比べより豪快なレース展開となった。そのなか、OFF OPENクラスに出場した艸川典宏、橋本善勝組(KEレーシング)が、ベテランらしい落ち着いた走り で他を圧倒。始終安定した走り で総合優勝を獲得した。

また、常連のベテラン勢に混じって新人の活躍も目立ち、OFF1クラスの大膳信宏、細野宏光組(芦ノ湖レーシングクラブ)が、このレースに初参加ながら総合4位に入る堂々とした走りを見せてくれた。

総合優勝 OFFOPEN 艸川 典宏、橋本 善勝(KEレーシング)

2位 OFF1 藤井貢、松岡政文(尾道レーシング)

3位 OFF2 吉原秀明、川原忠夫(チームアベンジャー)

体験乗船会には、福祉施設の児童等630名が参加した。



第12回瀬戸内ローズカップ

平成11年9月11日・12日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。フォーミュラからオフショアの6クラスに60名(39隻)の選手が参加した。F550クラスでは、ルーキーの女性ドライバー高瀬典子選手(アサヒレーシング)が初出場にして優勝をものにした。また、オフショアクラスでも新人の参加が目立ったが、歴戦に勝る鎌田充、橋本善勝組(KEレーシング)が総合優勝を勝ち取った。

・オフショアクラス

OFFOPEN 鎌田 充、橋本 善勝(KEレーシング)

・F550クラス 高瀬 典子(アサヒレーシング)



第3回日本グランプリパワーボートレース in 木曽川

平成11年10月16日・17日 愛知県弥富町の木曽川で開催。フォーミュラからオフショアまでに42隻が参加した。

・オフショアクラス総合／60分耐久レース

OFF2 艸川 典宏 (KEレーシング)、
杉原 豊 (K.R.S.レーシング)

・F3000／30周サーキットレース

谷口 洋司 (チームアルカディア)

・F550クラス

村尾 俊明 (グランプリマリーナレーシング)



オフショア・サーキットレース 第26回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成11年12月3日・4日 神奈川県芦ノ湖で開催。ハイドロ、フォーミュラ、Vまでの4クラスに45名 (45隻)の選手が参加した。なお、この年から Aコースがなくなった。

優勝

クラス	選手名	チーム
O S Y 4 0 0	黒澤俊之	ヤマトモーターボート
V 8 5 0	小林英雄	スパイラルレーシング
F 5 5 0	小西哲也	チームコルト
F 8 5 0	荻沼 勝	涸沼レーシング



F3000クラスシリーズ戦

諏訪湖、浜名湖、いわき、牛堀の4ヶ所で開催。延べ56名の選手が参加した。

シリーズ順位	選手名	チーム	ポイント
1 位	石川 忠明	芦ノ湖レーシング	53
2 位	石川 忠之	芦ノ湖レーシング	41
3 位	杉浦 伊豆美	チーム1	32



水上スキー

第44回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成11年8月20日～22日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、10大学84名の選手が参加して実施した。

男子は、安定した実力を発揮した慶応義塾大学が4連覇を達成。女子は学習院大学が全種目制覇で11年ぶりの完全優勝を果たした。

男子 総合優勝 慶応義塾大学 2位 学習院大学 3位 立教大学
女子 総合優勝 学習院大学 2位 慶応義塾大学 3位 法政大学

第45回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成11年8月26日～29日 秋田県大潟村水上スキー場で、68名の選手が参加して東北地区で初めて開催した。

男子は、接戦の末、鶴木三郎選手が初の総合優勝。女子は津田薫選手が貫録の2連覇を達成。

総合優勝 男子

女子

鶴木 三郎	学生連盟	2,664.94点	津田 薫	山梨	2,571.42点
-------	------	-----------	------	----	-----------



ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,249名の選手が参加した。

また、この年から全日本フリースタイル選手権シリーズ戦を開始、5戦実施し、延べ174名の選手が参加した。この年以降、スタジアムシリーズとリージョナルシリーズは分離して、単独で行われるようになった。



クローズドコース競技

第1戦	5月21日~23日	三国サンセットビーチ
第2戦	6月18日~20日	富浦町多田良北浜海岸
第3戦	7月23日~25日	大阪田尻マーブルビーチ
第4戦	8月27日~29日	小見川町利根川
第5戦	9月17日~19日	大阪田尻マーブルビーチ

全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月 8日・9日	諏訪湖
第2戦	5月29日・30日	横浜みなとみらい21
第3戦	7月17日・18日	銚子市名洗港
第4戦	8月29日	小見川町利根川
第5戦	9月19日	大阪田尻マーブルビーチ

'99 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズチャンピオン

- ・ A RUNABOUT 785 MOD 藤江 功一 (ZEAL Racing)
- ・ A SPORT 785 MOD 井上 信男T (EAM KEY WEST)
- ・ A SKI 785 MOD 玉田 淳 (RACING CLUB SANWA)
- ・ A WOMEN SKI 785 LTD 植原 美鈴 (SAITO RACING)
- ・ FREE STYLE 藤澤 正雄 (TEAM Bro HYMN)

ソーラー & 人カボート

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成11年8月28日・29日 静岡県三ヶ日町青年の家(浜名湖)で、ソーラーボート20隻、人カボート22隻、ハイブリッドボート1隻(計43隻)が参加して実施した。

ソーラーと人カエネルギーを併用したハイブリッド艇が参加した。



2000(平成12)年度

モーターボート(K400)

第18回全日本K400選手権大会

平成12年11月4日・5日 愛知県碧南市
日本モーターボート選手会常設訓練所
で、年間成績上位36名の選手が参加
して予選、選抜戦、優勝戦の計26レース
を開催。ベテランの佐藤郁雄選手が2連
覇を達成した。



- 1位 佐藤 郁雄(岡南モーターボートクラブ)
- 2位 松永 一志(北九州モーターボートクラブ)
- 3位 富田 忠行(知多レーシング)

モーターボート(パワーボート)

第4回日本グランプリパワーボートレース in 木曾川

平成12年6月10日・11日 愛知県弥富町の木曾川で開催。フォーミュラからオフショアまでに39隻が参加した。

F550は、村尾選手がチャンピオンらしい安定した走りで優勝。
2000年シリーズ第3戦となるF3000クラス30周サーキットレースでは、好スタートを切った石川忠明選手が圧倒的な速さでトップフィニッシュ。また、オフショア全クラスによる60分耐久レースは総勢20艇で行われ、参加艇の中で最も大きなOFFOPENクラスの艸川典宏、橋本善勝選手の組が始終安定した走りで総合優勝を果たした。



- ・オフショアクラス総合/60分耐久レース OFFOPEN 艸川 典宏、橋本 善勝(KEレーシング)
- ・F3000/30周サーキットレース 石川 忠明(芦ノ湖レーシング)
- ・F550クラス 村尾 俊明(グランプリマリーンレーシング)

横須賀パワーボートグランプリ

平成12年7月22日・23日 神奈川県横須賀市の猿島前水面で開催。Vシリーズからオフショアシリーズまでの5クラスに31名(18隻)の選手が参加した。

総合上位成績

- 1位 OFF OPEN 艸川 典宏、橋本 善勝 (KEレーシング)
- 2位 OFF2 細野 宏光、藤室 昭 (ガディスレーシングチーム)
- 3位 OFF2 吉原 秀明、服部 三喜男 (チームアベンジャー)

体験乗船会には、福祉施設の児童等725名が参加した。

第13回瀬戸内ローズカップ パワーボートレース

平成12年9月23日・24日 岡山県福山市の瀬戸内海で開催。フォーミュラからオフショアの9クラスに73名(49隻)の選手が参加した。

オフショアクラス60分耐久レースには全33艇が出走し、6月の木曾川、7月の横須賀

に続き舩川典宏、橋本善勝選手(KEレーシング)の組がチェッカーフラッグを受け、すべてのオフショアレースを制して、総合優勝を果たした。

1位 F550クラス 赤井 清(KEレーシング)

1位 F3000クラス 大川 雄三(Team GOODIES)

オフショア全クラス

1位 OFFOPEN 舩川 典宏、橋本 善勝(KEレーシング)



オフショア・サーキットレース

第27回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成12年12月1日・2日 神奈川県芦ノ湖で開催。

ハイドロ1種目、フォーミュラ3種目の4クラスのシリーズ最終戦に43名(43隻)の選手が参加した。

フォーミュラのエントリークラスとして人気のF550には、近年女性選手の出場も多くなってきたが、芦ノ湖の最終戦でも13名のエントリー中、3名の女性選手が顔をそろえ、涸沼レーシングの荻沼由香里選手がトップでフィニッシュを飾った。

優勝

クラス	選手名	チーム
OSY400	野村 和広	ヤマトモーターボート
F 5 5 0	荻沼由香里	涸沼レーシング
F 8 5 0	渡辺 修	チーム1
F 3 0 0 0	石川 忠明	芦ノ湖レーシング



F3000クラスシリーズ戦

諏訪湖、浜名湖、木曾川、牛堀、福山、芦ノ湖の6ヶ所で開催。延べ58名の選手が参加した。

不参加だった第5戦を除く5戦すべてを優勝で飾った石川忠明選手がシリーズ戦3連覇を飾った。

シリーズチャンピオン 石川忠明 (芦ノ湖レーシング)

	選手名	チーム
第1戦	石川忠明	芦ノ湖レーシングクラブ
第2戦	石川忠明	芦ノ湖レーシングクラブ



第3戦	石川忠明	芦ノ湖レーシングクラブ
第4戦	石川忠明	芦ノ湖レーシングクラブ
第5戦	大川雄三	TEAM GOODIES
第6戦	石川忠明	芦ノ湖レーシングクラブ

水上スキー

第45回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

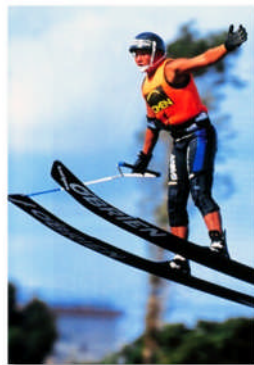
平成12年8月18日～20日 千葉県小見川町黒部川水上スキーセンターで、9大学124名の選手が参加して施した。この大会は個人成績を競うだけでなく、各大学対抗戦の形で総合優勝校に桂宮杯が授与される。選手は母校の勝利を信じて競技、応援となり、会場の雰囲気も個人成績だけを競う他の水上スキー大会とは違い独特なものがある。今大会では、男子部門が5年連続、女子部門が13年ぶりに慶応義塾大学が総合優勝を果たした。



男子 総合優勝 慶応義塾大学 2位 立教大学 3位 日本大学
 女子 総合優勝 慶応義塾大学 2位 学習院大学 3位 立教大学

第46回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成12年9月8日～10日 千葉県小見川町黒部川水上スキーセンターで開催した。この大会は、国内のトップレベルの選手がエントリーするオープンクラスのほか、15歳未満のジュニアⅠクラス、19歳未満のジュニアⅡクラス、35歳以上50歳未満のシニアⅠクラス、50歳以上のシニアⅡクラスと、選手の年齢によりクラス分けされており、この大会には84名の選手が参加し熱戦を繰り広げた。また、男女の総合優勝者を2001年ワールドゲームズの日本代表として選出した。



総合優勝 男子

女子

鶴木 三郎	東京	2,689.4点	岩崎 麻里	学生連盟	2,601.7点
-------	----	----------	-------	------	----------

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,197名の選手が参加した。
また、全日本フリースタイル選手権シリーズ戦を5戦実施し、延べ177名の選手が参加した。

クローズドコース競技

第1戦	5月26日~28日	三国サンセットビーチ
第2戦	6月23日~25日	銚子マリーナ海水浴場
第3戦	7月21日~23日	大阪田尻マーブルビーチ
第4戦	8月25日~27日	富浦町多田良北浜海岸
第5戦	9月22日~24日	大阪田尻マーブルビーチ



全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月13日・14日	諏訪湖
第2戦	6月4日	横浜みなとみらい21
第3戦	7月1日・2日	柏崎みなとまち海浜公園
第4戦	7月22日・23日	大阪田尻マーブルビーチ
第5戦	9月22日~24日	大阪田尻マーブルビーチ



年間シリーズチャンピオン

		A級	B級
SKI		菊池 裕二 TEAM QUICK UP	杉谷 篤志 UNBIEN RACING
WOMEN SKI		尾澤 聖子 RACING CLUB SANWA	碩 亜由美 Hi-COMP
SPORT		山下 国秀 AMC Racing	村上 洋 KHK Racing
RUNABOUT	785SLTD	長島 博文 DO SPEED FACTORY RACING	湯浅 正広 TEAM HOLLYWOOD PARTY
	1200STK		渡邊 和彦 TEAM WPS JAPAN
FREE STYLE		村尾 高明 Team RAM	

ソーラー & 人カボート

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成12年8月26日・27日 静岡県浜名湖競艇場で、ソーラーボート18隻、人カボート19隻、ハイブリッドボート2隻、(計39隻)が参加して実施した。体験乗船会(240名参加)を併せて実施した。

各種目上位

ショートレース 200m

順位	艇名	クラス	チーム
1位	今切2000	ソーラー	CAPTAIN LAKE HAMANA
2位	フェニックス	人カ	ポルコロツソ城之崎
3位	COGITO'00	人カ	コギト



一周スラローム

順位	艇名	クラス	チーム
1位	今切2000	ソーラー	CAPTAIN LAKE HAMANA
2位	フェニックス	人カ	ポルコロツソ城之崎
3位	COGITO'00	人カ	コギト

30分耐久

順位	艇名	クラス	チーム
1位	フェニックス	人カ	ポルコロツソ城之崎
2位	エスペラン	人カ	ひょうたん島
3位	STAR坊主	人カ	吉田山コケターズ

1時間耐久

順位	艇名	クラス	チーム
1位	Golden Eagle	ソーラー	金沢工業大学夢工房ソーラーボートプロジェクト
2位	COGITO'00	人カ	コギト
3位	SOLAND	ソーラー	ローランドソーラー研究会



2001(平成13)年度

モーターボート(K400)

第19回全日本K400選手権大会

平成13年11月3日・4日 愛知県碧南市日本モーターボート選手会常設訓練所で、年間成績上位34名の選手が参加して開催。

1位 永瀬 誠(宇多津レーシングクラブ)



モーターボート(パワーボート)

第5回日本グランプリパワーボートレース in 木曽川

平成13年6月2日・3日 愛知県弥富町の木曽川で開催。フォーミュラからオフショアまでに44名(35隻)が参加した。

- ・Aコース総合 艸川 典宏、橋本 善勝 (KEレーシング)
- ・F3000 大川 雄三 (TEAM GOODIES)
- ・F550 赤井 清 (KEレーシング)



オフショア・サーキットレース 第28回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成13年12月1日・2日 神奈川県芦ノ湖で開催。ハイドロ、フォーミュラに43名(43隻)の選手が参加した。

優勝

OSY400	横山 太一	芦ノ湖レーシング	F850	渡辺 修	チーム1
F550	三井 明	チーム・コルト	F3000	大川雄三	TEAM GOODIES

F3000クラスシリーズ戦

諏訪湖、浜名湖、木曽川、牛堀、芦ノ湖の5ヶ所で開催。延べ38名の選手が参加した。

シリーズチャンピオン 大川雄三 (TEAM GOODIES)



水上スキー

第46回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成13年8月16日～19日 名誉総裁桂宮殿下のご臨席を得て、千葉県小見川町水上スキーセンターで、9大学87名の選手が参加して実施した。

男子 総合優勝 慶応義塾大学

女子 総合優勝 学習院大学

第47回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成13年9月21日～24日 滋賀県草津市琵琶湖で、81名の選手が参加して開催した。ジュニアクラス(高校生以下)に出場した9名の選手全員が自己記録を更新。

総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	2,837.39点	岡迫 忍	京都	2,602.94点
-------	----	-----------	------	----	-----------



ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,312名の選手が参加した。また、全日本フリースタイル選手権シリーズ戦を5戦実施し、延べ212名の選手が参加した。

クローズドコース競技

第1戦	5月25日～27日	三国サンセットビーチ
第2戦	6月22日～24日	大阪府サザンビーチ
第3戦	7月27日～29日	千葉県佐原市利根川
第4戦	8月24日～26日	柏崎みなとまち海浜公園
第5戦	9月28日～30日	銚子マリーナ海水浴場

全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月12日・13日	諏訪湖
第2戦	6月 3日	横浜みなとみらい21
第3戦	7月14日・15日	柏崎みなとまち海浜公園
第4戦	8月19日	蒲郡競艇場
第5戦	9月29日・30日	銚子マリーナ海水浴場



ソーラー & 人カボート

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成13年9月1日・2日 静岡県浜名湖競艇場で、ソーラーボート14隻、人カボート18隻、ハイブリッドボート4隻の計36隻が参加して実施した。



2002(平成14)年度

モーターボート(K400)

第20回全日本K400選手権大会

平成14年11月2日・3日 愛知県碧南市日本モーターボート選手会常設訓練所で、年間成績上位21名の選手が参加して開催。

1位 松永 一志(北九州モーターボート)



モーターボート(パワーボート)

第6回日本グランプリパワーボートレース in 木曽川

平成14年9月28日・29日 愛知県弥富町の木曽川で開催。フォーミュラからオフショアまでに32名(28隻)が参加した。

- ・Aコース/60分耐久レース OFF2 蓮池 和元、栗田 清史(KEレーシング)
- ・F3000・30周サーキット 石川 忠之(芦ノ湖レーシング)
- ・F550クラス 上田 美和(チーム・コルト)

オフショア・サーキットレース

第29回芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース

平成14年12月6日・7日 神奈川県芦ノ湖で開催。ハイドロ、フォーミュラに40名(40隻)の選手が参加した。



優勝

OSY400	大場征広	芦ノ湖レーシング	F850	渡辺 修	チーム1
F550	荻沼由香里	涸沼レーシング	F3000	石川忠明	芦ノ湖レーシング

F3000クラスシリーズ戦

諏訪湖、牛堀、木曾川、芦ノ湖の4ヶ所で開催。延べ34名の選手が参加した。
シリーズチャンピオン 大川雄三 (TEAM GOODIES)

水上スキー

第48回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成14年8月9日から11日まで千葉県小見川町黒部川において予選、9月14日から16日までの3日間滋賀県草津市の琵琶湖で決勝が、68名の選手が参加して開催した。
決勝はAA大会と同時開催。

総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	2,810.03点	岡田 葉子	学生連盟	2,711.8点
-------	----	-----------	-------	------	----------

第47回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成14年8月15日～18日 千葉県小見川町水上スキーセンターで、9大学63名の選手が参加して実施した。

男子 総合優勝 慶応義塾大学

女子 総合優勝 慶応義塾大学



ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

全日本選手権シリーズ戦(ジェットグランプリシリーズ)を5戦実施し、延べ1,199名の選手が参加した。
また、全日本フリースタイル選手権シリーズ戦を5戦実施し、延べ299名の選手が参加した。

クローズドコース競技

第1戦	5月25日・26日	銚子マリーナ海水浴場
第2戦	7月6日・7日	桐生競艇場
第3戦	8月3日・4日	千葉県佐原市利根川
第4戦	8月24日・25日	柏崎みなとまち海浜公園
第5戦	9月28日～30日	大阪府サザンビーチ



全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月18日・19日	蒲郡競艇場
第2戦	6月12日	二色の浜海浜公園
第3戦	7月13日・14日	柏崎みなとまち海浜公園
第4戦	8月31日・9月1日	和歌山マリーナシティ
第5戦	10月26日・27日	江ノ島海岸



ソーラー & 人カボート

ソーラー & 人カボート全日本選手権大会

平成 14 年 8 月 17 日・18 日 静岡県天竜市菅ボート場で、ソーラーボート 17 名(17 隻)、人カボート 30 名(19 隻)、ハイブリットボート 2 名(2 隻)計 49 名(38 隻)が参加して実施した。



2003(平成15)年度

モーターボート(K400)

K400クラス競技会

認定競技団体が実施する競技会の安全性の向上を図るため、次の4連盟の6競技会を共同で開催した。

期 日	競 技 会 名	主 催
4/27	2003 K400 第5回淡路島ちどり賞競走	徳島県マリンスポーツ連盟
6/ 7	2003 K400 全国選抜戦つつじ杯	愛知県マリンスポーツ連盟
6/14	第34回平成15年度岡山県K400競走	岡山県モーターボート連盟
6/15	第35回平成15年度岡山県K400競走	岡山県モーターボート連盟
6/21	第25回四国地区K400選手権競走第1戦	香川県マリンスポーツ連盟
6/22	第25回四国地区K400選手権競走第2戦	香川県マリンスポーツ連盟

第21回全日本K400選手権大会

平成 15 年 11 月 2 日・3 日 香川県丸亀市丸亀競艇場で、全国各地で開催された承認競技会(10 競技会)の成績上位者24名が参加して開催した。

優勝 池田 貴頭 (知多レーシング)

モーターボート(パワーボート)

サーキットクラス競技会

認定競技団体が実施する競技会の安全性の向上を図るため、次の競技会を主催、共同で開催した。



期 日	競 技 会 名	主 催
4/27	TOPS2003 第43回クラブ合同レース	東京都モーターボート連盟
5/10-11	パワーボートフォーミュラシリーズ in 諏訪湖	マリンスポーツ財団
6/15	TOPS2003 サーキットレース Round 1	東京都モーターボート連盟
7/27	TOPS2003 サーキットレース Round 2	東京都モーターボート連盟
8/23-24	パワーボートレース in うしぼり	マリンスポーツ財団
9/20-21	'03 日本グランプリパワーボートレース in 木曾川	愛知県マリンスポーツ連盟
10/19	TOPS2003 サーキットレース Round 4	東京都モーターボート連盟
12/5-6	第30回芦ノ湖グリーンカップパワーボートレース	神奈川県モーターボート連盟

2003 クラス別チャンピオン

- ・OSY クラス 大場征広 (芦ノ湖レーシングクラブ)
- ・F550 クラス 荻沼 勝 (涸沼レーシングクラブ)
- ・F850 クラス 渡辺 修 (チーム1)
- ・F3000 クラス 石川忠明 (芦ノ湖レーシングクラブ)

水上スキー

第48回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成15年8月22日～24日 秋田県大潟村(大潟村水上スキー場)において、大会名誉総裁桂宮殿下のご臨席を得て、地元秋田県水上スキー連盟及び全日本学生モーターボート・水上スキー連盟と共催で実施した。

本大会には、8大学68名(補欠11名を含む)が参加し、男子は福岡大学、女子は学習院大学がそれぞれ優勝し桂宮杯が授与された。

成 績	男 子	女 子
優 勝	福 岡 大 学	学 習 院 大 学
2 位	立 教 大 学	福 岡 大 学
3 位	慶 応 義 塾 大 学	立 教 大 学



第49回桂宮杯全日本選手権大会

平成15年9月12日～15日 秋田県大潟村(大潟村水上スキー場)で、第32回ジャパンオープンウォータースキートーナメントと併催して、地元秋田県水上スキー連盟及び日本水上スキー連盟と共催で実施した。本大会には、15連盟から54名が参加した。男子ジュニアクラスのジャンプ競技で正林上総(滋賀)が日本記録(30.2m)や、自己記録が多数更新され、選手の技能向上が見られた。



総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	2,849.87点	岡田 葉子	東京	2,676.15点
-------	----	-----------	-------	----	-----------

ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

「'03 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズ戦」各5戦を、日本ジェットスポーツ連盟と共催で実施し、クローズド及びフリースタイルそれぞれの国内の上級選手を中心とした延1,387名の選手が参加した。また、本シリーズ戦において、当シリーズ戦第4戦までの成績上位者のうち12名がアメリカで行われた世界選手権に参戦した。

その結果、プロフリースタイルクラスでは、初の優勝、女子スキークラスでは3位に入賞するなど、優秀な成績を収めた。



クローズドコース競技

第1戦	5月23日～25日	千葉県銚子マリーナ海水浴場
第2戦	6月27日～29日	長野県諏訪市諏訪湖
第3戦	7月25日～27日	愛知県蒲郡市海陽海浜公園
第4戦	8月22日～24日	新潟県柏崎みなとまち海浜公園
第5戦	9月12日～15日	大阪府泉南市サザンビーチ

全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月17日・18日	神奈川県横須賀市うみかぜ公園
第2戦	6月7日・8日	大阪府貝塚市二色の浜海浜公園
第3戦	7月12日・13日	新潟県柏崎市みなとまち海浜公園
第4戦	8月30日・31日	和歌山県和歌山市片男波海水浴場
第5戦	10月25日・26日	神奈川県藤沢市江ノ島海岸

ソーラー&人カボート

ソーラー&人カボートレース全日本選手権2003

平成15年8月30日・31日 静岡県浜名郡新居町浜名湖競艇場で、日本ソーラー・人カボート協会と共催で、ソーラーボート14名(14隻)、人カボート32名(20隻)、ハイブリッドボート3名(3隻)計49名(37隻)が参加して実施した。

また、青少年を対象にソーラーパネルキットを使用した模型ボートのレースを実施し 83名の小学生が参加した。

2004(平成16)年度

モーターボート(K400)

K400クラス競技会

地方連盟と共催し、次の7競技会を実施した。

期日	競技会名	主催
5/9	2004 K400 第6回淡路島ちどり賞競走	徳島県マリンスポーツ連盟
5/29・30	第25回四国地区K400選手権競走 第1戦 第2戦	香川県マリンスポーツ連盟
6/19・20	第35回平成16年度岡山県K400競走 第36回平成16年度岡山県K400競走	岡山県モーターボート連盟
11/6・7	第3回K400九州地区選手権競走 第1戦 第2戦	福岡県マリンスポーツ連盟



第22回全日本K400選手権大会

平成16年10月23日・24日 岡山県児島競艇場で開催した。本大会には、当財団が承認した地区大会における年間成績上位者から選手を選考し、23名が参加した。

優勝 槻岡 秀雄 (利根モーターボートクラブ)

モーターボート(パワーボート)

サーキット競技会

ハイドロ・フォーミュラクラスの小型艇を対象とした競技会を、茨城県鹿島郡神栖町常陸利根川において、東京都モーターボート連盟と共催により4回実施した。本競技会へは延70隻が参加した。

期日	競技会名	主催
4/25	TOPS2004 in 鹿島 第44回クラブ合同レース	東京都モーターボート連盟
6/13	TOPS2004 in 鹿島 サーキットレース Round 1	
9/26	TOPS2004 in 鹿島 サーキットレース Round 2	
10/24	TOPS2004 in 鹿島 サーキットレース Round 3	

第31回芦ノ湖グリーンカップパワーボートレース

平成16年12月3日・4日 神奈川県箱根町芦ノ湖において、神奈川県モーターボート連盟と共催で、競艇クラス以外の小型艇クラスの全日本シリーズチャンピオンを決定する競技会として、「第31回芦ノ湖グリーンカップパワーボートレース」を開催した。

大会には、フォーミュラ(F3000・F850・F550)クラス及びOSY400クラスから32隻が参加した。OSY400クラスについては、天候不良により中止となった。

水上スキー

第49回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成16年8月20日～22日 秋田県大潟村において、全日本学生モーターボート・水上スキー連盟、日本水上スキー連盟及び秋田県水上スキー連盟と共催で、大会名誉総裁桂宮親王殿下のご臨席を賜り、「第49回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会」を開催し、昨年学生連盟に加盟した徳島文理大学や初の試みとしてオープン参加による日本歯科大学も加わり、10大学79名(補欠11名を含む)の選手が参加した。

男子 総合優勝 学習院大学

女子 総合優勝 福岡大学



第50回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成16年9月18日～20日 秋田県大潟村において、日本水上スキー連盟及び秋田県水上スキー連盟と共催で、「第50回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会」を開催し、65名の選手が参加した。大会は、男子オープンクラスのトリック競技において栗沢祐行(静岡)が日本新記録5,810点を、女子オープンクラスのジャンプ競技において12年ぶりに高橋真由子(山梨)が35.6mの大会新記録を更新する等好成績を収めた。

総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	2,933.58点	鳥海 絢	学生連盟	2,120.22点
-------	----	-----------	------	------	-----------

ジェットスポーツ

ジェットスポーツグランプリシリーズ

国内の上級選手を中心とした、「'04 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズ戦」を、日本ジェットスポーツ連盟と共催により全5戦を実施し、延1,192名の選手が参加した。

また、米国で開催された世界選手権に、本シリーズ第4戦までの成績上位者から選抜した8名が参加した。その結果、プロスキークラスで第2位、プロリースタイルクラスで第3位など、優秀な成績を収めることができた。



クローズドコース競技

第1戦	5月28日～30日	和歌山県和歌山市片男波海水浴場
第2戦	6月25日～27日	千葉県銚子マリーナ海水浴場
第3戦	7月23日～25日	愛知県蒲郡市海陽海浜公園
第4戦	8月20日～22日	新潟県柏崎市みなとまち海浜公園
第5戦	9月17日～20日	大阪府泉南市サザンビーチ

全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	5月22日・23日	静岡県熱海市サンビーチ
第2戦	6月 5日・ 6日	千葉県白里町サンセットビーチ
第3戦	7月10日・11日	新潟県柏崎市みなとまち海浜公園
第4戦	8月28日・29日	和歌山県和歌山市片男波海水浴場
第5戦	9月17日・20日	大阪府泉南市サザンビーチ

ソーラー&人カボート

ソーラー・人カボートレース全日本選手権大会2004

平成16年8月28日・29日 静岡県浜名湖競艇場において、国内唯一のソーラーと人カボートによる全日本選手権大会として、日本ソーラー・人カボート協会と共催で「ソーラー・人カボートレース全日本選手権大会2004」開催した。

大会には、ソーラーボート16隻、人カボート22隻、ハイブリットボート3隻(計41隻)が参加した。

台風の接近により1時間耐久レースを中止し、30分耐久レースのみの実施であったが、ソーラーボート(クラスB)では初参加の県立鳥栖工業高校(佐賀県)が、人カボート(Bクラス)では県立引佐高校(静岡県)が優秀な成績を収めるなど、学生部門の活躍が見受けられた。



2005(平成17)年度

モーターボート(K400)

K400クラス競技会

主催連盟と共催し、次の4競技会を開催した。

期 日	競 技 会 名	参加 人数	主 催
5/28 -29	第 26 回四国地区K400 選手権競走 第 1 戦 第 2 戦	30 30	香川県マリンスポーツ連盟
6/5	2005 K400 第 8 回淡路島ちどり賞競走	30	徳島県マリンスポーツ連盟
6/18 -19	第 37 回 平成 17 年度岡山県K400 競走 第 38 回 平成 17 年度岡山県K400 競走	30 30	岡山県モーターボート連盟
11/5 -6	第 3 回 K400 九州地区選手権競走 第 1 戦 第 2 戦	30 30	福岡県マリンスポーツ連盟
合 計		210	

第 23 回全日本K400選手権大会

平成17年 10 月 29 日・30 日 群馬県桐生競艇場において、全日本チャンピオンを決定する競技会として開催した。本大会には、各地で開催された地区大会における年間成績上位者から選抜された24名の選手が参加した。

優勝 池田 貴顕 (知多レーシング)



モーターボート(パワーボート)

サーキット競技会

ハイドロ・フォーミュラクラスの小型艇を対象とした競技会を、茨城県鹿島郡神栖町常陸利根川において、東京都モーターボート連盟との共催により、4競技会を実施した。

期 日	競 技 会 名	参加 人数	主 催
4/24	TOPS2005 in 鹿島 第 45 回クラブ合同レース	12	東京都モーターボート連盟
6/12	TOPS2005 in 鹿島 サーキットレース Round 1	15	
7/31	TOPS2005 in 鹿島 サーキットレース Round 2 安全指導講習会:安全指導及び走行練習	29	
10/9	TOPS2005 in 鹿島 サーキットレース Round 3 安全指導講習会:安全指導及び走行練習	12	
合 計		68	

第32回グリーンカップ パワーボート in うしぼり

平成17年11月12日・13日 茨城県潮来市において、競艇クラス以外の小型艇クラスの今年度全日本シリーズチャンピオンを決定する競技会として、東京都モーターボート連盟、神奈川県モーターボート連盟と共催で実施し、F3000、F850、F550の3クラスで24隻が参加した。



水上スキー

第50回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会

平成17年9月9日～11日 秋田県南秋田郡大潟村(大潟村水上スキー場)において、大会名誉総裁桂宮親王殿下のご臨席の下、全日本学生モーターボート・水上スキー連盟、日本水上スキー連盟と共催で実施し、10大学96名(補欠22名を含む)が参加した。大会結果は、男子は44年ぶりの国学院大学、女子は学習院大学が優勝した。女子スラローム及び女子ジャンプ競技において学生記録を更新するなど女子の技量向上が見られた。



第51回桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

平成17年9月17日～19日 秋田県南秋田郡大潟村(大潟村水上スキー場)において、日本水上スキー連盟、秋田県水上スキー連盟と共催で実施し、55名の選手が参加した。



総合優勝 男子

女子

栗沢 祐行	静岡	3,000.00点	篠田 千絵	大分	2,339.24点
-------	----	-----------	-------	----	-----------

ジェットスポーツグランプリシリーズ

国内の上級選手を中心とした、「'05 ジェットスポーツ全日本選手権シリーズ戦」を、日本ジェットスポーツ連盟と共催により全5戦を実施し、延 1,092 名の選手が参加した。

クローズドコース競技

第1戦	5月28日～30日	和歌山県和歌山市片男波海水浴場
第2戦	6月24日～26日	千葉県銚子マリーナ海水浴場
第3戦	7月29日～31日	愛知県蒲郡市海陽海浜公園
第4戦	8月19日～20日	新潟県柏崎市みなとまち海浜公園
第5戦	9月 9日～11日	大阪府泉南市サザンビーチ

全日本フリースタイル選手権シリーズ

第1戦	6月11日・12日	和歌山県和歌山市片男波海水浴場
第2戦	7月 2日・ 3日	新潟県柏崎市みなとまち海浜公園
第3戦	8月 6日・ 7日	福島県いわき市小名浜港
第4戦	8月28日・29日	広島県大柿町Big Sea Said Park
第5戦	9月10日・11日	大阪府泉南市サザンビーチ

※第2戦は洪水の影響により中止。



2006(平成18)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟が実施した競技会
 K400クラス(競艇タイプ)11競技会で328名の選手が参加した。
 全日本選手権競技会(支援対象)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数	主 催
10月20 -21日	全日本K400 選手権大会2006	やまと競艇学校	30	マリンスポーツ財団

優勝 佐藤 郁雄(岡南モーターボートクラブ)

地区競技会(支援対象)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数	主 催
5月27日	第27回四国地区選手権 競走第1戦	丸亀競艇場	30	香川県マリンスポーツ連盟
5月28日	第27回四国地区選手権 競走第2戦	丸亀競艇場	30	香川県マリンスポーツ連盟
6月11日	第10回淡路島ちどり賞競走	浦壁大池	30	徳島県マリンスポーツ連盟
6月17日	第38回平成18年度 K400岡山県競走	児島競艇場	30	岡山県モーターボート連盟
6月18日	第39回平成18年度 K400岡山県競走	児島競艇場	30	岡山県モーターボート連盟
合 計			150	

地区競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数	主 催
6月11日	2006 K400GMSF選手権 シリーズ第1戦	桐生競艇場	31	群馬県マリンスポーツ連盟
7月2日	2006 K400GMSF選手権 シリーズ第2戦	桐生競艇場	27	群馬県マリンスポーツ連盟
7月23日	2006 K400GMSF選手権 シリーズ第3戦	桐生競艇場	30	群馬県マリンスポーツ連盟
10月7日	2006 東海グランプリ 第1戦	碧南訓練所	30	K400東海協力会
10月8日	2006 東海グランプリ 第2戦	碧南訓練所	30	K400東海協力会
合 計			148	

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
 小型競走艇（サーキットクラス）6 競技会で104名の選手が参加した。
 全日本クラス競技会（支援対象）

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数	主 催
8月19 -20日	パワーボートレース in 牛堀	茨城県潮来市 (常陸利根川)	13	東京都モーターボート連盟
9月2-3日	'06日本グランプリ・パワー ボートレース in 木曾川	愛知県弥富町 (木曾川)	42	愛知県マリンスポーツ連盟
合 計			55	

地区競技会（支援対象）

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数	主 催
4月23日	TOPS2006 in 鹿島 第46回クラブ合同レース	茨城県神栖町 (常陸利根川)	18	東京都モーターボート連盟
6月11日	TOPS2006 in 鹿島 サーキットレース Round1	茨城県神栖町 (常陸利根川)	10	
7月30日	TOPS2006 in 鹿島 サーキットレース Round2	茨城県神栖町 (常陸利根川)	10	
合 計			38	

地区競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数	主 催
10月1日	TOPS2006 in 鹿島 サーキットレース Round3	茨城県神栖町 (常陸利根川)	11	東京都モーターボート連盟

水上スキー

日本水上スキー連盟が実施した競技会
 (全日本学生モーターボート・水上スキー連盟を含む)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
8月18-20日	第51回全日本学生水上スキー 選手権大会	秋田県 大潟村(大潟村水上スキー場)	77 (10大学)
9月16-18日 及び 10月28日	第52回全日本水上スキー 選手権大会	滋賀県 草津市(琵琶湖) ----- 兵庫県 加東市(高室池)	62
合 計			139

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会（全日本選手権シリーズ戦）
クローズドコース競技

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月 22-23 日	第 1 戦	三重県 長島町（木曾川運動公園）	250
5月 20-21 日	第 2 戦	和歌山県 和歌山市（片男波海水浴場）	230
7月 1- 2 日	第 3 戦	千葉県 銚子市（銚子マリーナ海水浴場）	236
8月 26-27 日	第 4 戦	新潟県 柏崎市（みなとまち海浜公園）	223
11月 11-12 日	第 5 戦	大阪府 貝塚市（二色の浜海浜緑地）	225
合 計			1,164

フリースタイル全日本選手権シリーズ

期 日	競技会名	場 所	参加人数
6月 3- 4 日	第 1 戦	静岡県 浜松市（浜名湖内浦湾）	48
6月 17-18 日	第 2 戦	和歌山県 和歌山市（片男波海水浴場）	45
7月 15-16 日	第 3 戦	広島県 大柿町（Big Sea Side Park）	54
8月 28-29 日	第 4 戦	新潟県 柏崎市（みなとまち海浜公園）	51
9月 10-11 日	第 5 戦	大阪府 貝塚市（二色の浜海浜緑地）	47
合 計			245

ソーラー&人力ボート

日本ソーラー・人力ボート協会が実施した競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加チーム
7月 21-23 日	全日本選手権大会 2006	静岡県 静岡市（三保内浜海水浴場）	28

2007(平成19)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟が実施した競技会

K400クラス(競艇タイプ)11競技会で300名の選手が参加した。

全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	隻数	主 催
10月13-14日	全日本K400 選手権大会 2007	尼崎競艇場	30	マリンスポーツ財団

優勝 松永 一志 (北九州モーターボートクラブ)

地区大会(安全対策支援)

期 日	競 技 会 名	場 所	隻数	主 催
5月19日	第28回四国地区選手権 競走第1戦	丸亀競艇場	30	香川県マリンスポーツ連盟
5月20日	第28回四国地区選手権 競走第2戦	丸亀競艇場	30	香川県マリンスポーツ連盟
6月3日	第11回淡路島ちどり賞競走	浦壁大池	30	徳島県マリンスポーツ連盟
6月16日	第40回平成19年度 K400岡山県競走	児島競艇場	30	岡山県モーターボート連盟
6月17日	第41回平成19年度 K400岡山県競走	児島競艇場	30	岡山県モーターボート連盟
合 計			150	

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	隻数	主 催
4月1日	2007 K400GMSF選手権 シリーズ第1戦	桐生競艇場	18	群馬県マリンスポーツ連盟
5月9日	2007 K400GMSF選手権 シリーズ第2戦	桐生競艇場	18	群馬県マリンスポーツ連盟
7月22日	第6回 K400九州地区選手権競走	芦屋競艇場	30	福岡県マリンスポーツ連盟
11月3日	2007 東海グランプリ 第1戦	碧南訓練所	24	K400東海協力会
11月4日	2007 東海グランプリ 第2戦	碧南訓練所	30	K400東海協力会
合 計			120	

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
 小型競走艇(サーキットクラス) 5 競技会で 1 3 9 名の選手が参加した。
 全日本クラス競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	隻数	主 催
6 月 9-10 日	'07 日本グランプリ・ パワーボートレース in 木曽川	愛知県弥富町 (木曽川)	59	愛知県マリンスポーツ連盟
7 月 28-29 日	2007 パワーボートレース in 香取	千葉県佐原市 (利根川)	28	東京都モーターボート連盟
合 計			87	

地区競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	隻数	主 催
4 月 29 日	TOPS2007 in 鹿島 第 47 回クラブ合同レース	茨城県神栖市 (常陸利根川)	18	東京都モーターボート連盟
9 月 9 日	TOPS2007 in 鹿島 サーキットレース Round1	茨城県神栖市 (常陸利根川)	14	東京都モーターボート連盟
10 月 7 日	TOPS2006 in 鹿島 サーキットレース Round2	茨城県神栖市 (常陸利根川)	20	東京都モーターボート連盟
合 計			52	

水上スキー

日本水上スキー連盟が実施した競技会
 支援した競技会(全日本大会)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
8 月 31 - 9 月 2 日	第 52 回全日本学生 水上スキー選手権大会	秋田県 大潟村 (大潟村水上スキー場)	60 (9 大学)
9 月 15-17 日	第 53 回全日本 水上スキー選手権大会	滋賀県 草津市 (琵琶湖)	89
合 計			149

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会
 全日本選手権シリーズ戦(クローズドコース競技)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
5 月 12-13 日	第 1 戦	三重県長島町(木曽川運動公園)	220

期 日	競技会名	場 所	参加人数
6月23-24日	第2戦	千葉県銚子市(銚子マリーナ海水浴場)	216
7月28-29日	第3戦	愛知県蒲郡市(海陽海浜公園)	213
8月25-26日	第4戦	新潟県柏崎市(みなとまち海浜公園)	中越沖地震により中止
9月15-16日	第5戦	大阪府貝塚市(二色の浜海浜緑地)	223
合 計			872

全日本選手権シリーズ戦 (フリースタイル全日本選手権シリーズ)

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月28-29日	第1戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	31
6月2-3日	第2戦	静岡県浜松市(浜名湖内浦湾)	29
6月30日 - 7月1日	第3戦	山口県大島郡(片添ヶ浜海水浴場)	30
8月25-26日	第4戦	新潟県柏崎市(みなとまち海浜公園)	中越沖地震により中止
9月15-16日	第5戦	大阪府貝塚市(二色の浜海浜緑地)	33
合 計			124

ソーラー & 人力ボート

日本ソーラー・人力ボート協会が実施した競技会
全日本大会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
7月27-28日	全日本選手権大会 2007	静岡県 静岡市(三保内浜海水浴場)	32

2008(平成20)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
11月29-30日	全日本K400選手権大会2008	常滑競艇場	30

優勝 田口 宏章(岡南モーターボートクラブ)

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
5月10日	第41回平成20年度岡山県K400競走	児島競艇場	30
5月11日	第42回平成20年度岡山県K400競走	児島競艇場	30
5月18日	第12回淡路島ちどり賞競走第1戦	浦壁大池	30
6月1日	第12回淡路島ちどり賞競走第2戦	浦壁大池	24
6月22日	2008 関東連盟 K400 第1戦	桐生競艇場	21
6月28日	2008 東海グランプリ 第1戦	碧南訓練所	24
6月29日	2008 東海グランプリ 第2戦	碧南訓練所	30
11月16日	第6回K400九州地区選手権競走	芦屋競艇場	30
合 計			219

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
全日本クラス大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
9月6-7日	'08日本グランプリ パワーボートレースin木曾川	愛知県弥富町(木曾川)	60
10月4-5日	2008 パワーボートレースin香取	千葉県香取市(利根川)	22
合 計			82

日本グランプリパワーボートレース in 木曽川

総合Aコース 60分耐久レース

優勝 OFF0 青木直之、蓮池和元(KEレーシング)23周



パワーボートレース in 香取

F3000 クラス シリーズ第3戦 小峯 宏一(チーム1) 20周 13分11秒32

F850 クラス シリーズ第4戦 三角 善光(東京キッズレーシング)18周 16分38秒82

F550 クラス シリーズ第4戦 藤本 英輝(KEレーシング) 20周 20分51秒25

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
4月27日	TOPS2008 in 鹿島 第48回クラブ合同レース	茨城県神栖市(常陸利根川)	12
6月22日	TOPS2008 in 鹿島 サーキットレース Round1	茨城県神栖市(常陸利根川)	11
合 計			23

水上スキー

日本水上スキー連盟・学生連盟が実施した競技会

全日本大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
8月29-31日	第53回全日本学生 水上スキー選手権大会	秋田県 大潟村 (大潟村水上スキー場)	(9大学) 66
9月13-15日	第54回全日本 水上スキー選手権大会	滋賀県 草津市(琵琶湖)	78
合 計			144

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会
全日本選手権シリーズ戦（クロズドコース競技）

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月12-13日	第1戦	静岡県熱海市(長浜海水浴場)	174
5月10-11日	第2戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	139
7月5-6日	第3戦	千葉県銚子市(銚子マリーナ海水浴場)	183
8月23-24日	第4戦	新潟県柏崎市(みなとまち海浜公園)	166
9月13-15日	第5戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	184
合 計			846

全日本選手権シリーズ戦（フリースタイル全日本選手権シリーズ）

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月26-27日	第1戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	29
5月31-6月1日	第2戦	神奈川県横浜市(赤レンガ広場)	32
6月14-15日	第3戦	山口県大島郡(片添ヶ浜海水浴場)	28
8月	第4戦	中止	—
8月2-3日	第5戦	静岡県浜松市(浜名湖内浦湾)	40
8月23-24日	第6戦	新潟県柏崎市(みなとまち海浜公園)	32
9月13-15日	第7戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	40
合 計			201

ソーラー&人力ボート

日本ソーラー・人力ボート協会が実施した競技会
全日本大会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
7月20-21日	全日本選手権大会 2008	静岡県静岡市(三保内浜海水浴場)	27

2009(平成21)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
10月10-11日	全日本K400選手権大会2009	鳴門ボートレース場	30

優勝 藤原 尊昭 (岡南モーターボートクラブ)
地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
4月12日	第13回淡路島ちどり賞競走第1戦	浦壁大池	30
5月10日	2009 関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	20
5月24日	第13回淡路島ちどり賞競走第2戦	浦壁大池	30
6月20日	第43回平成21年度岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
6月21日	第44回平成21年度岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
6月21日	2009 関東連盟K400 第3戦	桐生ボートレース場	20
6月28日	第13回淡路島ちどり賞競走第3戦	浦壁大池	24
7月4日	2009 東海グランプリ 第7戦	碧南訓練所	18
7月5日	2009 東海グランプリ 第8戦	碧南訓練所	24
11月16日	第6回K400九州地区選手権競走	芦屋ボートレース場	30
合 計			256

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
9月12-13日	'09日本グランプリ パワーボートレース in 木曾川	愛知県弥富市(木曾川)	51

総合Aコース 60分耐久レース

優勝 OFF0 清水英和、蓮池和元(KEレーシング)25周 1時間1分11秒24

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
4月26日	TOPS2009 in 鹿島 第49回クラブ合同レース	茨城県神栖市(常陸利根川)	荒天中止
6月21日	TOPS2009 in 鹿島 サーキットレース Round1	茨城県神栖市(常陸利根川)	14
8月2日	TOPS2009 in 鹿島 サーキットレース Round 2	茨城県神栖市(常陸利根川)	14
合 計			28

水上スキー

日本水上スキー連盟・学生連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
8月28-30日	第54回全日本学生 水上スキー選手権大会	秋田県 大潟村 (大潟村水上スキー場)	(10大学) 74
9月19-22日	第55回全日本 水上スキー選手権大会	滋賀県 草津市(琵琶湖)	83
合 計			157

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会
全日本選手権シリーズ戦(クローズドコース競技)

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
4月18-19日	第1戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	156
5月16-17日	第2戦	静岡県熱海市(長浜海水浴場)	153
6月13-14日	第3戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	144
7月4-5日	第4戦	千葉県銚子市(銚子マリーナ海水浴場)	154
9月13-15日	第5戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	中止
合 計			607

全日本選手権シリーズ戦（フリースタイル全日本選手権シリーズ）

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月25-26日	第1戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	32
5月30-31日	第2戦	大阪府岸和田市(岸和田カンカン)	32
6月27-28日	第3戦	山口県大島郡(片添ヶ浜海水浴場)	35
7月18-19日	第4戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	32
8月1-2日	第5戦	福岡県福岡市(海の中道)	27
8月22-23日	第6戦	新潟県柏崎市(みなとまち海浜公園)	29
9月14-15日	第7戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	中止
合 計			187

ソーラー&人力ボート

日本ソーラー・人力ボート協会が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
9月19-21日	全日本選手権大会 2009	愛知県碧南市	20

2010(平成22)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
10月16-17日	全日本K400選手権大会2010	児島ボートレース場	30

優勝 佐藤 郁雄(岡南モーターボートクラブ)

(b) 地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
4月11日	2010 関東連盟K400 第1戦	桐生ボートレース場	25
4月25日	第14回淡路島ちどり賞競走第2戦	浦壁大池	30
6月12日	平成22年度第47回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
6月13日	平成22年度第48回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
6月20日	2010 関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	26
7月3日	第9回 東海グランプリ	碧南訓練所	24
7月4日	第10回 東海グランプリ	碧南訓練所	30
10月31日	2010 関東連盟K400 第3戦	桐生ボートレース場	25
11月21日	2010 第8回K400九州地区選手権競走	芦屋ボートレース場	30
合 計			250

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
9月4-5日	2010 日本グランプリ パワーボートレース in 木曾川	愛知県弥富市(木曾川)	57

60分耐久レース(オフショア、Vクラス)

優勝 OFF2 栗田 清史、松井長一郎(KEレーシング)27周

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
5月29-30日	TOPS2010 第50回クラブ合同レース	茨城県神栖市(常陸利根川)	30
7月4日	TOPS2010 サーキットレース Round1	茨城県神栖市(常陸利根川)	19
8月1日	TOPS2010 サーキットレース Round2	茨城県神栖市(常陸利根川)	18
合 計			67

水上スキー

日本水上スキー連盟・学生連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
9月3-5日	第55回全日本学生 水上スキー選手権大会	秋田県 大潟村 (大潟村水上スキー場)	(10 大学) 75
9月18-20日	第56回全日本 水上スキー選手権大会	滋賀県 草津市(琵琶湖)	89
合 計			164

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会
全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加人数
5月8日	第1戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	117
5月9日	第2戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	115
6月10日	第3戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	114
6月11日	第4戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	121
7月31日	第5戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	111
8月1日	第6戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	118
9月18-19日	第7戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	127
合 計			823

全日本選手権シリーズ戦(フリースタイル全日本選手権シリーズ)

期 日	競技会名	場 所	参加人数
4月24-25日	第1戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	33
5月29-30日	第2戦	大阪府岸和田市(岸和田カンカン)	37
6月19-20日	第3戦	山口県大島郡(片添ヶ浜海水浴場)	33
7月17-18日	第4戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	33
9月1-2日	第5戦	千葉県銚子市(名洗港銚子マリーナ)	28
9月18-19日	第6戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	34
合 計			198

ソーラー&人力ボート

日本ソーラー・人力ボート協会が実施した競技会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数
9月18-20日	全日本選手権大会2010	愛知県碧南市(常設訓練所)	16

2011(平成23)年度

モーターボート(K400)

日本アマチュアKYOTEI連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
10月1-2日	全日本K400選手権大会 2011	桐生ボートレース場	24

(b) 地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
4月10日	第15回淡路島ちどり賞競走第1戦	浦壁大池	30
5月22日	第15回淡路島ちどり賞競走第2戦	浦壁大池	30
6月11日	平成23年度第49回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
6月12日	平成23年度第50回岡山県K400競走	児島ボートレース場	30
7月10日	2011 関東連盟K400 第1戦	桐生ボートレース場	24
8月21日	第11回 東海グランプリ	常滑ボートレース場	30
10月30日	2011 関東連盟K400 第2戦	桐生ボートレース場	24
合 計			198

モーターボート(パワーボート)

日本パワーボート協会が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
9月3-4日 台風のため中止	2011 日本グランプリ パワーボートレース in 木曽川	愛知県弥富市(木曽川)	64 (エントリー)

地区大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
6月12日	東日本サーキットレース in 木曽川	愛知県弥富市(木曽川)	27
10月9日	TOPS2011 第51回クラブ合同レース	茨城県神栖市(常陸利根川)	23
合 計			50

水上スキー

日本水上スキー連盟・学生連盟が実施した競技会
全日本選手権大会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加人数
9月9-11日	第56回全日本学生 水上スキー選手権大会	秋田県 大潟村 (大潟村水上スキー場)	(10 大学) 65
9月23-25日	第57回全日本 水上スキー選手権大会	滋賀県 草津市(琵琶湖)	84
合 計			149

ジェットスポーツ

日本ジェットスポーツ連盟が実施した競技会
全日本選手権シリーズ戦(クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加人数
5月28日	第1戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	100
5月29日	第2戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	109
6月25日	第3戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	114
6月26日	第4戦	三重県長島町(木曾川運動公園)	118
8月6日	第5戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	100
8月7日	第6戦	愛知県蒲郡市(海浜海洋公園)	106
10月29-30日	第7戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	108
合 計			755

全日本選手権シリーズ戦(フリースタイル全日本選手権シリーズ)

期 日	競技会名	場 所	参加人数
5月21-22日	第1戦	大阪府岸和田市(岸和田カンカン)	20
6月18-19日	第2戦	山口県大島郡(片添ヶ浜海水浴場)	29
7月2-3日	第3戦	千葉県銚子市(名洗港銚子マリーナ)	20
7月16-17日	第4戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	24

期 日	競技会名	場 所	参加人数
9月10-11日	第5戦	和歌山県和歌山市(和歌山マリーナシティ)	20
10月29-30日	第6戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	32
合 計			145

ソーラー&人カボート

日本ソーラー・人カボート協会が実施した競技会

期 日	競 技 会 名	場 所	参加隻数
8月26-28日	全日本選手権大会 2011	愛知県碧南市(常設訓練所)	15